

平成30年度

同仁

社会福祉法人 同仁会

事業概要



はじめに

日頃より当法人の福祉事業に深いご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

平成30年度の事業概要を発行するにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

さて、平成20年度から10年間の計画である第1期長期経営計画及び施設運営計画は平成29年度で終了しました。

この計画期間においては、高萩市内施設において東日本大震災による避難生活及び被害建物の修繕、新たにつくば市内に児童養護施設と乳児院の設置、同仁会乳児院における乳児の死亡事故など、いろいろなことがありました。

計画の内容については、おおむね達成することができたと思っておりますが、一部では未達成のものもありました。

中長期計画につきましては、平成30年度から10年間の第2期長期計画と5年間の行動計画である前期中期計画をスタートさせています。この計画では、平成27年度からスタートした茨城県家庭的養護推進計画に基づいた内容となっております。

同仁会は児童福祉に特化した事業のみ行ってまいりましたが、これからは障害児支援事業の展開を計画しております。障害福祉という新たな分野への進出には不安もありますが、これまでに培ってきた経験と実績を基に推進してまいり所存です。

平成30年度には、ハード面では内原深敬寮の学校棟の改築工事や障害児の放課後等デイサービス事業所の整備工事、平成31年度整備予定の児童家庭支援センターの建築計画策定などを、ソフト面では職員研修の充実や資質向上のための人事異動などを進めてまいりたいと思っております。

しかし、これらの福祉事業の担い手である職員の確保が困難な状況になっております。積極的な情報提供や広報を行うとともに、離職者をできるだけ少なくするための施策や子育てのために退職した職員の再雇用の推進などを進めてまいりたいと思っております。

最後に、子どもの最善の利益と未来のために寄与するとともに、地域に愛される法人になれるよう努力してまいります。

皆様には今後とも一層の変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

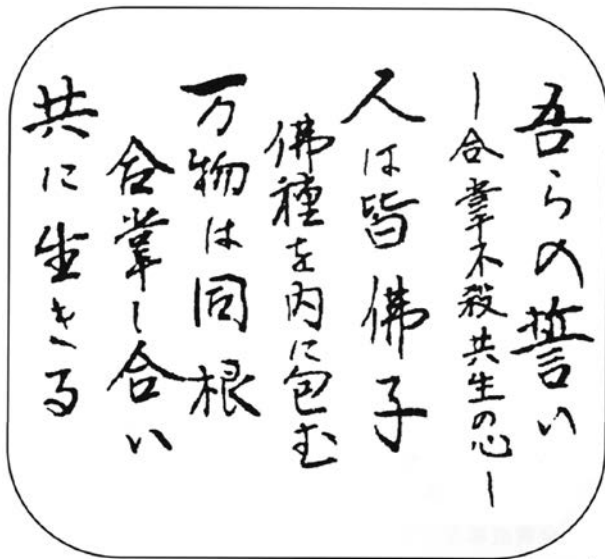
平成30年5月29日

理事長 遠藤 光洋

目 次

はじめに

綱領・年間目標・経営基本方針	1
1 施設の概要	8
2 法人の沿革	9
3 平成30年度経営計画	12
4 役員、評議員及び施設長等	12
5 組織及び職員の配置	13
6 法人の運営	14
7 部門別運営計画及び平成29年度の状況	
1. 同仁会児童家庭支援センター	28
2. 同仁会地域子育て支援センター	31
3. 保育所 同仁東保育園	36
4. 放課後児童健全育成事業 ゆうゆうクラブ	41
5. 児童養護施設 臨海学園	44
6. 児童養護施設 同仁会子どもホーム	53
7. 児童養護施設 内原和敬寮	60
8. 児童養護施設 つくば香風寮	68
9. 乳児院 同仁会乳児院	76
10. 乳児院 さくらの森乳児院	84
11. 児童心理治療施設 内原深敬寮	92
8 平成30年度収支予算書及び平成29年度決算の状況	99



創設者理事長 遠藤 光静 書

綱 領

『合掌深敬の心』

三つの誓い

ふ	せ	(あ	よ	ま
布	施	た	ろ	な
		え	こ	べ
		る	び	を
		を	を	学
		学	べ	べ)
ふ	せ	(お	ち	も
持	戒	の	か	持
		れ	い	て)
		己	の	誓
		の	誓	い
		を	を	持
		持	て	て)
ふ	せ	(ゆ	せ	し
智	慧	た	い	ん
		か	ん	精
		な	な	神
		を	を	培
		培	え	え)

大自然は“共生”の大原則のもと、それ自体の摂理と自浄作用により全体のバランスを保ち生存維持の営みを続けている。

人間も自然の一部として、この生の営みの埒外ではない。この事は自然保護や環境保全が新しい現代の人間課題として登場してきた現実に照らしても自明である。

“釈迦牟尼”－仏陀の教示する不殺生の戒は、現代的にはこの共生の原理に当るものである。また所謂、共存や生命尊重も以上の事を踏まえたうえでの論理に立つものである。とりわけ、生命尊重は何人も仏性（己を高めたい願望）を内蔵する故に尊く、また人間の仏教的生きる使命は、その内なる能力開発（仏性開顕）にあると訓されている。福祉が人間の幸福課題を希う実践であろうとする限り、その人間課題の深い部位で、仏陀の覚り得たものと密に弧を接する群類にあると言える。

本会はこのような基本理念に立ち、福祉の実践を目指すものである。関係者一同、この共通理解に立ち職分を自覚し、異体同心にその担い手として社会福祉の一隅を照らそう。

一年間目標

四月 合掌聞法 — 最高の聞き耳を持つ —

話を聞くのに一番大切な事は、関心のある心のベースがある事が物事をよく聞き取る基である。聞法の「法」とは仏教哲学の教える規範、「人はいかに生くべきか」の教を指す。本当は、この事が「生きる」と言う生命を持続している限り第一の関心事である筈だ。

この心構えで話を聞けば、何事も自分の生きる糧とならないものはなく、有り難い事である。限りある人生の中で、見聞き得た事が勉強となるなら、全て合掌感謝とならなくてはならない。私も子供に法を聞く者である。

五月 持戒和合 — きまりを守る —

客体的な戒としては法律があるが、ここで言う「戒」は主体的戒を指します。客体的集団規制の掟以前の人の生き態に係る、自分が自分に課する戒の事です。速度を高くすればする程、それに対応する制禦が働かない事には実用に役立たない。人間も地位・立場に相応する自己制禦のブレーキが必要である。それを生涯の戒とする人は、立派な人生と言える。和合は実は内なる盲目の自己と自己制禦の葛藤の上に支えられる至宝である。

六月 生命尊重 — 全ての物の生命を大切にする —

宇宙は一体・全体が連鎖集合の生命体、人間を頂点とする生命体の連鎖生滅、弱肉強食の上に生命が維持されている。

殊に人間の生命は、宇宙の最高の生命顕現として、覚者—仏性—たる可能性を持つ故に尊厳である。それ故、全生命系の支配と同時に護り育てる責任がある。全てをその本来のいのちの如く、完全に自己実現できるよう祈らねばならない。

七月 布施奉仕 — 社会に喜ばれる —

グローバルな生態系の中で、生物は相互に食い合う連鎖関係で生きて居ります。人間だけが食われる連鎖から解放され、色々の生命体を食って生きて居ります。意識して与える事のできるのは人間のみです。その事を踏まえての奉仕の心です。大乘仏教の布施行は、意識して他に与え、みかえりを求めない修行です。

「財 施」 無償の金品施与の行です。心がければ誰でもできます。それでも「あんなにしてやったのに」と愚痴るもの、求めない事は至難の技です。

「法 施」 人間の生き態、ものの道理を教えてあげる、心の糧を与えられる人は幸せです。

「無畏施」 危難や生死の関頭に立って安祥として対処できる悟道を与える事、凡人のできない事です。身体で、口で、意で常に心掛ける事が大切です。

八月 自利利他 — 相手の立場を考える —

仏教は物の道理を教える理論を持って居ります。「因縁」と言う言葉がそれです。よく「袖ふれ合うも多生の縁」と言います。物事は全て因が先ず有って、それが縁にふれ果が生じ、その果がまた第二因となって、縁にふれ第二果を生む、連鎖して無尽の相関関係の世界を展開します。

人と人の結び付きも無尽世界そのものです。その中で本能的に生きる限り、誰もが自利を追求するのは当然です。

だが人間相互の係りは、自利が利他になる様な積算が成立しない限り、個と個は結ばれる事はありません。自利とは利他によって与えられたものです。この事を踏まえて、自利を得る「受け皿」をつくる事が先決です。

「利他行」 他^{りたぎょう}の為にお役に立つ心掛けは、社会生活の基本です。利他行なくして得たものは、本当の自分のものでなく、一時預りのようなものです。

九月 報恩感謝 — 有難うと心から言える —

マスコミ情報^{うず}の渦、騒忙^{そうぼう}の日々の中では、自己凝視^{ぎょうし}とは縁遠いものとなりました。今日只今、此処^{こんにちただいま}に存生^{ぞんじょう}する自己を凝視^{ぎょうし}することを仏教^{きび}は厳しく教えて居ります。親ありて、師ありて、友人ありて、郷土故国ありて、親、師、衆生^{しゅうじょう}、国土^{こくど}の四恩^{しおん}を掲げて居ります。

人間だけができる自己^{めぐ}を環る凝視^{めく}の深い温もりと、ほのぼのとした感謝^{じょうねん}の情念^{じょうねん}です。生命のルーツ、育ての親、学習し得た師友先輩、自然の山河、国土風俗等、どれを取っても自分を養い^{はぐく}育^いんでくれた大自然の営^{いとな}みです。一つ一つの反省点検を経て、無償^{むしょう}享受^{きょうじう}の施与^{せよ}を受けて居る事にハッと気付いたものです。四恩を感じ取れる人は、この施与^{せよ}に応え、亦、感謝「ありがとう」の言葉の素直に言える、内懐^{うちぶところ}の深く豊かな人です。そんな人に育て、なりたいものです。

十月 同事協力 — 心こもる協力 —

お互いに同じ空の下、同じ時代を共受共有して「今ここにある」と言う己の存在を考えてみた事がないだろうか。当り前の事を、永遠の時、無限の空間の位相^{いそう}で考えてみる。そう言う位相^{いそう}に己を打ち据えて探求する。同事とはその様な哲学する姿勢である。そこでは大きな価値転換、つまり偶然、当り前の事が必然なものとなり、私と他者との出会いが運命的必然として再生してくる。

同事協力とは、だからそんな深い思索^{しそく}の底で縁^{ほんしょう}の本性に^{ほんしょう}気が付き、心から協力する生き方である。思い付きや、一寸^{ちよつと}した縁での協力もあるが、親兄弟、夫婦、恩師上司、親友同僚等、その関係には浅深^{せんしん}があるが、「袖ふれ合うも多生の縁」とやら、路傍^{ろぼう}のものとして過ぎ去って行くのではなく、心の永遠の相の窓に映し、心の中にどのように慈^{いつく}しみ育てるか、豊かな人生^{きず}を築^{かぎ}く鍵でもあると言えよう。

十一月 精進努力 — 己の成長を愛せ —

秋もたけなわ、自然は秋の果実をみのらせ、「食欲の秋」とも言われる。“精進料理”と言われ魚介類を使用しない仏教の調理がある。心身を調和して養い、求道修行の目的^{めくどう}を果すに好都合な料理の意味である。

人も自然の一部として、その自然環境に育つ食物によって生き、生かされている。「身土不二」と言う東洋思想がその事を物語っている。肉体は環境自然に依^よって養われて居り、だとすれば大地と肉体とは大きく連続して居ると思惟^しする発想である。

霊長類^{れいちよう}としての人の生きて居る目的は、自然の調和^{じゆんのう}に順応して、地上に平和の世界を実現する事である。その為の生命、その生命維持の為の「食」である限り、徒らに肉体生理上の糞として排出する丈ではない。それは身を養い、そのエネルギーを社会に活性化する事である。精進努力とはその様な深い意味をもつものである。

十二月 忍辱持久 — 苦しい事に耐える —

受刑者が、「刑務所を出る」ことを「沙婆^{しゃば}に出る」と言う。シャバとは梵語で、「忍土^{にんど}」と訳す。人間の生きるこの世は、苦しい事^{いや}や嫌な事に耐えて生きる世界であると言う大前提が、仏教には先ずあることを考えて見る事である。物質文

明の恩恵に浴し、その中にどっぷりと埋没した現代は、エゴだけが露出し、耐える事を忘れかけた時代とも言えるかも知れない。

その様な時代だからこそ、肉体の鍛練の凡ゆるスポーツが大切なのと同時に、意図的な自己耐性の涵養が心がけられるべきである。仏教の忍辱持久の徳目は、人が生きる姿を、耐えてゆく事と捉えた大前提に立って、凡ゆる苦しい事に立ち向かって生きる生き態を教えて居るものとして意味深いものと思う。

自己の耐性は誰も手伝ってくれないもの、自分で開発するしかない徳目である。

一月 和顔愛語 — 心に慈愛をたたえ、相手の為になる言葉かけをする —

「愛語」とは、その言葉が、その人の人生の転機となる、亦は生涯の生活の指針となる様な言葉。だから常に心の奥深く、他者を慈愛する心がなくては生まれない一語である。従って愛語を発する時は自然に、慈しみをたたえた和顔であるので「和顔愛語」と言う。

悟りを得た後の仏陀の言葉は、衆生慈愍の言葉を謂うもの、全てが和顔愛語である。愛憎、悲喜、怨恩等々現実の姿を、仏智見と言う絶対慈悲の境位で把える世界である。親の児に示す、無条件の慈愛、犠牲、奉仕、言葉かけ、どれ一つ取っても、人間の持つ靈性、仏性の一分顕現である。

愛語は、にたにた笑いからは出ない。時には仁王の様な叱怒も伴う。心底は和顔なのである。無償の慈愛なしには一語もない世界だ。

二月 禪定寂靜 — 心を無の状態に静坐し、常に根源的発想を養うこと —

人間開発を心身共に最高に開発活性化し、地上楽土を建てる事が仏教の目的である。仏陀の切り開いた内証の世界は、禪定と言う静坐の姿勢から得た地上最高の精神世界である。

独生独死、独去独来と言われる自己の「己れ」とは何者かを見据えて見る事は大切な事である。情報時代と言われる、余りにも多種多様な情報に包まれ、時に情報選択すら放棄し慌しく返す日々の多い今日この頃、心掛けねばならない事である。心の大掃除、点検、自己回復の手段である。人は半神半獣、靈肉二重層の世界を生きる、欲望と言う名の馬車に乗る生きものである。

臍下丹田呼吸は坐禅の初歩、そして奥儀である。自信溢れる福祉実践者は、丹田を養生する事から始まる。一呼吸置いてする心掛けである。

三月 智慧希望 — 困難を乗り越えてゆく人生智を持ち、祈りと希望を捨てるな —

人の生活する現実、は、相対の世界である。苦楽、愛憎、悲喜は、相互に裏腹である。この相即相対の原理に立って、苦に居て、楽の日の近い事を、愛の日々が、憎の時にならない様、発想出来る人間訓練が望まれる。

智慧とは、知識とは異なる流動的な生の流れの真っ只中で行なわれる人格的総合判断である。

多難の人生、毎日が決断の日々であるが、決断に戸惑う暗黒の日もないとは言えまい。そんな時は、動かずじっと希望を捨てず、祈る事である。祈りは、危機に臨んで最高のエネルギーを分与してくれる。祈り、希望しない処には何も生まれて来ないからである。

仏語の智慧とはもっと高次元のものだが、我々も常にこの人生を切り開いてゆく智慧を養いたいものである。

誓 願

綱領及び年間目標は、創始者初代理事長遠藤光静氏が描いた熱き思いである。

私たちは、永遠の課題としてこの基本理念を尊重し、誠心努力することを誓願する。

理 念

綱領「合掌深敬の心」を基本理念とする。

合掌深敬とは「感謝して深く敬う」との言葉であるが、狭義では人間尊重や個性尊重を意味している。しかし、課題として捉えるには漠然としている。故に、これを「人権を守る」と定義し、以下のとおり解釈する。

- ① あなたのことを知っています
- ② あなたに関心があります
- ③ あなたを必要としています

これらを具現化するために、次のとおり実践する。これらが、私たちのめざす「自立支援」の基本です。

- (1) 「あなたのことを知っています」とは、その基本は名前を知っているということです。必ず名前を呼ぶようにします。
- (2) 「あなたに関心があります」とは、人間関係を示唆し、その基本はあいさつすることにあります。常に明るくあいさつすることを心掛けます。
- (3) 「あなたを必要としています」とは、「ありがとう」と言葉でいえることです。私たちは福祉を志し、奉仕やボランティアのこころを強く持っているため、常々「ありがとう」と言われる立場にあります。しかし、福祉の専門職としては、私たちが「ありがとう」と言える環境を造ることが求められています。子ども達の行事の参加や常々のお手伝いの中で「ありがとう」と言える場面を沢山造っていきます。

法人の求める職員像

職員は常に自律の心を持ち、他人の為に働く喜びを忘れず、物事に柔軟に対応できることを基本とする。

職員は常に理想を描き、その実現のため他人と協調し、積極的に行動するように努める。

職員は常に法人理念及び年間目標を理解し、正しい判断ができるように研鑽に努める。

○ 人事規程第9条

- 1 人格見識に優れていること
- 2 常に精進努力を心がけること
- 3 法人の綱領及び年間目標を理解し、実践できること
- 4 他と協調し又は共同して業務の推進を図れること
- 5 情報の収集と分析ができること
- 6 将来を先見し目標達成のため努力できること
- 7 安全への配慮と適切な対応ができること

経営基本方針

社会福祉法人同仁会は、専ら児童福祉に関する事業を実施することを宣言し、法人の経営及び事業の実施にあたっては、次の事項を遵守してまいります。

1 人権の尊重

- (1) 法人綱領及び理念の理解と実践に努める。
- (2) 利用者（以下「児童」という。）の権利を尊重したサービスの提供、発展に努める。
- (3) 児童や家族からの苦情、相談に対して誠意を持って対応するとともに、第三者委員制度の活用などにより、適切な是正、改善に努める。
- (4) 児童や家族のプライバシーや個人情報の保護に努める。
- (5) 人権の尊重や個人の尊厳への配慮意識を高める研修を定期的実施する。

2 サービスの質の向上

- (1) 児童の個性や特性に応じ、児童自身が自主的、主体的に活動できるように支援する。
- (2) 家庭との連携及び相互理解を図りながら、早期に家庭復帰ができるように家庭環境の整備に努める。
- (3) 施設ごとにサービス提供方針、業務手順や必要なマニュアルを策定し、職員に浸透させる。
- (4) 施設ごとにリスクマネージャーを置くとともに、共通理解を図るためリスクマネージャー会議を定期的開催する。
- (5) 第三者評価の受審により、客観的な視点でサービスの質をチェックする。
- (6) 学校教育との連携協力体制を構築し、一体とした支援に努める。

3 地域との連携協力

- (1) ボランティアの受入を積極的に行い、住民参加による福祉の実践に努める。
- (2) 地域の関係機関、団体とのネットワークの構築に主体的に関わり、福祉ニーズを抱える住民への適切な支援の基点となるように努める。
- (3) 地域の再生又は活性化に向け、町おこしや雇用の創出に積極的に関わるとともに、人の集う場の提供等に努める。

4 コンプライアンス（法令及び法人倫理遵守）の徹底

- (1) 法令及び法人倫理の遵守の徹底に向けた管理体制や規定を整備し、公共的、公益的かつ信頼性の高い経営に努める。
- (2) コンプライアンスの適切な理解と啓発に努める。

5 説明責任の徹底

- (1) 法人事業や財務に関する情報を積極的に公開し、透明性の高い経営を実現する。
- (2) サービス提供に関する適切な記録と保管を行う。
- (3) 児童との信頼関係の構築及び地域とのコミュニケーションに努める。

6 関係業者との適正な契約関係の構築

- (1) 関係業者との公正、透明かつ自由な取引に努めるとともに、適正な契約関係の構築を行う。
- (2) 反社会的勢力や団体に対する対応マニュアルを策定する。

7 行政との連携・協力の促進

- (1) 行政との連携及び協働により、地域の課題への積極的な対応に努める。
- (2) 行政との透明性の高い関係を構築する。

8 人材育成、適切な人事・労務管理の実践

- (1) 人材育成に関する方針を明確にし、研修体系の整備等、人間性の向上や必要な能力開発に努める。
- (2) 職員の自己研鑽を支援する。
- (3) 職員の自己実現に配慮し、多様な人材が個々の能力を発揮できる職場づくりに努める。
- (4) 労働関係法令の遵守と適切な労務管理を実施するとともに、適正な人事制度を構築する。また、高齢者、障害者の働く場の確保に努める。
- (5) 安全で健康的な職場環境を確保し、快適な働く場の実現に努める。
- (6) 福祉職員養成における実習及び教員養成課程における介護等実習を積極的に受入、質の高い人材育成に資する。

9 公共的・公益的取組の推進

- (1) 地域の児童福祉ニーズを幅広くかつ迅速に把握するように努め、先駆的、開拓性のある事業経営を実践する。
- (2) 地域において児童の支援を要する者に対して、既存制度の枠組みにとらわれずに支援の実施に努める。

10 組織統治の確立

- (1) 経営に対する適切なチェック・牽制機能の強化を意図した組織作りに努める。
- (2) 外部監査を実施し、事業、財務に関するチェックを行う。
- (3) 公益通報者保護法に基づく相談・通報窓口を整備する。

11 財政基盤の安定化

- (1) 業務分掌及び職務権限を明確にし、適正な会計処理が行える体制を整備する。
- (2) 施設の長及び会計担当職員は、会計処理に必要な知識の習得に努める。
- (3) 法人の経営状況及び財務状況をホームページや広報誌等により積極的に公表し、透明性の高い財務管理に努める。
- (4) 施設整備など長期的計画に基づき、積立等の資金管理を実施する。
- (5) 職員全員のコスト意識の醸成を図る。

12 経営責任の明確化

- (1) 事件事故が発生した場合は、理事長又は施設の長が率先して対応に当たり、原因の究明、被害の拡大の防止、再発防止策の明確化等、責任ある対応に努める。
- (2) 理事長又は施設の長は、事実関係や再発防止策を公表するなど、迅速な説明責任を果たす。
- (3) 施設の長は、日常的にリスクマネジメント及び危機管理の具体的な取組を行う。

1 施設の概要

(同仁会ホームページ: <http://www.doujinkai.or.jp/>)

1) 同仁会子どもセンター

所在地 〒318-0011 茨城県高萩市肥前町 1-80
敷地/建物面積 3,449.93 m² / 3,160.15 m²
構造 鉄骨耐久構造4階建(一部地下1階)
児童養護施設 臨海学園 (定員 30名)
TEL 0293-22-2357 FAX 0293-23-3224 E-mail rinkai@doujinkai.or.jp
乳児院 同仁会乳児院 (定員 20名)
TEL 0293-23-6251 FAX 0293-23-3224 E-mail baby@doujinkai.or.jp
同仁会児童家庭支援センター
TEL 0293-22-2471 FAX 0293-22-0337 E-mail kodomo@doujinkai.or.jp
TEL 0293-22-0318 (相談専用電話 24時間対応)
法人事務局
TEL 0293-23-3245 FAX 0293-22-4260 E-mail mail@doujinkai.or.jp

2) 保育所 同仁東保育園 (定員 120名)

所在地 〒318-0013 茨城県高萩市高浜町 2-35
敷地/建物面積 1,944.01 m² (内借地 906.01 m²) / 979.63 m²
構造 木・鉄骨耐久構造2階建
TEL 0293-23-6121 FAX 0293-23-2413 E-mail higashi@doujinkai.or.jp

3) ゆうゆう館

所在地 〒318-0012 茨城県高萩市有明町 1-144
敷地/建物面積 506.36 m² / 399.74 m²
構造 鉄筋コンクリート造陸屋根2階建
放課後児童健全育成事業 ゆうゆうクラブ (定員 40名)
TEL 0293-23-7643 FAX 0293-20-5103 E-mail club@doujinkai.or.jp
子育て支援拠点事業 同仁会地域子育て支援センター
TEL 0293-20-5559 FAX 0293-20-5103 E-mail kosodate@doujinkai.or.jp

4) 児童養護施設 同仁会子どもホーム (定員 25名)

所在地 〒318-0024 茨城県高萩市秋山 712-1
敷地/建物面積 1,736.04 m² (借地) / 592.46 m²
構造 本館: 鉄筋コンクリート造陸屋根2階建
小規模グループケア棟: 木造2階建
TEL 0293-23-3254 FAX 0293-20-5188 E-mail home@doujinkai.or.jp

5) 内原同仁会子どもセンター

所在地 〒319-0325 茨城県水戸市小林町 1186-84
敷地/建物面積 14,125.26 m² / 4,139.11 m²
構造 和敬寮本館: 鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建
小規模ユニット棟・管理棟: 木造合金メッキ鋼板葺平屋建
深敬寮: 鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建
学校棟: コンクリートブロック・鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建
児童養護施設 内原和敬寮 (定員40名)
TEL 029-212-5054 FAX 029-239-3083 E-mail wakei@doujinkai.or.jp
児童心理治療施設 内原深敬寮
(定員入所40名・通所10名)
TEL 029-212-5053 FAX 029-239-3082 E-mail uchihara@doujinkai.or.jp
内原同仁会事務局
TEL 029-257-5501 FAX 029-259-6688

6) つくば同仁会子どもセンター

所在地 〒300-1245 茨城県つくば市高崎 802-1
敷地/建物面積 6,152.00 m² / 1,856.21 m²
構造 つくば香風寮: 鉄骨造陸屋根2階建
さくらの森乳児院・管理棟: 木造合金メッキ鋼板葺平屋建
児童養護施設 つくば香風寮 (定員30名)
TEL 029-875-3451 FAX 029-875-3460 E-mail tukuba@doujinkai.or.jp
乳児院 さくらの森乳児院 (定員20名)
TEL 029-875-3452 FAX 029-875-3460 E-mail sakura@doujinkai.or.jp

2 法人の沿革

設立発起人 遠藤光静
大高新一郎
今川三九郎
鈴木藤雄
滝宗作

年 月	種 別	概 要
昭和25年 4月	(同仁会)	創立者 遠藤光静氏、自坊にて里子3名を養育
10月	(同仁会乳児院)	日立市助川町2-15を市より無料貸与 恩賜財団同胞援護会日立支会「日立乳児預かり所」認可 定員9名(10月7日)
昭和27年 1月	(臨海学園)	建設中の施設建物焼失、焼失時竣工率80%(1月12日)
6月	(臨海学園)	秋山小学校廃材にて竣工、「高萩臨海学園」認可 定員40名(6月24日)
昭和28年 4月	(同仁会乳児院)	保育棟増築(共同募金会・日立市補助)
昭和30年 4月	(臨海学園)	定員50名に増員
昭和32年 3月	(同仁会乳児院)	恩賜財団同胞援護会日立支会解散、私立日立乳児院となる
昭和37年 11月	(同仁会)	社会福祉法人設立認可、「高萩臨海学園」と称す
11月	(同仁会)	遠藤光静氏、初代理事長に就任
昭和38年 3月	(臨海学園)	児童小舎寮新築(お年玉付年賀はがき寄付金補助事業)
4月	(臨海学園)	御下賜金拝受
8月	(臨海学園)	調理室改築
昭和39年 4月	(同仁会乳児院)	御下賜金拝受
7月	(臨海学園)	臨海学園本館全面改築(日本自転車振興会補助事業)
昭和41年 11月	同仁会	法人名称変更 「同仁会」と改称
昭和42年 4月	臨海学園	「臨海学園」と改称
4月	(同仁会乳児院)	創設者院長 立花 寿氏 物故 社会福祉法人同仁会帰属
9月	同仁東保育園	建物竣工、臨時開園(日本自転車振興会補助事業)
10月	(同仁会乳児院)	施設増築、「日立乳児院」認可、定員13名
昭和43年 4月	同仁東保育園	「同仁東保育園」認可、定員60名
昭和44年 4月	同仁東保育園	定員70名に増員
昭和45年 4月	同仁東保育園	定員90名に増員
昭和51年 2月	(同仁会乳児院)	高萩市に施設建物竣工及び移転(日本船舶振興会補助事業・2月5日)
4月	同仁会乳児院	「同仁会乳児院」と改称、定員24名
昭和53年 12月	臨海学園	児童ホール新築(日本自転車振興会補助事業)
昭和54年 12月	臨海学園	調理棟改築(日本馬主協会補助事業)
昭和56年 4月	同仁東保育園	乳幼児室増築、0才児保育開始
11月	同仁会	施設設立30周年記念祝賀会開催

年 月	種 別	概 要
昭和62年 12月	同仁東保育園	幼児室及び遊戯室の増改築（日本自転車振興会補助事業）、障害児保育開始
平成4年 4月	同仁会	施設設立40周年記念
平成6年 5月	同仁会	創設者理事長 遠藤光静氏 逝去
6月	同仁会	遠藤光洋氏 第二代理事長就任
平成7年 4月	同仁会乳児院	定員30名に増員
平成9年 4月	同仁会	法人事務局、高萩市有明町に移転（ゆうゆうクラブ2F）
4月	同仁東保育園	延長保育開始（午後8時まで）
4月	ゆうゆうクラブ	放課後児童健全育成事業「ゆうゆうクラブ」開設、定員40名
平成11年 12月	臨海学園	臨海学園全面改築「同仁会子どもセンター」竣工（国・県補助事業）
平成12年 1月	臨海学園	定員70名に増員
4月	臨海学園	「同仁会児童家庭支援センター」の付置
4月	同仁会乳児院	同仁会子どもセンターに移転合築、定員35名に増員
4月	同仁会乳児院	「同仁会子育て支援センター」の付置
平成13年 4月	臨海学園	定員80名に増員
4月	同仁会乳児院	定員40名に増員
4月	同仁東保育園	一時保育開始
4月	子どもホーム	児童養護施設「同仁会子どもホーム」設置認可、定員26名（旧乳児院跡地）
平成14年 5月	同仁会	評議員会設置
5月	同仁会乳児院	乳児室増築のための確認申請完了（事業の実施は延期）
10月	同仁東保育園	保育園舎増改築（高萩市補助事業）
平成15年 2月	同仁会	施設設立50周年記念祝賀会開催
3月	同仁会	児童情報管理システム導入（臨海学園・子どもホーム）
3月	同仁会乳児院	乳児室内部改装工事実施
3月	同仁東保育園	保育園舎増改築工事完了
4月	同仁会乳児院	同仁会子育て支援センターの廃止
4月	同仁東保育園	「同仁会地域子育て支援センター」の付置
7月	内原深敬寮	情緒障害児短期治療施設「内原深敬寮」設置認可 計法定員30名（通所10名・入所20名）
7月	内原和敬寮	児童養護施設「内原和敬寮」設置認可、定員30名
平成16年 3月	同仁会	法人事務局、高萩市肥前町に移転（同仁会子どもセンター内）
3月	同仁東保育園	同仁会地域子育て支援センター、ゆうゆうクラブ2Fに移転
4月	臨海学園	ユニットケア推進のため小規模改修
4月	同仁東保育園	定員120名に増員
4月	内原深敬寮	計法定員40名（通所10名・入所30名）
4月	内原和敬寮	定員40名に増員
4月	内原同仁会	第二期内原同仁会大規模改修工事（国・県補助）
平成17年 3月	内原和敬寮	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）
4月	臨海学園	定員70名に減員
4月	内原深敬寮	計法定員35名（通所5名・入所30名）
7月	内原同仁会	従たる事務所設置
10月	同仁東保育園	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）
10月	子どもホーム	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）
平成18年 11月	臨海学園	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）

年 月	種 別	概 要
平成19年 3月	同仁会	法人中長期経営計画策定
4月	内原深敬寮	計画定員40名（通所5名・入所35名）
平成21年 4月	同仁会	地域子育て支援拠点事業独立
4月	同仁会	一時預かり保育事業独立
平成23年 4月	臨海学園	定員40名に減員
4月	同仁会乳児院	定員20名に減員
4月	子どもホーム	ユニット棟竣工・開設
4月	つくば香風寮	児童養護施設「つくば香風寮」開所、定員30名
4月	さくらの森乳児院	乳児院「さくらの森乳児院」開所、定員20名
4月	同仁会	一時預かり保育事業を保育園に統合
平成24年 5月	内原深敬寮	施設建物改築のため体育館解体撤去
平成25年 3月	内原深敬寮	内原深敬寮全面改築・竣工（県補助事業） 旧深敬寮建物解体撤去
4月	内原深敬寮	高校生の措置受入開始
平成26年 2月	内原和敬寮	内原和敬寮全面改築・竣工（県補助事業）
3月	内原和敬寮	旧和敬寮建物解体撤去
4月	臨海学園	定員30名に減員
4月	内原和敬寮	定員42名に増員
平成27年 4月	臨海学園	定員29名に減員
4月	内原和敬寮	定員40名に減員
平成28年 4月	子どもホーム	定員25名に減員
平成29年 4月	臨海学園	定員30名に増員

3 平成30年度経営計画

平成30年度は、第二期長期経営計画のスタートの年となります。

児童福祉を取り巻く環境は、超少子化の進行、核家族化の進行、家庭養育力の低下、地域の子育て支援力の低下や近年では子どもの貧困問題の深刻化などにより、大きな変化に直面しております。また、平成27年度にスタートした計画期間15年間の家庭的養護推進計画が3年経過した段階で根本的な見直しがされようとするなど児童福祉制度の将来がなかなか見通せない状況となっております。

これらのことを踏まえ、平成30年度は次の項目について推進してまいります。

1 事業の方向

- ・内原深敬寮学校棟の改築工事の着工（平成30～31年度事業）
- ・各施設が実施する地域貢献事業の検討
- ・障害児の放課後等ディサービス事業に係る施設の整備及び開所準備
- ・内原子どもセンターに設置予定の児童家庭支援センターの整備計画策定
- ・児童養護施設退所児等アフターケア事業の継続受託

2 組織の強化

- ・幹部職員養成に係る人事異動の準備
- ・専決権限の見直し検討

3 ITの推進

- ・情報共有ネットワーク整備基本方針策定
- ・電子決済システム導入に向けた専決権限及び書式等の見直し検討

4 人材の育成

- ・法人実施の職員研修の拡充
- ・外部研修の計画的な受講推進
- ・人事考課制度の継続実施

5 財政基盤の強化

- ・予算管理体制の確立
- ・計画的な積立

4 役員、評議員及び施設長等

(イ) 役員（任期：平成29年6月17日～平成30年会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会議の終結のときまで）

理事長	遠藤光洋	常務理事	塩沢幸一		
理事	草間吉夫	理事	仲田靖夫		
理事	遠藤雅明	理事	西野宮由紀（H29.12.2就任）		
監事	大部忠則	財務	監事	岡田豊和	運営

(ロ) 評議員（任期：平成29年4月1日～平成32年会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

岩本容和	大橋正男
大平敏明	大高達也
渡邊操	安藤みゆき
森山仁子	

(ハ) 評議員選任・解任委員会（任期：平成28年3月25日～平成32年会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

監事代表	岡田豊和	外部委員	鈴木榮
事務局	高島早苗	外部委員	三國省治

(ニ) 常任役員（任期2年）

理事長	遠藤光洋	
参事	塩沢幸一	高萩地区入所施設及びつくば地区施設代表経営役員
〃	遠藤雅明	高萩地区在宅支援施設代表経営役員
〃	仲田靖夫	内原地区施設代表経営役員
〃	西野宮由紀	内原和敬寮施設長

理事 草間吉夫 学識経験者

(ホ) 施設経営役員(任期2年)

- 1) 高萩地区入所施設経営役員
 参事 塩沢幸一 副参事 谷由紀子
 副参事 芳賀英友 参事補 野田潤一郎

- 2) 高萩地区在宅支援施設経営役員
 参事 遠藤雅明 副参事 芳賀英友
 参事補 今橋優子

- 3) 内原地区施設経営役員
 参事 仲田靖夫 副参事 渡辺孝幸
 参事 西野宮由紀

- 4) つくば地区施設経営役員
 参事 塩沢幸一 副参事 小菌ますみ
 副参事 江原勝久

5 組織及び職員の配置

(1) 職員の状況 平成30年4月1日現在 ()内は兼任

施設名	施設長	指導員	保育士	看護師	心理療法士	家庭支援専門	里親支援専門	相談員	調理員等	栄養士	事務員	医師 嘱託医	合計
本部事務局	1										9		10
臨海学園	1	7	9		1	1	1		3	1	(1)	1	25
同仁会乳児院	1	1	16	2		1	1		4	1	(1)	1	28
同仁東保育園	1		19	1					1	1	(1)	2	25
ゆうゆう館			4										4
同仁会子どもホーム	1	8	7		1	1	1			1	(1)	1	21
児童家庭支援センター	(1)				1(1)			4					5
内原和敬寮	1	9	13		1	1	1	1	1	1	(1)	1	30
内原深敬寮	1	14	4	1	6	2			4	1	(1)	1	34
つくば香風寮	1	7	12		1	2	1		2		(1)	1	27
さくらの森乳児院	1	5	16	3	1	1	1		2	2	(1)	1	33
合計	8	51	100	7	13	9	6	3	17	8	9	9	242

注) 産休育休中の職員及び補充職員を含み、週30時間未満の短時間勤務職員を除く。

(2) 職員の職層 平成30年4月1日現在

施設名	参事	副参事	参事補	主査	副主査	企画員	企画 研修員	研修員	合計
本部事務局	1				1	1	3	4	10
臨海学園	1		1			2	3	17	24
同仁会乳児院		1			1	4	4	17	27
同仁東保育園	1			1		3	4	14	23
ゆうゆう館			1			1		2	4
同仁会子どもホーム		1				5	3	11	20
児童家庭支援センター							1	4	5
内原和敬寮	1				3	1	4	20	29
内原深敬寮		1			1	2	7	22	33
つくば香風寮		1				2	2	21	26
さくらの森乳児院		1		1		2	2	26	32
合計	4	5	2	2	6	23	33	158	233

注) 「(1) 職員の状況」から医師、嘱託医を除く。

6 法人の運営

1) 評議員会

<30年度事業計画>

第53回評議員会《平成30年6月16日予定》

第1号議案 平成29年度事業報告(案)について

第2号議案 平成29年度決算報告(案)について

第54回評議員会《平成30年12月1日予定》

第1号議案 平成30年度第1回補正予算(案)について

第2号議案 定款変更について

第55回評議員会《平成30年3月23日予定》

第1号議案 平成30年度最終補正予算(案)について

第2号議案 平成31年度経営・運営計画(案)について

第3号議案 平成31年度当初予算(案)について

第4号議案 定款変更について

<29年度事業報告>

第50回評議員会《平成29年6月17日開催》

第1号議案 平成28年度事業報告(案)について

第2号議案 平成28年度決算報告(案)について

第3号議案 定款の変更について

第4号議案 理事及び監事の選任について

第5号議案 理事監事に対する会計年度毎の報酬総額の決定並びに理事、監事及び評議員報酬等の基準について

第51回評議員会《平成29年12月2日開催》

第1号報告 茨城県児童養護施設等退所者等アフターケア事業の受託について

第2号報告 土地、建物の寄付受入について

第1号議案 平成29年度第1回補正予算(案)について

第2号議案 辞任に伴う理事の選任について

第52回評議員会《平成30年3月24日開催》

第1号議案 平成29年度最終補正予算(案)について

第2号議案 第2期法人経営長期計画及び施設運営長期計画(案)について

第3号議案 前期法人経営中期計画及び施設運営中期計画(案)について

第4号議案 平成30年度経営・運営計画(案)について

第5号議案 平成30年度当初予算(案)について

2) 評議員選任・解任委員会

<30年度事業計画>

開催予定無し

<29年度事業報告>

開催無し

3) 理事会

<30年度事業計画>

第234回理事会《平成30年5月29日予定》

第1号報告 平成29年度第三者評価事業受審結果及び自己評価結果について

第2号報告 茨城県実地検査の結果について

第3号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について

第4号報告 常務理事執行状況について

第1号議案 平成29年度事業報告(案)について

第2号議案 平成29年度決算報告(案)について

第3号議案 経理規則の一部改正について

第4号議案 内原深敬寮学校棟改築に係る設計監理委託契約締結について

第5号議案 評議員会の開催日時について

第235回理事会《平成30年6月予定》

第1号議案 内原深敬寮学校棟改築工事請負契約について

第236回理事会《平成30年8月予定》

第1号議案 児童デイサービス事業所新築工事請負契約について

第237回理事会《平成30年11月20日予定》

<29年度事業報告>

第228回理事会《平成28年5月27日開催》

第1号報告 平成28年度第三者評価事業受審結果及び自己評価結果について

第2号報告 理事長職務執行状況及び専決事項について

第3号報告 常務理事執行状況について

第1号議案 平成28年度事業報告(案)について

第2号議案 平成28年度決算報告(案)について

第3号議案 定款の変更について

第4号議案 諸規則の制定及び一部改正について

第5号議案 評議員会の開催日時について

第229回理事会《平成29年6月17日開催》

第1号議案 理事長の互選及び常務理事の選任について

第230回理事会《平成29年11月18日開催》

第1号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について

第2号報告 常務理事職務執行状況について

第1号議案 平成29年度第1回補正予算(案)について

第2号議案 諸規則の一部改正について

第3号議案 土地・建物並びに建物に付帯する設備及び備品の寄付受け入れ及び寄附契約書の締結について

第4号議案 評議員会の開催日時及び審議事項について

- 第1号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について
- 第2号報告 常務理事職務執行状況について
- 第1号議案 平成30年度第1回補正予算(案)について
- 第2号議案 定款変更について
- 第3号議案 諸規則の一部改正について
- 第4号議案 評議員会の開催日時について

第238回理事会《平成30年3月12日予定》

- 第1号議案 平成30年度最終補正予算(案)について
- 第2号議案 平成31年度経営・運営計画(案)について
- 第3号議案 平成31年度当初予算(案)について

- 第5号議案 理事会の議決を必要とする事項に係る理事長の専決承認について

第231回理事会《平成29年12月2日開催》

- 第1号議案 辞任に伴う後任理事の推薦について

第232回理事会《平成30年2月27日開催》

- 第1号報告 保育園乳児保育室増改築工事請負契約に係る理事長専決処分について
- 第1号議案 寄附受け入れした土地、建物の基本金参入について

第233回理事会《平成30年3月10日開催》

- 第1号議案 保育園乳児保育室増改築工事に係る工事請負契約の変更について
- 第2号議案 平成29年度最終補正予算(案)について
- 第3号議案 第2期法人経営長期計画及び施設運営長期計画(案)について
- 第4号議案 前期法人経営中期計画及び施設運営中期計画(案)について
- 第5号議案 平成30年度経営・運営計画(案)について
- 第6号議案 平成30年度当初予算(案)について
- 第7号議案 諸規則の一部改正について
- 第8号議案 幹部職員の人事について
- 第9号議案 評議員会の開催について

4) 監事会

＜30年度事業計画＞
《平成30年5月開催予定》

＜29年度事業報告＞
《平成29年5月20日開催》

5) サービス向上委員会(苦情解決委員会)

(地区ごとに設置：苦情解決責任者・苦情受付担当・第三者委員2名)
法人の職員・児童及びその父兄、利用者等からの意見提案を広く集め、対応にあたる。

- (1) 高萩地区
受付件数0件
- (2) 内原地区
受付件数0件
- (3) つくば地区
受付件数0件

6) 公益通報

コンプライアンス(法令及び法人倫理遵守)の強化を目的に、不正行為等の早期発見と是正を図る。

相談件数 0件
通報件数 0件

7) 法人運営・連絡会議等

- (1) 定期開催会議等
 - イ) 常任役員会 年4回(理事長、理事)
 - ロ) 施設経営役員会 原則毎月(施設を4グループに分けて設置)
 - ハ) 管理職員会議・研修会 原則奇数月第3火曜日
 - ニ) 家庭支援会議 原則隔月(家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、児童家庭支援センター相談員等)
 - ホ) リスクマネージャー会議 全体会議年3回、高萩地区会議年3回、水戸地区会議年2回、つくば地区会議年2回
 - ヘ) 事務職員会議 原則毎月第3金曜日
 - ト) 栄養士会議 年3回
 - チ) 心理職会議 年4回

- (2) 随時開催会議等
 イ) 処遇システム管理者会議
 ロ) 個人情報管理者会議
 その他

8) 法人委員会の事業

＜30年度事業計画＞
 研修委員会（委員8名）
 委員会 …… 4回予定
 講演会 …… 4回予定
 研究発表会 …… 1回予定

情報公開委員会（委員8名）

委員会 …… 7回予定
 広報誌発行 …… 2回
 第45号 平成30年7月 発行予定
 第46号 平成31年1月 発行予定

9) 法人職員研修

＜30年度事業計画＞
 イ) 新規採用職員研修：参加職員予定21名
 第1回 期日 平成30年4月2日～3日
 1日目会場 同仁会子どもセンター多目的ホール
 2日目会場 同仁会子どもセンター多目的ホール
 内原同仁会子どもセンター
 内容

＜29年度事業報告＞

研修委員会（委員8名）
 委員会 …… 4回
 講演会 …… 4回
 研究発表会 …… 1回

○講演会

第1回 平成29年6月16日
 テーマ 「社会福祉法人の改革と同仁会について」
 講師 同仁会常務理事 塩沢 幸一
 会場 内原同仁会子どもセンター

第2回 平成29年6月27日
 テーマ 「社会福祉法人の改革と同仁会について」
 講師 同仁会常務理事 塩沢 幸一
 会場 同仁会子どもセンター

第3回 平成29年10月2日
 テーマ 「アンガーマネジメントについて」
 講師 ウィズンコンサルティング株式会社
 岡田 有加 氏
 会場 同仁会子どもセンター

第4回 平成29年11月17日
 テーマ 「子どもの養育
 （アタッチメント関係）をつなぐ」
 講師 ライフデザインカウンセリングルーム
 今川 恵理子 氏
 会場 つくば同仁会子どもセンター

○研究発表会

期日 平成30年2月16日
 会場 内原同仁会子どもセンター
 ① 「深敬寮の治療方針について」
 内原深敬寮
 ② 「保育園における食育活動について」
 同仁東保育園

情報公開委員会（委員8名）

委員会 …… 7回
 広報誌発行 …… 2回
 第43号 平成29年7月 発行部数 1,500部
 第44号 平成30年1月 発行部数 1,500部

＜29年度事業報告＞

イ) 新規採用職員研修：参加職員21名
 第1回 期日 平成29年4月1日～2日
 会場 同仁会子どもセンター多目的ホール
 内容
 「同仁会の理念と求める職員像」 遠藤理事長
 「児童福祉施設での支援について」 塩沢施設長

「同仁会の理念と求める職員像」 遠藤理事長
「児童福祉施設での支援について」 塩沢施設長
「子どもの病気と対応」 柴田看護師
「先輩からのアドバイス」 先輩職員2名
「福祉職員の生活と職場のマナー」 谷施設長
西野宮施設長
「児童の権利擁護」 野田主任
篠原副主任
「同仁会の組織・労働、給与に係る規定について」
高島事務次長
野原事務員
仲田事務長
「人事考課について」 仲田事務長

第2回 期日 平成29年10月12日予定
会場 つくば同仁会子どもセンター
内容
「講話」 小菌施設長
「施設でのリスクマネジメント」 小林指導員
～ つくば香風寮・さくらの森乳児院の施設見学 ～
「第三者評価事業について」 増子主任
「先輩からのアドバイス」 先輩職員2名
「3分間スピーチ」 参加職員発表

第3回 期日 平成31年2月8日予定
会場 内原同仁会子どもセンター
内容
「自己管理とメンタルヘルス」 佐名セラピスト
「家庭的養護の推進」 梅原保育士
「服務、人事その他の規定について」 井手事務員
～ 内原和敬寮・内原深敬寮の施設見学 ～
「先輩からのアドバイス」 先輩職員2名
「3分間スピーチ」 参加職員発表

ロ) 3年次職員研修 : 参加予定職員24名

期日 平成30年6月8日
会場 つくば同仁会子どもセンター
内容 江原施設長
小林主任
「講話」
「健康管理について」
「グループ討議」 参加職員発表
「3分間スピーチ」

ハ) 5年次職員研修 : 参加職員予定10名

期日 平成30年7月6日
会場 同仁会子どもセンター
内容 芳賀施設長
根本指導員
「講話」
「後輩への教え方・育て方」 柴田保育士
「チーム支援について」 参加職員発表
「3分間スピーチ」

ニ) 副グループ長及び企画研修員研修 : 参加職員予定30名

期日 平成30年5月25日
会場 内原同仁会子どもセンター
内容
「後輩への教え方・育て方」 岩下主任
「副グループ長・企画研修員に求めること」 西野宮施設長

「同仁会の組織・例規」 仲田事務長
「講話」 川口総括主任
「福祉職員の生活と職場のマナー」 大谷施設長
「児童の権利擁護」 野田主任
「第三者評価事業」 谷施設長
「先輩からのアドバイス」 先輩職員2名

第2回 期日 平成29年10月13日
会場 つくば同仁会子どもセンター
内容
「講話」 江原副施設長
「施設でのリスクマネジメント」 小林主任
山田看護師
「先輩からのアドバイス」 先輩職員2名
～ つくば香風寮・さくらの森乳児院の施設見学 ～
「3分間スピーチ」 参加職員発表

第3回 期日 平成30年2月9日
会場 内原同仁会子どもセンター
内容
「自己管理とメンタルヘルス」 中嶋セラピスト
「家庭的養護の推進」 篠原副主任
「人事考課について」 仲田事務長
「先輩からのアドバイス」 先輩職員2名
～ 内原和敬寮・内原深敬寮の施設見学 ～
「3分間スピーチ」 参加職員発表

ロ) 3年次職員研修 : 参加職員15名

期日 平成29年6月9日
会場 同仁会子どもセンター
内容
「講話」 遠藤施設長
鈴木看護師
「健康管理について」 宮本相談員
「リスクマネジメントについて」 先輩職員2名
「先輩からのアドバイス」 参加職員発表
「3分間スピーチ」

ハ) 5年次職員研修 : 参加職員14名

期日 平成29年7月7日
会場 つくば同仁会子どもセンター
内容 芳賀施設長
増子主任
「講話」
「後輩への教え方・育て方」 西野指導員
「チーム支援について」 参加職員発表
「3分間スピーチ」

ニ) 新任企画研修員・副グループ長研修 : 参加職員7名

期日 平成29年5月26日
会場 内原同仁会子どもセンター
内容
「予算管理」 高島事務次長
「新しいリーダーに求めること」 西野宮施設長
「同仁会経営方針」 塩澤施設長

「同仁会中期経営計画について」 仲田事務長
「グループ討議」

ホ) グループ長及び企画員研修
: 参加職員予定21名

期 日 平成29年9月21日
会 場 内原同仁会子どもセンター
内 容
「グループ長及び企画員研修に求めるもの」 渡邊施設長
「同仁会中長期経営・運営計画について」 野原事務員

へ) 主任並びに主査及び副主査研修
: 参加職員予定11名

期 日 平成30年11月9日
会 場 内原同仁会子どもセンター
内 容
「人事院勧告について」 野原事務員
「人事事務について」 高島事務次長
「同仁会中長期経営・運営計画について」 仲田事務長

「グループ討議」

ホ) グループ長研修 : 参加職員23名

期 日 平成29年9月22日
会 場 内原同仁会子どもセンター
内 容
「人事考課について」 仲田事務長

へ) 主任研修 : 参加職員8名

期 日 平成29年10月27日
会 場 内原同仁会子どもセンター
内 容
「人事考課について」 仲田事務長

ト) 財務会計等研修 : 参加職員予定8名

期 日 毎月1回
会 場 内原同仁会子どもセンター
内 容
「財務会計について」 仲田事務長
「労務管理について」 仲田事務長

10) 県主管課等実地検査の状況
<30年度実施計画>

茨城県一般検査
平成30年9月予定
茨城県保健福祉部 福祉指導課 福祉監査室
・対象 法人・臨海学園・同仁会乳児院・同仁会子どもホーム・内原和敬寮・内原深敬寮・つくば香風寮・さくらの森乳児院・同仁東保育園・同仁会児童家庭支援センター

<29年度実施報告>

茨城県一般検査
平成29年9月20日・21日
茨城県保健福祉部 福祉指導課 福祉監査室
(1) 実地検査
臨海学園・同仁会乳児院・同仁会児童家庭支援センター
・同仁東保育園・同仁会子どもホーム・内原和敬寮・内原深敬寮
(2) 書類検査
つくば香風寮・さくらの森乳児院
・是正又は改善を要する事項
<法人本部>
・同仁会子どもホーム敷地786.66㎡及び同仁東保育園敷地906.01㎡について、地権者である高萩市との賃貸借契約を締結しないまま、賃貸料を支払っていたので、早急に当該契約を締結すること。
<臨海学園・同仁会乳児院>
・平成28年度に施工したセンター屋上アルミ手摺基礎補強工事について、100万円を超える契約額であったにもかかわらず契約書が未作成であった。今後は貴法人経理規則に基づき、該当する契約にあっては契約書の作成を怠ることなく作成し保管すること。
<同仁東保育園>
・児童の健康診断(未満児の歯科健診を含む。)は年2回実施すること。

11) 職員の採用及び退職の状況
 <30年度実施計画>

平成30年度採用面接選考会
 平成30年10月予定

<29年度実施報告>

○採用選考会

平成29年10月28日第一次面接選考会
 (面接日を変更した方も含む。)

応募者数 24名
 採用内定者数 20名

平成29年11月25日第二次面接選考会

応募者数 3名
 採用内定者数 3名

平成29年11月26日から随時募集

○採用の状況(正規職員)

平成29年9月1日付 採用 1名
 平成29年10月1日付 採用 1名
 平成29年11月10日付 採用 1名
 平成29年12月15日付 採用 1名
 平成30年1月12日付 採用 1名
 平成30年4月1日付 採用 25名
 平成30年4月1日付 正規任用 1名

○退職の状況(正規職員)

平成29年4月12日付 退職 1名
 平成29年6月30日付 退職 1名
 平成29年7月31日付 退職 2名
 平成29年8月31日付 退職 3名
 平成29年9月12日付 退職 1名
 平成29年9月30日付 退職 1名
 平成29年10月31日付 退職 1名
 平成30年1月9日付 退職 1名
 平成30年2月25日付 退職 1名
 平成30年3月31日付 退職 8名

12) 平成29年度職員福利厚生状況

1. 退職共済制度への加入(独立行政法人福祉医療機構及び茨城県民間施設退職共済会)

平成28年度実績

加入者数	229名	
加入掛金	独立行政法人福祉医療機構	10,190,500円
	茨城県民間施設退職共済会	7,476,040円

2. 茨城県社会福祉施設職員互助会加入

加入者数	224名			
加入掛金	1,585,800円(同額を職員も負担)			
受給状況	結婚	7名 140,000円	出産	14名 280,000円
	入学祝	5名 50,000円	弔慰金	5名 150,000円
	厚生費	18名 231,300円	見舞金	1名 30,000円
	功労金	24名 185,000円	健診費	5名 25,000円
	記念品	216名 648,000円	リフレッシュ	7名 14,000円

3. 職員親睦会厚生委託事業

1. 高萩

1. 会員数/会費 110名/1,324,000円(月額1,000円)

2. 決算

収入	5,139,047円	支出	4,465,858円
会費収入	1,324,000円	春の懇親会	356,287円
補助金収入	2,894,000円	秋(夏)の懇親会	201,143円
雑収入	65,818円	役職員懇親会	692,715円
繰越金収入	855,229円	研修・サークル活動事業	417,000円
		グループ別事業	1,191,000円
		事務費	2,025円

慶弔費	133,688円
退会金積立	110,000円
卒園者等支援事業費積立	1,325,000円
予備費	37,000円

次年度繰越金 673,189円

3. 事業

- ・親睦会総会 平成29年5月10日 参加 110名(委任状提出者含む)
子どもセンター
- ・春の懇親会 平成29年5月31日
- ・秋の懇親会 平成29年10月11日
- ・役員懇親会 平成30年1月29日
- ・研修・サークル活動事業
寄せ植え教室、男の料理教室、フラダンス教室、ビーズ教室、バーバリウム教室
参加延 150名
- グルメサークル 会員17名 年8回開催 参加延 47名
- リフレッシュサークル 会員17名 年6回開催 参加延 38名
- ガチャピンチャレンジサークル 会員6名 年6回開催 参加延 34名
- 珈琲愛好会 猫舌なんです 会員27名 年7回開催 参加延 130名
- 臨海TRIPサークル 会員10名 年6回開催 参加延 45名
- 映画とB級グルメのサークル 会員12名 年7回開催 参加延 43名
- ・慶弔(結婚2名 出産7名 退会10名 家族弔意9名 傷病見舞1名)
- ・役員会 年12回開催
- ・卒園者等支援事業 1名

4. 平成30年度事業計画

- ・平成28年度親睦会総会 平成30年5月9日
- ・春の懇親会 平成30年5月30日
- ・秋の懇親会 未定
- ・役員懇親会 平成31年1月中旬予定
- ・研修・サークル活動事業 年間を通して
- ・グループ別事業
- ・職員の慶弔
- ・卒園者等支援事業
- ・役員会 毎月開催

2. 内 原

1. 会員数/会費 66名/711,000円(月額1,000円)

2. 決算

収入	2,201,421円	支出	1,450,972円
会費収入	711,000円	歓迎会	291,915円
補助金収入	632,410円	新年懇親会	351,454円
雑収入	75,009円	スポーツレクリエーション	61,441円
繰越金収入	783,002円	年度末懇親会	351,824円
		研修に関する事業	66,000円
		忘年会(施設別)	180,000円
		その他(慶弔費・退会積立金等)	148,338円

次年度繰越金 356,000円

3. 事業

- ・平成29年度親睦会総会 平成29年4月26日 内原同仁会子どもセンター
- ・歓迎会 平成29年4月26日 参加 39名
- ・映画鑑賞会 平成29年6月27日 参加 23名 TOHOシネマズ水戸内原
- 平成29年11月22日 参加 22名 TOHOシネマズ水戸内原
- ・サークル活動
「子育て中の食育を考える会」 年7回開催 会員 7名 参加延 38名
- ・スポーツレクリエーション 平成29年10月25日 参加 22名 大学ボウル水戸店
- ・忘年会(施設別) 平成28年12月13.20日 参加 42名 深:揚げたて屋てん河和田店
和:湯泉荘
- ・新年懇親会 平成30年1月24日 参加 33名 ホテルレイクビュー水戸

- ・年度末反省会・送別会 平成30年3月22日 参加 35名 佐吉本店
- ・役員会 年4回開催
- ・慶弔(結婚2名 出産4名 香典4名 退会餞別金5名)

4. 平成30年度事業計画

- ・平成30年度親睦会総会 平成30年4月26日
- ・春期懇親会・職員歓迎会 平成30年4月26日
- ・スポーツレクリエーション 平成30年10月
- ・忘年会 平成30年12月
- ・新年懇親会 平成31年1月
- ・年度末反省会 平成31年3月
- ・映画鑑賞会 平成30年6.11月
- ・役員会 年6回開催予定

3. つくば

1. 会員数/会費 43名/585,000円(月額1,000円)

2. 決算

収入	1,613,482円	支出	1,156,209円
会費収入	686,000円	年度初めの懇親会(歓迎会)	208,980円
補助金収入	641,000円	暑気払い	136,000円
雑収入	5円	新年懇親会	162,000円
繰越金収入	286,477円	忘年会	205,772円
		年度末懇親会(歓送迎会)	211,246円
		ボーリング大会	87,453円
		その他(慶弔費)	30,000円
		研修に関する事業(映画、スポーツ)	43,758円
		事業費過払い分	10,000円
		退会金積立	61,000円
次年度繰越金	372,477円		

3. 事業

- ・親睦会総会 平成29年4月27日 地域交流スペース
- ・年度初めの懇親会(歓迎会) 平成29年5月19日 参加者43名 すぎうら
- ・暑気払い 平成29年7月21日 参加者34名 インカローズ
- ・忘年会 平成29年12月22日 参加38名 かつら
- ・新年会懇親会 平成30年1月19日 参加者30名 弥七
- ・ボーリング大会 平成30年2月21日 参加者17名 つくばユーワールド
- ・年度末懇親会(歓送迎会) 平成30年3月22日 参加者39名 漁火
- ・研修事業
 - 映画鑑賞会 平成29年9月20日 参加者26名 地域交流スペース
 - スポーツ大会 平成29年11月24日 参加者30名 地域交流スペース
- ・役員会 年6回開催(4/10、6/12、8/14、10/9、12/11、2/12)

4. 平成30年度事業計画

- ・平成30年度親睦会総会 平成30年4月26日
- ・年度初めの懇親会(歓迎会) 平成30年度5月18日
- ・暑気払い 日時未定
- ・忘年会 日時未定
- ・新年懇親会 日時未定
- ・年度末懇親会 日時未定
- ・ボーリング大会 日時未定
- ・研修事業 年2回実施予定 日時未定
- ・役員会(年6回)

4. 職員表彰

全国乳児福祉協議会	1名	つくば市社会福祉協議会(永年勤続)	1名
茨城県知事	2名	法人内表彰(永年勤続)	26名
茨城県社会福祉協議会	5名		

13) 平成29年度寄付受託の状況

現金

・法人本部

今川恭子 様	30,000 円		霊友会 様	500,000 円
成島 様	50,000 円		県北主任児童委員会 様	10,000 円
大部満穂 様	23,448 円		日立ブーケライオンズクラブ 様	50,000 円
大橋正男 様	60,000 円		遠藤光洋 様	1,000,000 円

・臨海学園

高萩市社会福祉協議会 様	145,000 円		にこにこまつり祝い金	111,500 円
--------------	-----------	--	------------	-----------

・同仁会乳児院

高萩市社会福祉協議会 様	65,000 円		(福) 中日新聞社会事業団 様	100,000 円
匿名 1 様	2,460 円		にこにこまつり祝い金	111,500 円
匿名 2 様	6,000 円			

・同仁東保育園

卒園児保護者 様	53,418 円		卒園児 様	10,000 円
運動会祝金	40,000 円		遠藤雅明 様	225,000 円
工家建築研究所 様	10,000 円			

・同仁会子どもホーム

小川英樹 様	30,000 円		匿名 様	352,000 円
桑名 浩 様	55,000 円		ホームパーティー祝金	43,000 円
(公益財団)SBI 子ども希望財団 様	15,120 円		小川英樹 様	60,000 円
高萩市社会福祉協議会 様	120,000 円		茨城県信用組合従業員組合 様	40,000 円

・内原和敬寮

茨城県建築士会	200,000 円		茨城県建設業協会	49,000 円
---------	-----------	--	----------	----------

・内原深敬寮

匿名 1 様	10,000 円		匿名 2 様	5,000 円
--------	----------	--	--------	---------

・つくば香風寮

匿名 1 様	36,000 円		沼尻産業(株) 様	500,000 円
匿名 2 様	50,000 円		光岡 様	500,000 円
森の里ひまわり会 坂本 様	2,000 円			

・さくらの森乳児院

匿名 様	50,000 円		酒井 様	50,000 円
------	----------	--	------	----------

物品

・臨海学園

永井崇久 様	卓球用具一式		足長おっちゃんの会 様	本
鹿野光春 様	葉書・ジュース		サンコー(株)ほっともっと茨城地区 様	DVD
堤 様	菓子・野菜・玩具・本他		毎日新聞東京社会福祉事業団 様	ボール・文具・玩具
後藤大輔 様	ジュース		清水興行 様	クリスマスプレゼント
(株)リスカ	菓子		日本鏡餅組合 様	靴下
柴田農園 様	野菜		一市民 様	玩具
常磐開発 様	ジュース		畠山 様	ぬいぐるみ
中根由佳 様	菓子		茨城県ケータリング協同組合 様	カップケーキ
松本英美 様	飲料水		ウルトラマン基金 様	カレンダー
フィリップモリス 様	ジュース・ケーキ・菓子		カーブス 様	日用品・菓子・食料品
東海DOS 様	菓子		熊谷弘明 様	ノートパソコン
鈴木和子 様	米		常陽銀行高萩支店	ジュース
入江産業 様	米		つくば銀行 様	ジュース
鈴木一行 様	米・野菜		近藤 様	果物
きくち生花店	花苗		鈴木藤雄商店 様	ワイン

(株) 佐々木総建 様	ジュース
全国シャンメリー協同組合	シャンメリー
(株) コストコ 様	菓子・玩具・日用品
安納芋スウィーツファーム 様	安納芋
(株) ムーンバッド 様	傘・帽子・マフラー
茨城県退職公務員連盟高萩支部 様	タオル
高萩市社会福祉協議会 様	もち米
(株) 舟形マッシュルーム 様	カレー
(株) ヤマモリ 様	釜飯の素
(株) 日本ベスト 様	カレー
三育フーズ 様	カレー
(株) キューピー	ミートソース
(株) 五百川屋商店	果物
北茨城市社会福祉協議会	カップ麺
ダスカジャパン	菓子

森永牛乳 様	豆腐
菊池青果店 様	メロン
今泉七郎 様	野菜
フクダヤ 様	冷やし中華
根本 様	米
中根 様	菓子・ジュース
(株) 八海山 様	甘酒
ホンダ弓野 様	果物
(株) 米屋 様	菓子
(株) マルヤナギ 様	大豆
(株) アオハタ 様	ジャム
ハウス食品	カレー
ホテイフーズコーポレーション	ツナ缶
遼太郎 様	野菜

・ 同仁会乳児院

(株) コンビ 様	玩具 他
芳賀廣利 洋子 様	メロン 菓子
杉村伸一 様	スイカ みかん
日本ベビーフード協議会 様	ベビーフード
小野愛子 様	手作りよだれかけ
コンビネクス (株) 様	ベビー衣料品
今野元裕 様	洗剤 ティッシュ
坂本勇作 様	メロン
菊地青果店 様	みかん

山田博元 様	歯ブラシ
金宮 様	ベビーカー 食器
門司一徹 様	チューリップ球根 他
鈴木あずさ様	玩具、洋服
東海観光 (株) 潮崎栄一 様	菓子
いばらきコープ 様	紙オムツ
新堀小百合 様	大根
柴田礼子 様	野菜
願成寺 様	バナナ

・ ゆうゆうクラブ

菊池 様	竹馬・竹ぼっくり
芳賀 眞里子 様	菓子・まんが本
加藤 様	コーヒー
三國 様	菓子
三田村 美恵子 様	米20kg
小笠原 様	菓子
飯泉 様	菓子
佐川 様	菓子
瀬尾 様	菓子

崔 様	菓子
山田 様	野菜
小笠原 様	野菜
市村 様	菓子
廣田 様	菓子
市毛 様	菓子
中森 様	菓子
鈴木 様	野菜
坪 様	菓子

・ 同仁会地域子育て支援センター

金澤 様	玩具
長谷部 様	玩具
ハグヘアー 様	雑誌

飯村 様	玩具
寺島 様	玩具

・ 同仁会子どもホーム

芳賀酉二 様	衣類・食品
遠藤律子 様	食器
小野寺幸子 様	食品
宮田よし子 様	食品
勝見今日子 様	食品
大都 様	食品
関口光恵 様	食品
長谷川知香子 様	食器
石川恭規 様	菓子
永井崇久 様	鉛筆削り器、DVD
助川香織 様	ハブラシセット
佐川君子 様	食品
山上晶正 様	リング
齋藤宏明 様	衣類

パーラージャンボ 様	お菓子
リスカ(株) 様	お菓子
全国シャンメリー 様	シャンメリー
(株)安納スウィーツファーム農業生産法人 様	安納芋
JA茨城ひたち高萩地区女性部 様	もち米
日本鏡餅組合 様	鏡餅・本
サンコー(株)ほっともっと茨城 様	DVD
(株)チュチュアンナ 様	靴下
毎日新聞東京社会事業団 様	玩具
茨城県退職公務員連盟高萩支部 様	タオル
(株) ゆうちょ銀行 様	カレンダー
(株) マルト様	クリスマスケーキ
高萩市みんなの広場実行委員会 様	お祭り招待

NPO法人タイガーマスク基金 様 テレフォンカード
 鈴木裕輔 様 木炭
 株式会社 坂東太郎 絵本
 茨城県ケータリングカー協同組合
 LUCKY MONKEY 熊川史彦 様 食品
 ムーンバット株式会社 傘・マフラー・帽子
 島田農園 様 イチゴ
 株式会社サンゲツ インテリア
 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会様 時計
 東海DOS 様 菓子
 北方そばの会 菓子
 高萩市立秋山小学校 様 菓子類

足長おっちゃんの会 書籍
 株式会社いーぼる 様 ヘアピン
 水戸ホーリーホック 様 サッカー観戦招待
 ダスカジャパン クアウテモック様 チョコレート
 NPO法人ハッピーステップス・さやま大樹作業所 様 石けん
 日赤茨城県支部アマチュア無線奉仕団 様 食事招待
 【ホームパーティー】
 作間 政雄 様 佐藤 勇希 様 鈴木美知子 様
 飯田 和雄 様 松井 清伊 様 市毛 貴子 様
 黒澤 真二 様 植野 美夏 様 小幡 麻衣 様
 笠原 美穂 様 近藤 真美 様 杉原 美帆 様

・内原和敬寮

フードバンク 様 食品
 ムーンバット株式会社 傘、マフラー
 ゆうちょう銀行 様 カレンダー
 ガイヤひたちなか店 様 食品
 747水戸店 様 食品
 安納スイーツファーム 様 さつまいも
 東海観光 様 食品
 (株)チュチュアンナ 様 靴下
 楽天 様 衣料小物
 日本鏡餅組合 様 鏡餅
 楢崎ひろ子 様 食品
 鹿野光春 様 食品、はがき
 大槻義光 様 食品
 朴明俊・朝子 様 食品
 三菱東京UFJ銀行 様 観劇招待
 日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」様 観劇招待
 井出光弘 様 食品

全国シャンメリー協同組合 様 食品
 コストコひたちなか店 様 おもちや、菓子等
 ばんどう太郎 様 書籍
 永井嵩久 様 スポーツ用品
 日本漢字能力検定協会 様 テキスト
 NPO法人フク21ふらっとホーム 様 書籍
 ほっともっと 様 DVD
 フィリップモリスジャパン(株) 様 食品
 J A I F A 様 時計
 ホンダ販売労働組合・ホンダカーズ茨城支部 様 自転車、三輪車他
 (株)リスカ 様 食品
 ダスカジャパン クアウモテック 様 食品
 水戸ホーリーホック 様 サッカー観戦招待
 茨城新聞文化福祉事業団 様 サッカー観戦招待
 公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団 様 玩具・スポーツ用品

・内原深敬寮

愛の里 様 野菜
 岩永 様 野菜・米
 (株)リスカ 様 菓子
 石崎 様 食品
 (株)東海観光 様 菓子
 太和田 様 食品
 冨田 様 菓子

水戸市社会福祉協議会 様 イチゴ
 楢崎 様 梨
 岩淵 様 菓子
 石神 様 スイカ
 新堀 様 野菜
 内原地区民生委員 様 米
 フードバンク水戸 様 食品

・つくば同仁会子どもセンター（つくば香風寮、さくらの森乳児院）

野澤登美子 様 バナナ、お菓子、洋服
 島村亜希 様 衣類、玩具、絵本、お菓子
 鹿野光春 様 葉書、ジュース
 仁田廣子 様 スイカ
 古山和一 様 お米
 東海観光株式会社 東海DOS 関 祐司 様 お菓子

流通経済大学 理事長・学長 野尻 俊明 様 お茶、ジュース
 門司一徹 様 クリスマスカード
 (有)ダスカジャパン クアウテモック 様 チョコレート

・つくば香風寮

杉山 恵子 様 お米、タオル
 石川 様 お菓子、玩具
 岡田 尚 様 絵本
 ジャンジャンデルノザウルス龍ヶ崎店 様 お菓子
 コストコホールセール つくば倉庫 様 食料品、日用品
 (公財)報知社会福祉事業団 様 野球観戦チケット

楽天株式会社ECカンパニー 様 サッカーボール、クリスマスカード、
 クリアファイル、シール
 公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団 様 玩具、サッカーボール、文具
 社会福祉法人 つくば市社会福祉法協議会 様 タオル、洗剤

高校生 2名様
 サバイバル飯炊き(8月9日)
 高校生 4名様
 中学生 2名様
 保護者 3名様
 <平日>
 学習支援
 一般 2名様(木曜日)
 お話の会 月一回

・同仁会地域子育て支援センター

- ・子育て支援事業サポーター 主婦 3名様
- ・エプロンシアター 1名様

・同仁会子どもホーム

- ・調理 …………… 北方そばの会 様(そば打ち、餅つき)
- ・ホームパーティ(協力者) 22名様(学生6名、社会人16名)

・内原和敬寮

- ・施設内の清掃 …………… フィリップモリスジャパン(株) 様(社員様による一日ボランティア)
- ・ // …………… 霊友会様
- ・学習指導 …………… 茨城大学生1名様、茨城キリスト教大学生1名様、常磐短期大学1名様、
リリーこども&スポーツ専門学校1名様
- ・おやつ作り …………… JAIFA様
- ・プール開放 …………… リリープール様
- ・遊び …………… 社会人1名様

・内原深敬寮

- ・環境整備…………… 郡山健康科学専門学校学生4名様

・つくば香風寮

- ・学習指導 …………… 学生(つくば市在住) 5名様
学生(水戸市在住) 1名様

・さくらの森乳児院

- ・ふれあい …………… 主婦(牛久市在住) 1名様
主婦(つくば市在住) 2名様
主婦(守谷市在住) 1名様
看護師(美浦村在住) 1名様
看護師(取手市在住) 1名様
夫妻(阿見町在住) 2名様
夫妻(水戸市在住) 2名様
学生(千葉県柏市在住) 1名様

15) 平成29年度保育実習等受入の状況

・臨海学園

保育(入所施設)・社会福祉援助技術現場実習等

常磐短期大学 4名(10日間)
 つくば国際短期大学 4名(10日間)
 茨城女子短期大学 4名(10日間)
 筑波研究学園専門学校 8名(10日間)

茨城キリスト教大学 4名(12日間)
 リリーこども&スポーツ専門学校 4名(12日間)
 東京未来大学福祉保育専門学校 2名(10日間)

・同仁会乳児院

保育(入所施設)・社会福祉援助技術現場実習等

茨城女子短期大学 4名(10日間)
 つくば国際短期大学 4名(12日間)
 リリーこども&スポーツ専門学校 2名(12日間)
 常磐短期大学 4名(12日間)

筑波研究学園専門学校 4名(10日間)
 流通経済大学 2名(12日間)
 茨城キリスト教大学 4名(12日間)

・同仁東保育園

保育（入所施設）・社会福祉援助技術現場実習等

リリーこども&スポーツ専門学校 1名（12日間）

常磐短期大学 4名（10日間）

・同仁会子どもホーム

保育（入所施設）・社会福祉援助技術現場実習等

茨城キリスト教大学 2名（12日間）

常磐短期大学 3名（10日間）

茨城女子短期大学 2名（10日間）

介護等体験

茨城大学 1名（5日間）

・内原和敬寮

保育（入所施設）・社会福祉援助技術現場実習等

リリーこども&スポーツ専門学校 4名（12日間）

常磐短期大学 4名（10日間）

茨城女子短期大学 3名（10日間）

筑波研究学園専門学校 3名（10日間）

茨城キリスト教大学 4名（12日間）

茨城キリスト教大学 1名（23日間）

介護等体験

茨城大学 14名（5日間）

白鷗大学 1名（5日間）

・内原深敬寮

保育（入所施設）・社会福祉援助技術現場実習等

常磐短期大学 2名（10日間）

茨城キリスト教大学 2名（12日間）

茨城女子短期大学 2名（10日間）

リリーこども&スポーツ専門学校 2名（12日間）

人間福祉実習

茨城キリスト教大学 2名（5日間）

心理臨床実習

茨城大学大学院 4名（5日間）

・つくば香風寮

保育（入所施設）・社会福祉援助技術現場実習等

茨城キリスト教大学 4名（12日間）

筑波研究学園専門学校 7名（10日間）

流通経済大学 2名（12日間）

リリーこども&スポーツ専門学校 2名（12日間）

茨城女子短期大学 4名（10日間）

白梅学園短期大学 2名（12日間）

つくば国際短期大学 4名（10日間）

常磐短期大学 6名（10日間）

・さくらの森乳児院

保育実習

茨城キリスト教大学 3名（12日間）

つくば国際短期大学 4名（10日間）

筑波研究学園専門学校 4名（10日間）

常磐短期大学 2名（10日間）

流通経済大学 2名（12日間）

リリーこども&スポーツ専門学校 2名（12日間）

東京未来大学 1名（10日間）

聖徳大学 1名（12日間）

介護等体験

筑波大学 10名（5日間）

7 部門別 運営計画及び平成29年度の状況

1. 同仁会児童家庭支援センター

1) 平成30年度運営計画

地域における子育て支援の展開は、社会情勢の変化などを受け、さらに重要性が高まり多様な役割が求められています。要保護児童の支援や児童健全育成などを展開する地域子育て支援は、児童福祉法の改正を受け連携体制の再構築が進められています。そんな中、地域関係支援の総合的コーディネートを行う市町村等を専門的にバックアップする機関の必要性は高い状況にあり、親子関係再構築支援や児童自立支援、退所児等アフターケアを含む児童家庭支援のニーズは地域や法人内施設でも高まっている状況です。

そうした実情を踏まえ、児童家庭支援センターが地域における児童家庭への支援コーディネートを担うべく平成30年度は次のとおり強化を図ってまいります。

- 1 施設機能の向上
 - (1) 各種学校、保育園等と連携した支援の強化
 - (2) 一般家庭への来所及び訪問支援の強化
 - (3) 要保護児童対策地域協議会における支援の強化
- 2 組織体制の強化
 - ・スーパーヴァイザー導入の模索
 - ・組織体制強化のための人員増加の模索
- 3 人材育成
 - ・各専門職ごとなどの外部研修への派遣によるスキルアップの継続
 - ・地域子育て支援関係機関等への職員派遣によるスキルアップの継続
- 4 施設・環境の整備
 - ・プレイルーム、心理療法室及び心理療法用具等の整備
- 5 適正財源の確保
 - ・地域子育て支援や要保護児童等の支援に関する県及び市町村事業受託の強化

2) 事業の概況

本年度は、前述の運営方針に基づき、児童家庭支援センターの基本機能の強化を図ると共に、地域関係機関および法人各施設との連携をさらに密にしながら、心理療法を含む相談援助事業の提供を行います。また、要保護児童対策地域協議会等における地域要保護児童への直接的及び間接的支援を通じて社会的養護機能や連携協力機能を担ってまいります。集団療育事業も継続実施し、地域の発達支援機関としての機能もそれに代わる社会資源の拡充までは継続してまいります。

上記の実践のため、研修体制やケアアセスメント体制、リスクマネジメント体制を整備し、より質の高い専門的な支援機関を目指してまいります。

- 1 予防・援助機能の拡充
 - (1) 電話、来所等による一義的な相談援助
 - (2) 地域子育て支援センター等との連携による相談援助
- 2 ケアマネジメント機能
 - (1) 高萩地区法人内施設の提供するサービスの調整を含めたケアマネジメント
 - (2) 養護型施設との連携による入所児童に対する支援の検討等のバックアップ
 - (3) 保育園等の通所施設児童に対する支援の検討等バックアップ
 - (4) 学校等との連携による地域児童への支援
- 3 社会的養護機能
 - (1) 市町村が行う支援のバックアップ
 - (2) 養護型施設との連携による施設退所後の児童及び家庭への支援
 - (3) 養護型施設等との連携による里親養育支援（里親サロン事業の実施等）
- 4 心理療法
 - (1) 児童の情緒的問題及び発達支援等に対する心理治療的支援
 - (2) 心理検査等による心理判定
- 5 地域機関連携協力機能
 - (1) 茨城県児童緊急対応事業の受託
 - ・休日・夜間緊急時の対応
 - ・緊急を要する対応が必要な場合は、児童相談所と協議し対応する。
 - (2) 高萩市要保護児童対策地域協議会における研修・啓発、専門的支援事業の受託

- (3) 高萩市健康づくり課 乳幼児健診及び乳幼児二次健診、すこやかランドへの職員派遣
- 6 「地域子育て力」向上支援（児童健全育成）
 - (1) 地域との連携による家庭教育啓発活動
 - ・高萩市要保護児童対策地域協議会との連携による子ども虐待防止・早期発見のための啓発活動（オレンジリボンキャンペーン等）
- 7 支援検討、リスクマネジメント体制の整備と関係機関とのネットワーク強化
 - (1) 心理判定、スーパーヴァイズなどを含めたケアアセスメント体制を整備
 - (2) 事業委託などにより児童相談所や市町村等の関係機関との連携を強化
 - (3) ヒヤリハット（インシデント）レポート、アクシデントレポートの統計分析の強化
- 8 人材育成
 - (1) 計画的な研修体制の整備、実施
 - (2) ケース検討による他職種間での専門的助言指導など施設内での研修体制を整備
 - (3) 関係機関への職員派遣による資質向上
 - (4) 児童相談所との連携による研修の開催
- 9 施設・環境の整備
 - (1) 専門的支援事業、集団療育事業等の実施に伴う心理療法室用具等の整備

3) 平成29年度実績

1 予防・援助事業

- (1) 電話、来所等による一義的な相談援助

◎月別相談延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	25	34	33	21	16	43	48	50	22	17	24	23	356
来所相談	8	13	8	11	4	14	6	5	1	0	16	11	97
訪問相談	26	20	13	18	24	10	21	21	11	13	13	20	210
心理療法等	39	44	70	53	37	73	48	54	54	51	52	64	639
メール相談	5	37	2	3	1	9	4	1	0	0	0	0	62
手紙相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(FAX等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延べ件数	103	148	126	106	82	149	127	131	88	81	105	118	1,364

◎相談・指導内容の種別延件数

養護	育成								いじめ	DV	その他	合計
	虐待(再掲)	保健	障がい	非行	性格行動	不登校	適正	しつけ				
568	213	279	166	42	187	66	10	24	3	0	19	1,364

- (2) 地域子育て支援センター等との連携による相談援助

- ・学童保育、地域子育て支援センターとの定期連絡会議 : 10回
- ・学童保育児童に対するアサーショントレーニングの実施 : 2回
- ・集団療育事業の実施 : 16回
- ・集団療育事業対象家庭の保護者支援 : 11回
- ・子育て広場に心理士を派遣し、参加者への講義 : 2回

2 ケアマネジメント機能

- (1) 高萩地区法人内施設の提供するサービスの調整を含めたケアマネジメント
 - ・高萩地区法人内施設の提供するサービスの調整を含めたケアマネジメント : 2ケース 7件
- (2) 養護型施設等との連携による入所児童に対する支援検討等のバックアップ
 - ・養護型施設との連携による入所児童に対する連携支援等 : 7ケース64件
- (3) 保育園等との連携による地域児童・保護者に対する支援検討等のバックアップ
 - ・保育園との連携による地域児童・保護者への連携支援等 : 10回
- (4) 学校等との連携による地域児童の支援
 - ・学校等との連携による地域児童・保護者への連携支援等 : 15回

3 社会的養護機能

- (1) 要保護児童対策地域協議会等における地域児童家庭への市町村が行う支援のバックアップ等
 - ・高萩市要保護児童対策地域協議会（代表者会議、実務者会議、個別支援会議） : 15回
 - ・北茨城市要保護児童対策地域協議会（実務者会議） : 12回
- (2) 養護型施設と地域支援事業等との連携による里親養育支援事業

- ・里親支援事業（里親サロン）における研修会への講師派遣 : 3回
- ・里親家庭の個別相談援助を実施 : 4ケース 42件

4 心理療法

- (1) 児童、家庭に対する心理療法等の治療的支援（検査、コンサルテーション含む） : 639回

5 地域機関連携協力

- (1) 茨城県児童緊急対応事業の受託 : 延べ件数 1922件

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	しつけ				
922	698	3	17	48	154	2	0	8	30	0	738	1,922

- (2) 高萩市要保護児童対策地域協議会における研修・啓発、専門的支援事業の受託

- ・実務者会議構成機関対象研修会 : 2回
- ・先駆的な取り組みを行う行政機関等への視察見学 : 1回
- ・オレンジリボンキャンペーン（街頭チラシ等配布） : 2回
- ・専門的支援事業（発達支援） : 12ケース 253件

- (3) 高萩市乳幼児健診への職員派遣

- ・乳幼児定例次健診 : 12回
- ・乳幼児二次健診「すこやか健診」 : 2回

- (4) 関係機関との連携会議等

- ・福祉相談センター日立児童分室との定期連絡会議 : 12回
- ・茨城県子ども家庭課、児童相談所児童健全育成主査との連絡会議 : 1回
- ・里親支援連絡会議 : 8回

2. 同仁会地域子育て支援センター（子育て支援室「カムカム」）

1) 平成30年度運営計画

近年、少子化や核家族化など様々な社会状況の変化に伴い、家庭や地域における子育て機能が低下してきています。子育て支援は、子どもの発達や、子どもの立場に沿った親としての向き合い方について、或いは子どもと親が共に育つ道筋を丁寧に辿りながら、親が本来備えている子育て力を促進できるような支援を提供できるよう次の事項を推進して参ります。

- 1 子育て支援事業の強化
 - ・育児不安や親自身の悩みに対する支援などの相談機能の強化
 - ・年齢発達に合う適切な生活習慣についての情報発信による親支援
 - ・看護師や児童家庭支援センター職員による子育て講座の実施
 - ・周産期にあたる家族への支援
 - ・幅広い親支援の継続的实施
 - ・集団療育の実施
- 2 食育への推進
 - ・食に関する情報の発信
 - ・栄養士による手作りおやつ教室、離乳食教室、子育て講座の実施
 - ・食に関する紙芝居、絵本、パネルシアター等の実施
- 3 環境問題への取り組み
 - ・節電、節水などの省エネの実践
 - ・エコ指導と情報発信
 - ・家庭だけでなく、公共の施設に対するエコ活動の推進
- 4 感染症・アレルギーの対策
 - ・手洗い、うがい、手指の消毒の施行
 - ・提供おやつのパッケージの表示
 - ・感染についての情報発信
 - ・室温、換気、湿度の調整
- 5 職員の資質向上
 - ・研修会への積極的参加
 - ・ペアレントトレーニングの導入と実践
 - ・ペアレントトレーニングプログラムリーダーの養成と実践
- 6 財政基盤の強化
 - ・計画的な予算の執行
 - ・職員の節約意識の徹底と経費削減の推進

2) 事業の概況

地域の子育て支援事業が充実してきた今、K i F T・ちびっこ広場など、それぞれの事業の特性（目的）をお伝えし、利用者の方々のニーズに応えられるようにしてまいりました。また、平成25年度より始めた、くれよんK i F T（集団療育事業）では、落ち着きがなく、じっとしているのが苦手、人見知り、場所見知りがあって気になる、言葉が遅いなどの心配があり、お子さんとどう関わっていったらよいかわからないという方々に対して、関係機関との連携を密にし、内容の充実を図ってきました。子育て支援事業の延長に位置づけられていること、利用者への周知が広がってきたことで、不安や悩みを親が一人で抱え込まずに、気軽に相談して下さるようになったのは大きな成果です。

これからも、母親向けの子育て講座や毎月発行の「カムカム」でも、ペアレントトレーニングを基とした、具体的で効果的な対応の仕方を伝えることで「ほめて、のばして、ラクラク子育て」を実感してもらえるようにし、子どもたちの健やかな成長と発達に繋げていきたいと思ひます。

事業計画

1. 育児等、主に妊産婦、乳幼児のいる家庭への相談事業
2. 乳幼児の成長につながる遊びの実践と主体性を発揮できる場の提供
3. 集団療育事業の開催
4. 子育てサークルの育成・支援
5. 同仁東保育園と連携し、一時保育等の特別保育事業の実施
6. 子育て情報の収集・提供・発信
7. 子育て支援のための講座の開催

事業内容

- 1 「K i F T(キフト)」(Kids Forum Talky=「ちびっこ広場」の造語)の開催
 - * 毎月第1木曜日に「K i F T」(2歳以上の未就園児とその親)
 - 毎月第2木曜日に「赤ちゃんK i F T」(0歳から1歳未満の未就園児とその親)
 - 毎月第3木曜日に「K i F T」(1歳の未就園児とその親)
 - 母親のリフレッシュ、仲間づくりの支援。気軽で身近な子育ての共有空間・育児相談の場の提供。
 - * 毎月第2・4水曜日に「くれよんK i F T」(おおむね2歳～未就学児とその親)
 - 歌やリトミック、体を動かす遊びなど、親子で遊びながら子どもの発達をはぐくむ関わりを支援。
 - * 毎月第3水曜日にくれよんK i F T開放日 くれよんK i F T利用親子に共有空間を提供
- 2 「ちびっこ広場」の開催
 - * 毎月第1・2・3火曜日に「ちびっこ広場」を年齢別(1歳児・2歳児・3、4歳児)で同仁東保育園にて開催。
 - * 保育園保育メニューを地域の未就園児とその親に提供し、保育園児との交流も図る。
 - 年に2回程度、遠足を設定。保育園運動会や夕涼み会に参加。触れ合い遊びやコミュニケーションゲームなど親子の交流を図る。
- 3 公園K i F Tの開催
 - * 月1回のペースで公園で紙芝居、絵本の読み聞かせなどの遊びの設定をし、地域の親子に共有空間を提供する。併せて育児情報・子育て支援事業情報の提供も行う。
- 4 ゆうゆうK i F Tの開催
 - * ゆうゆうクラブを利用児童のいない午前中などに地域の親子に開放し、自由に安全に遊べる空間を提供する。年に数回、親子おやつ作り、母親リフレッシュのための趣味の講座を開催。
- 5 「M a F T(マフト)」(Maternity Forum Talky=「マタニティの広場」の造語)の開催
 - * 周産期にある家族(特に初妊婦)への支援。母親のリフレッシュ・仲間づくりの支援。気軽で身近な子育ての共有空間と育児情報の提供。(予約制)
- 6 外部との連携
 - * 高萩市健康づくり課との連携(「すこやかランド」に職員派遣)
 - * 高萩市生涯学習課との連携(市内小学校・幼稚園・保育園向け「子育て講座」に職員派遣)
 - * 高萩市要保護児童対策地域協議会への参加
 - * 高萩市訪問型家庭教育支援に職員派遣
- 7 子育て情報の発信
 - * KiFTなど支援事業の参加者に配布する機関紙(「Co.me Com.e(かむ かむ)」)の作成・発行。
 - * インターネット・メール(パソコン・携帯電話)による育児情報を地域の親子に発信。
 - * ブログによる最新情報の発信
- 8 特別保育事業の実施
 - * 乳幼児の母親のリフレッシュを含む一時預かり保育を保育園と連携して行う。
- 9 子育てサークルの支援
 - * 育児の情報交換の場として、「カムカムのおへや」(サークル支援室)を子育てサークルに開放し利用を促す。
 - * ゆうゆうクラブを利用児童のいない午前中などに、地域の未就園児の親子サークルに開放し、自由に安全に遊べる空間を提供する。
- 10 子育て講座(お話し会)の開催
 - * 子育てに関する講演会、講座等を開催する。
 - KiFT、ちびっこ広場で、子育て講座「ほめ方のコツ、上手な注目の外し方、指示の出し方」等を実施。
- 11 その他
 - * 育児の情報の入手手段を持たない家庭への情報発信、育児ストレスの軽減、仲間づくりの促進を図る。

3) 平成29年度実績

1 職員の研修

市関係 8名 法人・施設 17名 計 25名

2 子育て支援室相談状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
育児	8	14	12	11	0	9	12	14	10	15	12	3	120
しつけ	5	5	6	4	0	2	7	4	1	2	8	9	53
健康	7	2	4	3	0	4	7	0	3	3	1	2	36
食事	2	3	8	1	0	2	2	0	1	1	2	2	24
電話問い合わせ	0	1	0	3	1	0	0	1	1	2	0	2	11
問い合わせ	3	2	2	2	0	2	1	1	1	1	4	3	22
その他	2	2	2	10	0	5	7	0	4	1	2	3	38
合計	27	29	34	34	1	24	36	20	21	25	29	24	304

3-1 赤ちゃんK i F T開催状況（1歳未満の未就園児）

開催日	参加者（組）	人数	開催日	参加者（組）	人数
4月 20	12	27	10月 12	15	35
5月 18	20	41	11月 16	12	25
6月 8	15	31	12月 14	28	62
7月 13	14	30	1月 18	14	34
8月	実施せず		2月 8	11	24
9月 14	4	10	3月 8	15	35
計				160	354

3-2 K i F T開催状況（1歳の未就園児）

開催日	参加者（組）	人数	開催日	参加者（組）	人数
4月 27	9	19	10月 19	15	35
5月 25	9	19	11月 30	18	44
6月 15	16	35	12月 21	14	33
7月 20	11	26	1月 25	15	34
8月	実施せず		2月 15	9	22
9月 21	13	31	3月 15	28	66
計				157	364

3-3 K i F T開催状況（2歳以上の未就園児）

開催日	参加者（組）	人数	開催日	参加者（組）	人数
4月 13	13	30	10月 5	19	44
5月 11	13	28	11月 9	12	28
6月 1	19	43	12月 7	14	29
7月 6	20	43	1月 11	13	29
8月	実施せず		2月 1	19	45
9月 7	18	41	3月 1	17	40
計				177	400

3-4 くれよんK i F T開催状況（おおむね2歳以上の未就学児）

開催日	参加者（組）	人数	開催日	参加者（組）	人数
4月 26	6	13	10月 11	4	8
			25	10	20
5月 24	8	17	11月 22	8	16
6月 7	7	16	12月 6	7	15
21	9	20	20	7	15
7月 12	3	7	1月 24	7	14
19	11	24			
8月	実施せず		2月 7	6	13
			21	8	17
9月 6	10	19	3月 14	7	15
13	9	19			
計				127	268

4 公園K i F T開催状況

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数
4月	10	9	20	10月	2	8	20
5月	1	7	16	11月	6	7	18
6月	5	6	13	12月	4	5	12
7月	3	雨天中止		1月	22	1	2
8月		実施せず		2月	5	6	14
9月	4	8	19	3月	5	2	5
計						59	139

5 ゆうゆうK i F T

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数
5月	26	7	16	11月	17	4	10
7月	14	3	8	1月	26	6	15
9月	29	5	11	3月	16	7	18
計						32	78

6 ちびっこ広場開催状況

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数	
4月	11	7	16	10月	10	11	25	
	18	9	20		17	5	11	
	25	4	9		24	4	8	
5月	9	7	16		31	12	28	
	16	11	23	11月	7	4	9	
	23	11	25		14	3	8	
30	13	27	21		6	14		
6月	6	6	14	12月	5	6	14	
	13	5	10		12	中止		
	20	11	24		19	2	6	
7月	4	7	16	1月	9	6	11	
	11	6	14		16	6	25	
	18	6	15		23	雪のため中止		
8月	実施せず		2月	6	4	8		
9月	5	8		19	13	7	17	
	12	8		18	20	11	26	
	19	6	15	3月	6	10	24	
計						245	569	
					13	11	25	
				20	12	29		

※ 5/30、10/31遠足

7 M a F T開催状況

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数
4月	21	1	2	10月	27	0	0
6月	23	0	0	12月	22	0	0
計						1	2

8 サークル支援室利用状況

開放日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計													
	AM PM	AM PM	AM PM	AM PM	AM PM	AM PM	AM PM	AM PM	AM PM	AM PM	AM PM	AM PM	AM	PM												
22	24	22	24	24	26	23	25	23	24	19	23	22	25	22	24	22	24	22	23	19	23	20	25	260	290	
利用日	5	0	3	0	5	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	2	5	0	38	7
キャンセル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1
合計	23	0	14	0	21	0	13	0	13	0	11	0	14	12	1	1	1	1	14	0	16	1	25	0	15%	2%

9 育児相談会

同仁会児童家庭支援センター相談員、臨海学園・乳児院・保育園栄養士、保育園看護師を交えての相談会

- 平成29年 5月 26日 「手作りおやつと育児相談会」
講師 臨海学園栄養士 横山 智恵
参加者 7組
- 平成29年 11月 17日 「手作りおやつ作りと育児相談会」
講師 同仁東保育園栄養士 海老沢 暁子
参加者 4組
- 平成29年 12月5日 演 題 「風邪予防と乳幼児の事故防止について」
講師 同仁東保育園看護師 大串千恵子
参加者 6組
- 平成30年 1月18日 演 題 「離乳食の大切さについて」
講師 乳児院栄養士 坂本 和代
参加者 14組
- 平成30年3月1日 演 題 「子どもの心理について」
講師 加藤 弘樹
参加者 組

10 平成29年度 子育てサークル（母親クラブ）

1. 暴れん坊将軍 7家族
2. はなぐみ 7家族
3. アンパンマン 3家族
4. 昭和婦人倶楽部with萩 5家族
5. KITTO 5 家族
6. カウカウ 7家族
7. AKY44 4家族

3. 保育所 同仁東保育園

1) 平成30年度運営計画

平成30年度も110名ほどの児童数でのスタートとなりそうです。ここ数年の入所希望はほぼ横ばいに推移しています。

5月には0,1才児の新園舎がやっと竣工し、これにより手狭だった3才児の保育室を2クラス編成にすることができる予定です。

本年度より保育指針も改定され、保育をめぐる状況は変化していますが、引き続き保育園として機能の一層の充実を図り、地域にある子育てのニーズに柔軟に対応し、保育を必要とする人の思いと願いに応えることで、社会に貢献して参りたいと思います。

1 福祉サービスの質の向上

①保護者支援

- ・子育てに関する情報の提供（健康・安全・育児・食育等）
- ・子育てに関する相談への対応
- ・子育ての仲間づくりの推進支援（親子遠足、保護者懇談会、給食試食会等）
- ・親子参加型行事の開催（運動会、親子遠足、参加保育、給食試食会等）
- ・食育（食に関する情報の提供、給食試食会の開催等）

②保育の質の向上

- ・様々な活動を通して、豊かな感性を育む。
- ・異年齢での関わりを増やし、様々な集団を体験する。
- ・運動習慣の確立による体力づくり
- ・認定子ども園への移行の検討
- ・自己評価の結果検討と改善

2 人材の育成

- ・園内研修（学習会）の充実
- ・法人目標の実践による人間性の向上
- ・各種研修への積極的参加

3 地域との連携

- ・ゆうゆうクラブとの交流
- ・東幼稚園との交流
- ・高萩市主催によるイベントへの積極的な参加
- ・中学生による職場体験の積極的な受け入れ

4 財政基盤の強化

- ・計画的な予算の執行
- ・職員の節約意識の徹底と経費削減の推進

2) 運営の概況

平成29年度も入所依頼が相次ぎましたが、産休代替職員の確保が全くできず、12月には入園をお断りせざるを得ない状況でした。

保育中の大きな怪我や事故がないよう安全性に配慮し、子ども達が安心して過ごせる環境作りを心掛けましたが、情緒・発達面で集団生活が難しい児童も多く、対応に苦慮しました。

冬季の感染症の防止は手洗い・うがい・マスク、保護者への注意喚起を徹底し、例年に比べ蔓延を防ぐことができました。

トイレ水漏れやエアコンの故障・建具の不具合が多発し、建物は借金が終わると壊れてくると言いますが、修繕費が予想以上に掛かっております。

アレルギーの児童が年々増加し、対応が複雑なこともあって、誤食をさせてしまうこともありましたので、一層の注意徹底を図っていきたいと思います。

1. 休園日 … 12月30日～1月3日
2. 開園時間 … 午前7時～午後8時まで
(日祝日 同仁会子どもセンターにて休日保育実施)
3. 対象児童 … 産休明け（第8週）より就学前まで

4) 保育の内容

1. 基本方針

保育指針・法人目標に沿った保育計画を基に保育を展開し、心豊かに生きる力や望ましい未来

を創り出す力の基礎を培います。
 自立 … 自分で考え行動する。
 協調 … 思いやりの心、優しい心、仲間と力を合わせて物事を成し遂げ、喜びを共感する。
 創造 … 感じたこと、思ったことなどをいろいろな形で表現する。
 味覚・聴覚・視覚・嗅覚・触覚などの五感を大切に、豊かな感性と創造性を育む。

2. 基本目標

保育園の主人公は子どもたちです。

その子どもたちの命を守り、未来へつなげていくことが、私たちの仕事です。

- ・ 明るい挨拶を心がけ、一人ひとりを大切に、きちんと目を見て、丁寧な言葉で「ありがとう」を伝えます。
- ・ お子さんの個性は良い方に、ポジティブに捉え、一人ひとりが安心して、夢中になって遊べる環境に配慮します。
- ・ 子どもを中心に、保護者の方と保育者が互いに理解し合い、一緒に子育てや保育ができるように努めます。
- ・ お子さんの様子・成長を把握しながら、自然とふれ合う機会を多く作り、五感を育める保育を計画します。
- ・ 職員は保育の専門職として研鑽を心掛け、常に向上心を持って、お子さんの命を守ります。

3. 保育目標

0歳児…家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりの生理的欲求が満たされた情緒の安定のもと、人への基本的信頼感を形成できるように保育を行います。

1歳児…自分であることの楽しさを知り、自発性や探索意欲を高められるように保育を行います。

2歳児…基本的な生活習慣がほぼ身につく、人や物への興味を広げ、社会性が育めるよう、保育を行います。

3歳児…友達との関わりの中で、自己肯定感や他者を受容する感情が育めるよう、支援します。

4歳児…集団で生活することを楽しむ中で、決まりを守る大切さを知り、更に自主性や自律性が育めるよう、支援します。

5歳児…様々な経験・体験を通して自立性を高め、目標に向かって努力したり、協力して達成する喜びを味わえるよう、支援します。

4. 活動内容

- ① 養護（生命の保持・情緒の安定）、教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）、食育の実践
- ② 健康への支援（異常が認められた時の適切な対応、保健指導計画の策定）
- ③ 環境・衛生の管理（清潔保持・清掃・消毒・点検）
- ④ 事故防止の徹底（避難訓練の実施、蘇生法研修、遊具等の点検、交通安全活動）
- ⑤ 保護者・地域への支援（休日保育、延長保育、育児講座の開催、説明責任）
- ⑥ 特色のある保育
 - ・ 異年齢児保育（4・5歳は混合クラス） ・ 砂浜を利用した保育 ・ ちびっこ広場（園庭の開放）
 - ・ 音楽指導…専門講師（日本音楽総合研究所）の指導による鼓笛隊指導（4・5歳児）
 - ・ リトミック…専門講師（日本音楽総合研究所）によるリトミック（2・3歳児）
 - ・ 体育指導…専門講師（ITレボリューション）による体育指導
 - ・ そろばん教室…専門講師（のぞみそろばん塾）による算数とそろばんの指導
 - ・ 英語教育…専門外国人講師（超禅イングリッシュスクール）による英語指導
 - ・ 東幼稚園との交流

5) 運 営

イ) 会 議

1. 職員会議 (管理・園運営全般 ……月1回)
2. 運営会議 (管理・運営・保育全般 ……月1回)
3. 保育会議 (保育内容の検討・ケース検討 ……月1回)
4. 保育連絡会議 (主任・グループリーダー・企画研修員による保育会議 ……月1回)
5. グループ会議 (年長児・中間児・年少児グループ毎 ……月1回)
6. 献立会議 (献立内容の検討 ……月1回)

ロ) 日 課

時間	生活のプログラム	時間	生活のプログラム
7:00	早朝保育(絵本、玩具遊び)	13:00	午睡(4,5才児はクラス別保育)
8:00	登園・挨拶・健康視診・自由遊び	15:00	起床・おやつ(全児)
9:20	片付け・朝のお集まり(0,1,2才児)	15:30	お集り
9:40	おやつ(0,1,2才児)	16:00	降園開始
10:00	片付け・朝のお集まり(3,4,5才児)		自由遊び(絵本・戸外遊び・玩具等)
	クラス別保育		製作遊び(粘土・折り紙等)
	造形製作・音楽リズム・体育遊び	17:30	延長保育(テレビ・ビデオ視聴・絵本・玩具遊び)
	自然観察・散歩等	18:30	補食
11:30	昼食	20:00	降園終了
12:30	食後の片付け・歯磨き・午睡準備(0~3才児)		

6) 保健衛生及び安全管理

1. 定期検診の実施
 - ア. 園児蟻虫検査 …………… 年2回(江藤微生物研究所)
 - イ. 園児健康診断 …………… 年2回(嘱託医 内田さく先生)
 - ウ. 園児歯科検診(3,4,5才児のみ) …………… 年2回(滝川歯科医院 滝靖宗先生)
 - エ. 園児尿検査 …………… 年2回(田尻ヶ丘臨床検査センター)
2. 身体計測の実施(毎月…身長・体重 年2回…胸囲)
3. 調理担当者の衛生管理の徹底 …………… 保菌検査の実施・消毒・白衣の着用
4. 調理室の整理整頓と衛生管理の徹底
5. 環境衛生(トイレ清掃消毒・寝具消毒・下水道消毒等)
6. 園内外の危険個所の把握と安全管理点検 …… 毎月10日
7. 園庭の遊具施設の安全管理と点検 …………… 毎月10日(変更有り)
8. 玩具等の安全管理と点検消毒 …………… 毎日
9. 交通安全指導 …………… 年1回(6月)
10. 閉園後は株総合警備保障に管理委託契約

7) 平成29年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
調理担当者検便	24	22	26	24	21	25	23	27	25	22	26	26
室内外の消毒	毎日											
非常時避難訓練	27	15 25	15 29	12	24		26	30	28	15 25		29
安全点検	10	10	9	14	10	8	10	10	10	10	9	9
健康診断(児童)	18						24					
歯科検診(児童)	19						18					
健康診断(職員)					23							
児童尿検査			14					24				
火災報知器点検			20						6			
交通安全指導			22									

8) 平成29年度行事内容

月	日	行 事
4	14	入園・進級を祝う会
5	1 17	こいのぼり集会 親子遠足 (4, 5才児)
6	3 22	保育参観、保護者会 交通安全教室
7	7 14-15	七夕集会 お泊り保育 (5才児)
8	5	夕涼み会
10	7 11 12 13 17 25 27	運動会 (全園児) 秋の遠足 (2才児) 観劇 (4, 5才児) 秋の遠足 (3才児) 秋の遠足 (0, 1才児) 秋の遠足 (あか) 秋の遠足 (あお)
11	1	秋の遠足 (みどり)
12	16 25	保育発表会 クリスマス会
2	2 24	節分集会 保育参観、保護者会
3	3 7 8 9 12 24	ひなまつり会 お別れ会 お別れ遠足 (あお) お別れ遠足 (あか) お別れ遠足 (みどり) 卒園を祝う会

- ・安全の日 毎週木曜日
- ・室内外消毒 毎日
- ・高齢者クラブとの交流
- ・地域の子育て支援サービス (ちびっこ広場) 毎月3回実施
- ・ゆうゆうクラブとの交流 (異年令児交流) 年3回実施
- ・東幼稚園との交流

9) 平成29年度資料

1. 職員の研修

	園 長	保 育 士	調理員等	計
日本保育協会		2		3
日本総合音楽研究		1		1
県北ブロック等	4	24	4	32
県又は社協等	1	11		12
市 関 係	11	6		17
法人及び施設独自	4	42	8	54
計	20	83	12	115

2. 各月初日在籍園児数 (入園時年令による)

月 年令	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0才	1	3	3	5	6	7	8	8	8	8	9	9	75
1才	17	17	17	17	18	20	20	20	20	21	21	21	229
2才	23	23	24	24	24	24	24	24	23	23	23	23	282
3才	25	25	26	26	26	27	27	27	27	27	27	26	316
4才	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
5才	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348
計	120	122	124	126	128	132	133	133	132	133	134	133	1,550
前年度	116	118	118	120	127	129	129	131	133	134	133	135	

3. 出身地区別表 (H30. 4. 1現在)

地 区	高 浜 町	有 明 町	東 本 町	肥 前 町	本 町	高 萩	安 良 川	上 手 綱	下 手 綱	高 戸	島 名	春 日 町	赤 浜	秋 山	石 滝	日 立	北 茨 城	合 計
人数	26	22	6	5	6	4	10	4	9	7	8	1	1	1	1	3	0	114

4. 在園期間 (H30.4.1現在)

期間	1年未満	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	計
人数	26	26	16	18	20	8	114

5. 一時預かり保育

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	1	14	23	17	7	0	0	0	1	0	1	1	65

6. 日曜・祭日保育

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	13	10	6	12	5	10	11	13	9	14	11	9	123

7. 体調不良児型保育

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	16	4	8	7	10	15	10	11	11	10	7	2	111

8. 栄養投与状況

1～2歳児 熱量 451 Kcal (食事摂取基準 445 Kcal)
 たん白質 14.7 g (食事摂取基準 14.0 g)
 3～5歳児 熱量 620 Kcal (食事摂取基準 580 Kcal)
 たん白質 20.4 g (食事摂取基準 18.0 g)

4. 放課後児童健全育成事業 ゆうゆうクラブ

1) 平成30年度運営計画

近年、核家族化の進化や、ひとり親家族の増加とともに、地域や家庭における人間関係の繋がりが弱くなり、子育てに悩む保護者が増えています。従来の仕事と子育ての両立支援、児童の健全育成等の施策に加え「子どもの育ち」そのものに着目したもう一段の取り組みが必要とされるとともに、保護者自身も「保護者として」成長していくための支援の必要性を感じています。その柱として、(1) 児童が充実した生活ができる環境づくり、(2) 保護者サポートシステムの構築、(3) 子育てネットワークづくり、(4) 食育の推進、(5) 職員の資質向上、(6) 財政基盤の強化を掲げ、次代を担う子どもたちが健やかに育つための環境づくりを目指します。

- 1 児童が充実した生活ができる環境づくり
 - ・自然を生かした親子体験活動の実施
 - ・日本古来の風習に親しむ行事への参加
 - ・学年別（グループ別）活動の実施（会議室の活用）
 - ・アサーショントレーニングの導入
 - ・異年齢交流の拡充
- 2 保護者サポートシステムの構築
 - ・保護者同士の交流強化による子育て支援
 - ・ペアレントトレーニングを導入した保護者支援
 - ・掲示物による食育・健康・安全・子育て情報の発信
- 3 子育てネットワークづくり
 - ・保護者、学校、関係機関との連携の強化
 - ・児童家庭支援センターとの連携による家庭支援の実施
 - ・地域諸団体、ボランティア、地域住民との交流連携の取り組み
- 4 食育の推進
 - ・栽培、収穫、調理の体験
 - ・手作りおやつの実施と試食会や掲示等による保護者への発信
- 5 職員の資質向上
 - ・法人内外の研修への積極的参加
 - ・ペアレントトレーニングの継続と職員派遣によるスキルアップ
- 6 財政基盤の強化
 - ・計画的な予算の執行と節約意識の徹底

2) 運営の概況

近年少子化が進み、小学校の受け入れ児童が減ってきている中で、放課後児童クラブの利用者も少なくなって来ていることは当然のことと受け止めています。そのような状況での利用児の確保については今まで以上に工夫をしていく必要があると考えています。そのために、児童が安全で快適に過ごせる環境や人間関係を丁寧に作っていく努力をしていくことが、利用者の確保に繋がっていくのではないかと思います。そして、クラブ内での子どもたちの生活の様子を、ブログを通して積極的に発信していきたいと思えます。また、高学年を受け入れたことで上級生がリーダーシップを取るなど、縦割りの機能が発揮されていると思えます。

また、平成28年度7月からボランティアによる高学年の学習支援を開始しました。そして、低学年は読み聞かせグループによる絵本やパネルシアターの鑑賞を取り入れています。学習面で丁寧な支援を行うことで、子どものやる気や安定した心の発育を養うことを目的としています。

今年度もペアレントトレーニングやアサーションを取り入れた保育を行うことで、子どもたちのコミュニケーション能力アップに繋げていきたいと思えます。

3) 運 営

- 1 開園の状況
 1. 開園日 年間291日
 2. 休園日
 - 日・祭日
 - お盆休暇 8月13日～8月15日
 - 年末年始休暇 12月30日～1月3日
 3. 開園時間
 - 学校登校日 下校より午後7時まで
 - 学校休日 午前7時30分より午後7時まで

- 2 活動内容
1. 児童の健康管理、安全確保、情緒の安定
 2. 遊びの活動への意欲と態度の形成
 3. 遊びを通しての自主性、社会性、創造性の向上
 4. 児童の遊びの活動状況の把握と家庭への連絡
 5. 学習支援と読み聞かせによる学習向上と充実
 6. 家庭や地域での遊びの環境づくりへの支援
 7. その他児童の健全育成上必要な活動

- 3 会議
1. 職員会議（子育て支援と合同） 月1回
 2. 連絡会議（引き継ぎ・連絡） 毎日
 3. 運営委員会 年1回
 4. 児童家庭支援センターとの会議 月1回

4) 保健衛生及び安全管理

- 1 給食（おやつ、土曜日や長期休業期間の昼食）
 1. 季節感、栄養バランスのある食事
 2. 担当者の衛生管理の徹底（検便、消毒、着衣）
 3. 調理室の整理整頓と衛生管理の徹底
- 2 安全指導
 1. クラブ内外危険箇所の点検指導及び保全管理点検の実施（毎月）
 2. 交通安全指導の徹底
 3. 閉館後は、（株）総合警備保障に管理委託契約
 4. 非常時避難訓練（年3回）

5) 異年齢時交流

- ・同仁東保育園との交流
- ・中学生・高校生・大学生ボランティアとの交流

○ボランティア受け入れ人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	1	3	1	2		3	11	12	6	10	13	9

6) 平成29年度保菌検査実施日記録 月1回 3名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	24	22	26	24	22	25	23	27	25	22	26	26

7) 平成29年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	1	入会歓迎会	9		
	17	花まつり（保育園児との交流）	10	7	保育園運動会（保育園児との交流）
5	22	総合避難訓練 アサーショントレーニング	11	13	保育園交流（宝探し）
6			12	9	親子餅つき
				22	クリスマス会
7	22	プール	1	4	初詣（滝神社）
				4	避難訓練（津波）
8	2	館外学習		5	100円おやつごっこ（保育園交流）
	3	人権紙芝居	2	2	豆まき
	9	サバイバル飯炊き	3	27	お別れ遠足（願成寺）
	25	ゆうゆうフレンドパーク		30	お別れ会

※ 毎月の行事 ・誕生会 ・手作りおやつ ・100円おやつ

8) 平成29年度資料

1. 職員の研修

	回数	参加者数	計
放課後児童支援員認定資格研修	4	2	8
高萩市子育てサポーター研修会	4	3	12
他施設見学研修	3	2	6

2. 各月初日在籍児童数

学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1年生	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
2年生	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	7	7	91
3年生	10	8	8	8	10	8	8	8	8	8	8	8	100
高学年	13	13	13	14	15	14	14	15	15	15	14	14	169
計	47	36	36	38	41	38	38	39	39	39	37	37	456

3. 特別入会・短期利用児童数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別入会				2	2								4
短期利用				4	1	3	1	3	2	2			16
計	0	0	0	6	3	3	1	3	2	2	0	0	20

* 特別入会は、夏休みなどの長期期間に入会する場合を言う。

* 短期利用は、保護者の都合により、1日単位で利用する場合を言う。

4. 出身地区別表 (H30. 3. 31現在)

地 区	高 浜 町	有 明 町	肥 前 町	東 本 町	石 滝	高 萩	安 良 川	本 町	下 手 綱	合 計
男	7	3		3			1	1		15
女	10	4	4	1	1	1			1	22
計	17	7	4	4	1	1	1	1	1	37

5. 日 課 表

時間	平 日	土曜日及び長期休校日
8:00	学 校	受入れ
9:00		学習
10:00		自由時間
11:00		自由時間
12:00	昼食	
13:00	受 入 れ 宿 題 自由時間	休 息 自由時間
14:00		
15:00	お や つ 清 掃 自由時間	お や つ 清 掃 自由時間
16:00		
17:00	延 長 保 育 (帰宅準備) 帰 宅 延 長 保 育・帰 宅	延 長 保 育 (帰宅準備) 帰 宅 延 長 保 育・帰 宅
18:00		
19:00		

5. 児童養護施設 臨海学園

1) 平成30年度運営計画

昨年度は茨城県内の措置児童数が減少している中で、27名から30名の児童数で推移し、年間を通して安定した運営となりました。また、国の検討会が昨年8月にまとめた「新しい社会的養育ビジョン」には疑問と不安を感じていますが、新たな時代の流れとして捉え、これからも社会の負託に応えなければなりません。

今年度は、法人の第二期中長期計画の初年度となります。そして、オールユニット化に向けた大規模修繕工事を3年後に予定しており、その実現のために多くの課題に取り組んでいかなければなりません。できる限り良好な家庭的環境での養育を実現するため、子どもの生活環境の改善、生活単位の小規模化及び個室化について検討を重ねて参ります。また、これからの社会的養育の中心となる里親への支援を行うため、里親支援専門相談員を配置します。

5年後、10年後の児童養護施設のあり方を見据えながら、職員の思いを一つにして、多くの課題に取り組んで参ります。

- 1 提供するサービス向上と生活環境の改善
 - ・オールユニット化に向けた建物設備の検討
 - ・小規模化及び個室化に向けた支援体制の検討（勤務体制も含む）
 - ・里親支援専門相談員を配置し里親支援機能の強化を図る
 - ・地域貢献に資するため、レクレーション指導員の養成を図る
 - ・部会活動の充実（生教育部会及び生活向上部会）
 - ・自立に向けた社会体験の実施（アルバイト先、職場体験・職場見学先の開拓）
 - ・食育の推進（料理体験や食物栽培体験）
- 2 組織体制の強化
 - ・職員間のチームワーク、グループ相互の連携強化と共通理解の推進
 - ・地域や関係機関（学校・児童相談所・医療機関等）と連携
 - ・効率的な会議のあり方の検討、実施
 - ・自己評価の実施と公表
- 3 人材育成
 - ・中堅職員の育成研修の実施
 - ・研修（園内、法人、外部）体制の充実と人材定着への取り組み
 - ・職員の個別年間目標の設定と定期的な評価
 - ・相談体制の強化（定期的な情報交換とスーパーバイズ）
 - ・実習生やボランティアの積極的な受け入れ
 - ・人事考課の実施
- 4 財政基盤の強化
 - ・計画的な予算の執行
 - ・コスト意識の強化と節約の実践

2) 運営の概況

昨年度に引き続き、入所児童数が年間を通して27名から30名で推移し、安定した一年となりました。職員体制では、新しい職員を4名迎えましたが、業務内容をうまく伝えられないことがあったり、グループ内の連絡・伝達が不十分で、職員間の意思疎通が出来ていないことがありました。情報共有に対する職員個々の意識を高める必要性を感じる一年でした。一方で、生活改善のために取り組んでいる権利擁護部会と性教育部会においてもマニュアルの見直し等、継続して精力的に取り組んでいただきました。

子どもたちの生活面では、全体的に落ち着いており、職員との関係性も良好な一年でした。また、幼児期から過ごしてきた2名の高校3年生もそれぞれ大学生と専門学校生になり、自身の将来の夢に向けて旅立つことができました。また、今年度の課題であった児童の職場体験や就労支援についても「茨城県中小企業家同友会」との繋がりもでき、今後の展開が期待できることとなりました。

今年度も引き続き、職員一人ひとりの力を結集して、子どもたちの安心・安全な生活環境を整えられるよう努力していく所存です。

3) 児童支援の状況

イ) 基本方針

支援の基本は、子どもの目線に立ち、子どもの意思を尊重して自立を促すこととし、家庭的な支援の実現を目指している。具体的には、子どもの生活基盤と生活を支援する職員のグループを男子、女子、幼児の3つに分け、少人数のグループによる支援を行う。また、生活上の決まりや

約束事を子どもと職員が一緒に話し合ったりするなど、より密接な関係づくりを心がけ、子どもたちの安定した生活につなげている。

一方、学習面では多くの学習ボランティアを活用し、小中学生の基礎学力の向上、高校受験に向けての学習支援を行う。その他、地域行事への参加など、地域の中での運営・支援していくことを基本方針とする。

ロ) 基本的目標

○法人理念・綱領を実践し、子どもが将来社会的に自立できるよう援助・支援する。

1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 将来、社会的自立ができる。

3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

○「子どもの人権を守る」という権利擁護の意識を持ちながら、対人援助サービスの基本であるS・G・N・Tを実践し、子どもが豊かな感性を涵養できるよう援助・支援する。

1. S (Smile) 笑顔

常に笑顔で接する。(和顔愛語)

2. G (Greeting) 挨拶

常に明るくあいさつをする。(あなたに関心があります)

3. N (Name) 名前

必ず子どもの名前を呼ぶ。(あなたのことを知っています)

4. T (Thanks) 感謝

子どもに「ありがとう」が言える場面を作る。(あなたを必要としています)

ハ) 支 援 目 標

1. 生活支援の向上

- (1) 児童の安定 (安心して落ち着いた生活が送れる)
- (2) 日常生活の援助 (規則正しい生活リズムを作る)
- (3) 個性の尊重 (個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする)
- (4) 学習相談の強化 (基礎学力の向上と進路相談)
- (5) 自立支援 (自立支援計画に基づいた援助)
- (6) 家庭との連携 (保護者会・家庭通信・帰省・面会・行事への参加)
- (7) 自治会活動の推進 (子ども会議の開催、各種実行委員会)
- (8) 食育の推進 (買い物体験と食事づくり)

ニ) 学 習 支 援

(1) 目 的

- ・学習意欲を高める。基礎学力を養成する。進路相談。

(2) 内 容

- ・落ち着いて学習する習慣(準備、意欲、集中力)を養う。
- ・基礎学力を養成し、学習効果を高める。高校受験の特別支援。
- ・計画的な進路相談を実践する。(面談、学習支援、進路相談)
- ・情操教育(図工、手芸、料理、音楽)の実施。
- ・意欲のある中学生は通塾により学力向上を目指す。
- ・学習ボランティアの活用。

ホ) 環 境 (安全・保健・環境)

(1) 目 的

- ・子どもが安全に落ち着いて生活できる習慣を作る。

(2) 内 容

- ・手洗い・消毒の習慣化、清潔感を養う。(服装、身体)
- ・新型インフルエンザ対策の徹底。

- ・衛生検査の実施。(身体、頭髪、爪、耳垢等)
- ・入浴支援の徹底。
- ・健康診断(年2回)
- ・定期保菌検査の実施。(年2回 6月 1月)
- ・年齢による段階的な洗濯の習慣化。
- ・環境整備(施錠、補修、整備、整理整頓)
- ・愛園デー(子ども自身が安全面に配慮する・環境美化)毎月第1土曜日
- ・安全点検日(職員が安全面の定期点検を実施)各グループ会議の日
- ・非常時(火災、地震、津波、風水害)対策、訓練の実施。
- ・交通安全の徹底(自転車点検、補修、通学路の確認、交通安全教室)

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、会議、研修に積極的に参加し、自己研鑽に努める。

1. 職員会議

- | | |
|----------------|---------------------|
| (1) 全体会議 | … 月 1 回 |
| (2) グループ会議 | … 月 1 回 (男子・女子) |
| (3) 園内研修 | … 月 1 回 |
| (4) 運営会議 | … 月 1 回 |
| (5) 献立会議 | … 月 1 回 |
| (7) 栄養士・調理員等会議 | … 月 1 回 |
| (8) 生活向上部会 | … 月 1 回 |
| (9) 生教育部会 | … 月 1 回 |
| (10)連絡会 | … 毎日 (8:50 / 13:00) |

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環境衛生

- | | |
|-----------------|---------|
| ア. 室内外の消毒(オスバン) | … 週 1 回 |
| イ. 便所消毒 | … 週 1 回 |
| ウ. 寝具消毒(日光消毒) | … 毎 日 |
| エ. 浴場消毒(オスバン) | … 週 1 回 |
| オ. 食器消毒(熱風) | … 毎 日 |
| カ. 残留塩素調査 | … 毎 日 |

(2) 身体衛生

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| ア. 健康診断(学校保健法に準じ当該学校にて) | … 4月・5月・6月(診療科目別) |
| (本園嘱託医により) | … 10月28日 |
| イ. 身体測定 | … 月 1 回 |
| ウ. 散髪 | … 月 1 回 |
| エ. つめ切り | … 週 1 回 |
| オ. 下着交換 | … 毎 日 |
| カ. 入浴 | … 毎 日 |
| キ. 児童・職員保菌検査 | … 年 2 回 |
| ク. 調理員保菌検査 | … 月 1 回 |

(3) 安全管理

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ア. 非常時、備用警備保障に通報契約 | |
| イ. 電気設備検査(日本テクノ株式会社) | … 月 1 回 |
| ウ. 自動火災報知器の検査(作業検査) | … 年 2 回 |
| エ. 非常通報装置の点検(業務委託) | … 年 2 回 |
| オ. エレベーターの点検(//) | … 月 1 回 (目視点検: 随時) |
| カ. ガス湯沸器清掃点検(//) | … 年 2 回 |

(4) 安全管理の点検(毎月第1水-木曜日)

(5) 児童の安全

- 7. 非常時避難訓練・消火訓練の実施（月 1 回）
- イ. 登下校の通学路指定
- ウ. 交通規則の徹底
- エ. 河川、海岸等の事故防止
- オ. 愛園デー（毎月第1土曜日）

5) 週間予定及び日課

1. 週間支援目標

日	・衛生検査（爪、頭髪、耳） ・趣味の教室 子ども会議
月	・登校確認（ハンカチ、ティッシュ、胸章）
火	・入浴支援
水	・室内消毒
木	・安全確認（施錠、交通安全、危険物）
金	・レクリエーション（東小体育館 19:00～21:00） ・上履、靴洗い
土	・基礎学力養成 ・環境整備（寝具日光消毒、室内外清掃） ・屋外活動

2. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:30	起床 清掃		15:00	おやつ	おやつ
7:00	洗面・礼拝 朝食	起床・清掃 洗面・礼拝 朝食	16:00		片付け
8:00	登校 登園	朝食 ドリル学習	17:00	学習(小)・片付け	夕食
9:00		環境整備	18:00	夕食 お知らせ会	学習(中・高)
10:00			19:00	学習(中・高)	入浴 テレビ視聴
11:00			20:00	入浴 テレビ視聴	就寝(小) 自主学习
12:00	昼食	昼食	21:00	就寝(小) 自主学习	就寝(中・高)
13:00		自由遊び	22:00		
14:00	帰園				

6) 平成29年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
室内外の消毒	19	17	21	19	23	20	18	22	20	17	21	14
身体測定	30	31	30	30	31	30	31	30	28	31	28	31
保菌検査(児童・職員)			12-14							9-11		
保菌検査(調理員)	10-12	8-10	12-14	10-12	7-9	11-13	10-12	13-15	11-13	9-11	13-15	12-14
安全管理点検	12,13	10,11	1,7	5,6	2,3	4,6	4,5	8,9	6,7	10,11	1,2	2,8
非常時避難訓練	21	13	4	16	22	3	22	22	28	28	25	11

7) 平成29年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	6	始業式	8	2	幼児レク
	7	入学式		6～8	キャンプ
	29	花まつり・進学進級祝		11～12	夜の動物園
5	13	母の日祝い		14	夏祭り(夜店)・花火
	6	父の日祝い		16	夕涼み会
7	7	七夕	18	プール遊び	
	14	交通安全教室	9	1	始業式
	21	夏休み開始		30～10/1	学童旅行(女児)
11	29～30	高萩まつり	1	13	幼児レク(かみねどう動物園)
	11	七五三祝い		14	交通安全教室
	12	学童旅行(小学生男児)			

12	9～10 25 27 29	学童旅行（中高生男児） クリスマス会 もちつき 大掃除	2	3 10～11	豆まき 子どもスキー旅行
			3	10 17 25	グループレクリエーション 卒業を祝う会 交通安全教室

その他 帰 省（5月3日～6日、8月13日～16日、
12月30日～1月3日）

外 食 年2回
趣味の教室 月1回

8) 平成29年度資料

1. 職員の研修

	園 長	事 務	指 導 員	保 育 士	心 理 士	栄 養 士	調 理 員 等	計
県・社 協	3		9	9	6	1		28
団 体	10	1	35	25	6	7	1	85
法人・施設	3	2	102	78	12	16	26	239
計	16	3	146	112	24	24	27	352

2. 児 童 構 成 (30.3.31現在)

区分 年令・学年	未 就 学 児						小 学 生						中 学 生			高 校 生			他	計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3		
男			2	1	1				1	3		2	3	1	4					18
女		1	1	1	1						1	1			1	2	1			10
計		1	3	2	2				1	3	1	3	3	1	5	2	1			28

3. 各月初日在籍及び入退園児童

[]内は停止

区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	27	28	28	28	28	28	29	29	30	30	30	30	345
入 所		1 初日	1			1			1 初日				4
退 所			1									2	3
月末在籍	27	28	28	28	28	29	29	29	30	30	30	28	344

4. 入園理由別表

入 院 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡		2	2
2. // 行方不明	1	1	2
3. // 離婚			
4. // 不和	1		1
5. // 拘禁		3	2
6. // 入院	2		
7. // 就労	9	3	12
8. // 精神疾患等	4	1	5
9. // 放任・怠惰	1	1	3
10. // 虐待・酷使	2		2
11. 棄児			
12. 養育拒否			
13. 破産等の経済的理由			
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他			
16. 不詳			
合 計	20	11	31

5. 退園理由別表

退園理由	男	女	計
1. 自立（就職）			
2. 進学	1	1	2
3. 措置変更(GHを含む)			
4. 里親委託			
5. 家庭引取り	1		1
合計	2	1	3

6. 在園期間（30.3.31現在）

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
3	12	2	5	6	28

7. ショートステイ受入状況

高萩市 2名 延べ 6日

8. 一時保護の受入状況

1名 延べ 7日

9. レスパイトケアの受入状況

1名 延べ 2日

10. 栄養摂取状況

◎嗜好調査 …………… アンケート調査実施（年2回）

1. 食費 1日当り 800円（原材料費）

2. エネルギー 幼児（3～5歳） 1,462 Kcal（基準 1,279 Kcal）

学童（6～18歳） 2,361 Kcal（基準 2,324 Kcal）

3. たん白質 幼児（3～5歳） 49.1 g（基準 37.1～53.0 g）

学童（6～18歳） 77.2 g（基準 59.8～94.8 g）

入園児童の出身地別の推移（臨海学園）

見相	年 度	平成 17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	合計
中	北茨城市	4	4	4	4	5	6	5	4	4		3	3	3		49
	高萩市	3	2	1	1	2	2	2	3	3	6	3	3	3		32
	日立市	7	10	11	10	9	11	9	6	5	1	3	2	3		88
	ひたちなか市	4	4	4	4	4	4	2	4	4	3	7	6	5		55
	常陸水戸市	4	4	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1		29
	常陸大宮市											1	1			2
	笠間市															-
	小美玉市	3	3	3	3	2	1	1	1			3	3	1		24
	那珂市															-
	神栖市	5	3	3	4	4	2	1								22
	水戸市	15	13	13	14	11	9	9	8	7	6	5	6	8		124
	鹿嶋市	2	3	3	2	2	2	2	1	1						16
潮来市															-	
鉾田市	4	2	2	2	2	3	1	1	1						18	
行方市									1	1				1	3	
大洗町	2														2	
土浦市	4	4	4	4	4	4	3	3	2	2					34	
埴玉町	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1					15	
所															-	
	小 計	58	54	53	53	49	46	39	34	30	21	26	25	25		513
土浦市		4	5	5	5	6	6				2	2	2			37
右岡市		1	1	1	1	1	1	1	1							8
龍ヶ崎市																-
取手市		3	2	1	1	2	2									11
牛久市																-
つくば市		1	1	1	1	1	1				2	2	2	3		12
つくばみらい市		1	1	1	1	1	1									6
かずみがうら市																-
稲敷市																-
守谷市																-
鹿嶋市		1														1
筑西市		3	3	3	3	3	2									17
水戸市		3	2	2	2	2	2									11
行方市										2						2
小 計		13	16	14	14	16	15	1	1	-	2	4	4	5		105
常総市		1	1	1	1	1	1									6
筑西市		3														3
古河市		2	3	2	2	2	2				1	1	1			16
結城市																-
下妻市																-
坂東市		2	1	1	1	1										6
桜川市																-
八千代町																-
鹿町																-
五霞町																-
小 計		8	5	4	4	4	3	-	-	-	-	1	1	1		31
計		79	75	71	71	69	64	40	35	30	23	31	30	31		649

入園理由別総計表（臨海学園）

入園理由	昭和41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	合計
父または母の死亡・行方不明	15	15	15	9	10	17	14	14	15	16	18	18	20	19	22	19	17	17	17	17	14	323
離婚・放任・冷遇	7	14	13	20	18	17	14	18	19	16	16	15	12	10	9	14	15	13	14	19	293	
病氣・貧困	8	13	9	9	8	7	7	8	9	11	7	7	8	9	5	6	9	12	13	15	180	
父母死亡	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	2	2	2	2	2	33
父母家出等行方不明	5	6	6	11	6	2	1	4	6	8	8	9	7	11	7	8	3	4	9	4	5	124
その他環境不遇	41																					41
教護	6	5	4	5	5	4	2	3	4	3	1	1										43
長不就学	2	3	1	1					3	3	3	2	1									19
触法児	1	3	5	2	1	1	3	3	1	1												21
その他															1	1	2	2	2	1	4	13
小計	50	46	60	51	52	51	45	46	53	60	58	55	54	54	52	45	44	49	55	51	59	1,090

入園理由	昭和62	63	平成1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	合計
父または母の死亡	8	5	4	3	4	3	2	4	2	2	2	2	2	2	3	3	4	3	2	2	2	2	2	2	2	1	72
行方不明	6	6	6	6	7	9	7	3	7	5	5	2	1	6	12	12	13	14	13	14	12	12	11	8	8	8	215
離婚・就労	16	14	10	8	10	9	10	8	12	13	13	14	21	21	19	21	20	21	22	22	23	21	20	19	12	11	410
傷病・入院	11	10	15	13	14	16	21	20	15	13	12	10	11	12	18	9	7	6	5	5	4	4	4	3	2	2	262
精神疾患	2	2	2	4	2	2	2	2	1	1	1	2	3	3	3	3	3	3	3	4	4	5	5	6	4	4	79
受刑	2	4	2	3	4	9	9	9	10	8	8	7	12	16	15	15	10	7	6	6	6	5	5	6	2	1	178
虐待・被冷遇	9	6	4	6	5	4	4	4	4	4	9	12	14	18	20	18	19	20	18	14	13	14	18	17	16	9	302
その他	1												2	5	6	7	4		3	3	3	4	4	4	2	1	50
小計	54	46	45	42	45	47	55	50	51	51	53	51	70	85	94	89	81	72	69	69	70	71	69	64	40	35	1,568

※昭和62年より集計項目変更

入園理由	平成25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	合計
父又は母の死亡	1	1	3	2	2																												9
行方不明	8	3	3	3	2																												19
離婚																																	0
不和			1	1	1																												3
拘禁			2	2	3																												7
入院	1	1			2																												4
労働	10	11	13	12	12																												58
精神疾患等	4	4	6	5	5																												24
放任・怠惰	3	2	1	3	2																												11
虐待・酷使	2	1	2	2	2																												9
児童																																	0
養育拒否	1																																1
破産等の経済的理由																																	0
児童の問題による監護困難																																	0
その他																																	0
不詳																																	0
計	30	23	31	30	31																												145

※平成25年度より集計項目変更

6. 児童養護施設 同仁会子どもホーム

1) 平成30年度運営計画

昨今の「家庭的養育推進計画」や「新しい社会的養育ビジョン」など社会的養護をめぐる状況は大きく変化しています。今後の施設養育は小規模化、地域分散化の流れであり、ユニットケアが当たり前の時代となってきています。子どもホームは創立18年目を迎え、この課題に取り組むための計画が求められています。しかしながら、家庭的養育推進計画にあげた臨海学園との統合か廃止かが定まっていないため、ソフト面での計画が重要課題となっています。

さて、被虐待児の入所が増加し、ますます個別的支援や治療的支援が必要になり、職員のスキルアップ、専門性の向上、人材育成が求められています。今年度は職員数が増え、これらの児童への細やかな支援が出来るものと期待して、以下の事項を推進してまいります。

- 1 福祉サービスの向上
 - ・ 生い立ちの整理（ライフストーリーワーク）と権利擁護の学習
 - ・ アセスメントを活用した支援の充実
 - ・ 発達段階に応じた性教育の充実
 - ・ 基礎学力のアップ、家庭学習の習慣化
 - ・ リーピングケアの充実
- 2 組織体制の強化
 - ・ 職員の情報共有体制と報告、相談、連絡の徹底
 - ・ 乳児院や児童相談所とのケース検討など関係機関との連携、協働
 - ・ 自己評価の実施
- 3 人材育成
 - ・ OJTの充実
 - ・ 園内研修の充実と外部研修への積極的参加
 - ・ ボランティアの積極的な受け入れ
 - ・ 人事考課の実施
- 4 財政基盤の強化
 - ・ 計画的な予算の執行とコスト意識の徹底
 - ・ 省エネの実践とエコロジーの推進
 - ・ バザーの実施

2) 運営の概況

平成29年度は高校受験を控える児童が3名、高校を卒業し自立を迎える児童が3人おりましたが、無事に全員が新しい一步を踏み出すことができました。4月に退所した平成28年度高校卒業の児童を含め、4名の退所がありました。幼児1名、小学生2名の新たな入所を受け入れ、平成29年度の入所充足率は前年度から2%増の93.6%となりました。国の方針転換による入所率低下の懸念がある中で示すこうした数値は、児童相談所等による施設への信頼を感じさせるものであり、今後も丁寧な連携と協働が施設経営の要となりそうです。

子どもたちの暮らしとしては、交友関係に関する不安定さなど若干の心配もありましたが、大きな問題もなく1年を終えることができました。建物の補修・修繕や、劣化備品の交換など、ハード面の計画的な改善等まだまだ課題を抱える状況ではありますが、職員による丁寧な暮らしの援助と、それを基にした子どもと職員との信頼関係というソフト面の安定に今後も力を入れ、引き続き安定した施設運営を続けたいところです。

また、29年度からは里親支援専門相談員も配置し、茨城県における里親養育支援についても参画を始めました。県北地区の里親支援状況は今後ますます充実化が求められるところです。こうした動きはしっかり把握し、施設としても組織的な里親養育支援に力を入れていこうと思います。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

子ども一人ひとりが安心して生活できる人間関係と安全な環境作りを目指し、子ども自らが主体的に生活に参加できるように支援していきます。

情緒の安定を図り、発達段階に応じた個別支援、自立に向けた生活力と学習の向上を図ります。また、子どもと保護者に寄り添いながら家庭支援を充実していきます。

ロ) 基本的目標

法人理念・綱領を実践し、児童が将来社会的自立できるよう援助・指導する。

1. 布 施 （人にやさしく、感謝の心をもって生きる）

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 将来社会的自立ができる。
2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)
 - (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
 - (2) 基本的な生活習慣を身に付ける。
 - (3) 他と協調する中で社会性を育てる。
3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)
 - (1) 目標に向かって努力する。
 - (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
 - (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

ハ) 処 遇 目 標

1. 児童処遇の向上
 - (1) 児童の安定 (安心して落ち着いた生活が送れる)
 - (2) 日常生活の援助指導 (規則正しい生活リズムを作る)
 - (3) 個性の尊重 (個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする)
 - (4) 学習指導の強化 (基礎学力の向上と進路指導)
 - (5) 自立支援 (自立計画に基づいた援助)
 - (6) 家庭との連携 (定期的な連絡・面会・帰省)
 - (7) 子ども会議
2. 業務に関わる事務処理の構築
3. 安全・健康管理の徹底
4. 関係機関・団体・地域との連携強化
5. 職員の援助技術の向上

二) 学 習 指 導

- (1) 目 的
 - ・基礎学力を養成する。学習意欲を高め、自主的な学習習慣を身につける。
- (2) 内 容
 - ・基礎学力を養成し、学習効果を高める。
 - ・児童と一緒に学習計画を作成し、自主的な学習につながるようにする。
 - ・計画的な進路相談の実施
 - ・生涯教育(書道・音楽等)の実施

ホ) 環 境

- (1) 目 的
 - ・子どもが安全に生活できる環境を作る。
- (2) 内 容
 - ・手洗い・うがいの習慣化
 - ・入浴指導を行う。
 - ・定期保菌検査の実施
 - ・住環境を中心とした整理整頓、環境整備
 - ・災害時対策及び訓練の実施
 - ・交通安全指導

ヘ) 情 操

- (1) 野菜の栽培
- (2) 花木類の育成
- (3) 趣味の教室(工作・フラワーアレンジメント・菓子作り、調理等)

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

1. 職 員 会 議
 - (1) 全体会議 … 月 1 回
 - (2) 支援会議 … 月 1 回
 - (3) 給食会議 … 月 1 回
 - (4) 施設内研修会 … 月 1 回
 - (5) グループ会議 … 月 2 回

- (6) 連絡会議 … 毎 日
- (7) まるなか会議（性教育） … 月 1 回
- (8) 食育会議 … 年 6 回（奇数月）
- (9) 企画員会議 … 月 1 回

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環 境 衛 生

- ア. 室内外の消毒 …………… 月 1 回
- イ. 便所消毒 …………… 週 1 回
- ウ. 寝具消毒 …………… 随 時
- エ. 食器消毒 …………… 毎 日
- オ. 残留塩素調査 …………… 毎 日

(2) 身 体 衛 生

- ア. 健康診断
- イ. 身体測定
- ウ. 職員保菌検査 …………… 月 1 回（0157含む）
- エ. 児童保菌検査 …………… 年 3 回

(3) 安 全 管 理

- ア. 漏電検査
- イ. 自動火災報知器の検査 …… 平成29年9月4日、平成30年3月2日
- ウ. 火災通報装置の検査 …… 平成29年9月4日、平成30年3月2日
- エ. 特定小規模施設用自動火災報知設備検査 …… 平成30年3月2日

(4) 児 童 の 安 全

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施（月 1 回）
- イ. 登下校時見送り（小学生、学校指定箇所まで）
- ウ. 交通安全指導

5) 児童処遇の計画

◎学習支援について

1. 学習時間

小学生 （平日）基本的に帰園後。児童との話し合いで随時変更あり。
（休日）午前中

中学生 基本的に1時間以上行う。学習時間については児童の自主性に任せ、その日の担当職員と決める。

2. 場 所

食堂、学習室、居室

◎生活支援について

生活を共に作るという基本方針に沿って、職員の側から押しつけるのではなく、子どもと話し合いを持ちながら生活プログラムを作成し、一人ひとりがかけがえのない存在であるということを実感できるように支援する。

1. 職 務 分 掌

- (1) 教育費関係 (2) 給 食 (3) 学用品 (4) 日用品 (5) 被服・寝具
- (6) 教養娯楽 (7) 保健衛生 (8) 保育材料 (9) 防災関係 (10) 家庭関係
- (11) 法人委員会 (12) 関係団体等委員 (13) 園車管理 (14) 安全・保守点検
- (15) 実習生、ボランティア受入

2. 生活指導訓練費について

・毎月1日にお小遣いとして支給する。児童の自主性を損なわないように留意しながら、金銭の管理について年齢相応に経験させる。

・小遣い帳に記入し、金銭管理をする。（中・高生は各自、小学生は職員と一緒に）

3. 誕生日について

・誕生プレゼント

・誕 生 会

児童の誕生日の夕食時に行う。メニューは誕生者の希望をとり、ケーキを囲んでお祝いをする。

4. お年玉について

・元旦にいる児童を対象に支給

5. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:30	起 床	起 床	14:00	帰 園	
7:00	洗 面・朝 食	洗 面	15:00	おやつ	おやつ
8:00	登 園・登 校	朝 食	16:00		
9:00			17:00		
10:00			18:00	夕 食	夕 食
11:00			19:00		
12:00	昼 食	昼 食	20:00	入 浴	入 浴
13:00			21:00	就 寝(小) 自主学習	就 寝(小) 自主学習
			22:00	就 寝(中・高)	就 寝(中・高)

6) 平成29年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事	
4	4	進級進学を祝う会	9	11	個別レク	
	8	スポーツレクリエーション	10	7	バーベキュー	
	17	ハイキング(鶉の岬)	11	12	サッカー観戦招待(ホーリーホック)	
5	6~7	ミニキャンプ・バーベキュー(園庭)	11	13、15	個別レク	
	14	高萩市みんなの広場(実行委員会様招待)		26	レクリエーション(いわき市)	
	22	個別レク	12	12、13、15	個別レク	
	28	イチゴ狩り(島田様招待)		27、28、29		
6			24	餅つき・そば打ち(北方そば打ちの会様)		
7	11	幼児レク(アクアマリンふくしま)	12	25	クリスマス会	
	15、21	個別レク		1	1	初詣と外食
	17、23	海水浴(姥の懐プール)			6~7	スキーレク(猪苗代スキー場)
	30~1	キャンプ(太子広域キャンプ場)	16、18	個別レク		
8	2~4	キャンプ(やすらぎの里公園)	2	3、25	個別レク	
	8	幼児レク(花貫溪谷)	3	3、15	個別レク	
	14、20、21、23	個別レク		11	中高生レク(ボーリング・食事)	
	15	未帰省児レク(BBQ等)		14	幼児レク(神峰動物園)	
	17	プールレク(フォレスパ太子)		15	巣立ちの会	
	19	中高生レク(ファッションクルーズ)		18	映画レク(TOHOシネマス [®] ひたちなか)	
	26	昼食招待 (赤十字アマチュア無線高萩市様招待)		23	中高生レク(食事)	
	28	子どもレク(市民体育館)				
	29	中高生レク(フォレスパ太子)				

7) 平成29年度資料

1. 職員の研修

	ホーム長	事 務	指 導 員	保 育 士	栄 養 士	心 理 士	計
県・社 協	0	0	3	5	2		10
団 体	2	8	17	12	1	6	38
法人・施設	10	3	77	67	3	9	169
計	12		97	84	6	15	214

2. 児童構成 (H30.3.31現在)

区分 年令・学年	未就学児						小学生						中学生			高校生			他	計			
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3					
男							2	2	1		2		1	2	2								
女			1	1					1		4	1						1	2		1		
計			1	1			3	2	5	1	2		1	2	3	2		1					

3. 各月初日在籍及び入退園児童

[]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	23	23	23	23	23	23	24	24	24	24	25	24	283
入所		1 初日				1				1			3
退所	1										1	2	4
月末在籍	22	23	23	23	23	24	24	24	24	25	24	22	281

4. 入園理由別表 (H30.3.31)

入院理由	男	女	計
1. 父又は母の死亡			0
2. " 行方不明			
3. " 離婚			
4. " 不和			
5. " 拘禁	1	1	2
6. " 入院			
7. " 就労			
8. " 精神疾患等	5	1	6
9. " 放任・怠惰	1	1	2
10. " 虐待・酷使	6	7	13
11. 棄児			
12. 養育拒否		2	2
13. 破産等の経済的理由			
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他		1	1
16. 不詳			
合計	13	13	26

5. 退園理由別表

退園理由	男	女	計
1. 自立(就職)	1	1	2
2. 進学			
3. 措置変更			
4. 家庭引取り	1	1	2
合計	2	2	4

6. 在園期間(H30.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
1	9	1	8	3	22

7. 栄養投与状況

◎嗜好調査 …………… 毎月、誕生月の児童に対し実施

1. 食費 1日当たり 580円 (原材料費)
2. 熱量 2032Kcal (基準 1739Kcal)
3. たん白質 73.4 g (基準 61.5~94.6 g)

入園児童の出身地別の推移（同仁会子どもホーム）

児相	年度	14	15	16	合計
中	北茨城市		2	2	2
	高萩市	3	9	2	16
	日立市	2	3	2	9
	ひたちなか市	2	2	2	8
	常陸太田市			3	3
	笠間市				-
	多賀郡				-
	久慈郡	1	1	1	3
	東茨城郡	1	1	1	3
児	西茨城郡	1	1	1	4
	那珂郡				-
	鹿嶋市	1	1	1	4
	行方郡				-
相	水戸市	9	12	8	37
	鹿嶋市				-
	埼玉県				-
談					-
					-
					-
所					-
					-
					-
小計	19	30	18	22	89
土	土浦市	3	3	3	12
	石岡市			1	1
	龍ヶ崎市	2	2	1	6
	取手市				-
	牛久市				-
	つくば市	1	1	2	6
	稲敷郡			1	2
	新治郡				-
	筑波郡	2	2	2	6
	北相馬郡				-
	神奈川県				-
下	小計	8	8	9	34
	水海道市				-
	下館市			1	1
	古河市				-
	結城市				-
	下妻市				-
	岩井市				-
	真壁郡				-
	結城郡				-
	猿島郡				-
	小計				
小計	27	38	27	92	124

※平成17年度より市町村合併等整理のため別表

児相	年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	合計	
中	北茨城市	2	2	3	1	1	1	1	1	1	1	2	2	18	
	高萩市	2	2	2	2	1	3	2	2	2	2	2	3	27	
	日立市	6	7	9	8	9	6	7	7	7	7	7	7	95	
	ひたちなか市	2	2	2										6	
	常陸太田市	3	3	3	2	1	1	1						15	
	常陸大宮市	1	3	4	3	3	3	3	3	3	2	2	2	32	
	笠間市					2	3	2	2	2	2	2	2	15	
	小美玉市													-	
	那珂市	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	1		33	
児	神栖市	1	1	2	2	2	2	2	2	1				17	
	水戸市	5	1							1	5	7		19	
	鹿嶋市													-	
	朝来市	2	2	2	1				1	1	1	1		12	
相	鉾田市													-	
	行方市													-	
	茨城町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		13	
談	大洗町													-	
	大子町													-	
	東海村													-	
	小計	27	23	29	25	21	25	22	22	22	21	19	23	23	302
土	土浦市	2	2	2	2	1						1	1	1	12
	石岡市														-
	龍ヶ崎市								1	1	1	1		4	
	取手市													-	
	牛久市													-	
	つくば市	1			1	1								3	
	つくばみらい市													-	
	かずみがうら市													-	
	稲敷市													-	
	守谷市													-	
	阿見町													-	
下	河内町													-	
	美浦村													-	
	利根町													-	
	小計	3	2	2	2	2	1	-	-	1	1	2	2	1	19
	常総市														-
	筑西市	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1	1		20
	古河市														-
	結城市														-
	下妻市														-
	坂東市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		3	
	相	桜川市													7
八千代町														-	
鹿町														-	
談	五霞町													-	
	小計	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	30
	小計	31	26	32	30	26	29	25	25	26	25	23	27	26	351
	合計														

入園理由別総計表（同仁会子どもホーム）

入園理由	平成13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	合計
入園理由													
父または母の死								1	1	1	1	1	5
〃 行方不明	5	5											10
〃 離婚・就労	3	3	2	3	1	2	5	3	1	1	1	1	26
〃 傷病・入院	1	1				1	1	1					5
〃 精神疾患	2	2	1	3	9	7	7	6	6	7	6	7	63
〃 受刑	6	8	7	6	8	7	10	8	8	9	7	7	91
〃 被虐待・被冷遇	2	11	11	12	12	9	9	11	10	11	10	9	117
その他の	8	8	6	7	1								30
小計	27	38	27	31	31	26	32	30	26	29	25	25	347

入園理由	平成25	26	27	28	29	30														合計
入園理由																				
父または母の死	1	1																		2
〃 行方不明																				-
〃 離婚																				-
〃 不和																				-
〃 拘禁	8	8	8	3	2															29
〃 入院																				-
〃 就労	1	1	1	1																4
精神障害	7	7	7	7	6															34
放任怠惰					1															1
虐待	6	6	7	14	14															47
棄児																				-
養育拒否	2	2	1	1	2															8
破産等経済的理由																				-
児童の監護困難																				-
その他の				1	1															2
不詳																				-
小計	25	25	24	27	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	127

※平成25年度より集計項目変更

7. 児童養護施設 内原和敬寮

1) 平成30年度運営計画

平成30年度は内原和敬寮の新たな中長期運営計画の初年度となります。今年度は、その中にもあるように、茨城県から受託した「児童養護施設退所者等アフターケア事業」を軌道に乗せ、卒園していった子どもたちが社会の中で孤立感を感じることなく、人と繋がりながら自分らしく生きられるよう支援していきたいと考えています。

また、内原和敬寮では新任職員6名が加わったと共に入所して2年未満の児童が半数という状況の中、子どもたちと職員とのよりよい関係構築のため、専門性を高めながらケア技術の向上を目指していきたいと思えます。

- 1 福祉サービスの質の向上
 - ・自立支援計画における本人との振り返りと目標設定
 - ・年齢に応じた性教育の実施
 - ・里親支援専門相談員を中心とした地域里親支援の充実
 - ・家庭支援専門相談員を中心とした家庭復帰と家族再統合に向けての家庭調整の充実
 - ・卒園児童が集える機会の提供の検討
 - ・子育て支援短期利用事業の積極的受け入れ
 - ・児童養護施設退所者等アフターケア事業の展開
- 2 組織体制の強化
 - ・自己評価の実施
 - ・ニーズに合ったボランティアの受け入れ
- 3 ITの推進
 - ・グループウェアの導入の推進
- 4 人材確保
 - ・学生に対しての広報活動
- 5 人材育成
 - ・定期的な面接を通しての職務目標の設定と振り返り
 - ・法人内外の研修への計画的参加
 - ・人事考課の実施
 - ・実習生の積極的受け入れ
- 6 財政基盤の強化
 - ・計画的な予算執行
 - ・コピー料金と光熱水費の前年度費1%削減
 - ・コスト削減、節約意識の徹底
- 5 食育の推進及び環境問題対策
 - ・調理体験、作物栽培体験の充実
 - ・ゴミの分別と資源の有効利用の徹底

2) 運営の概況

昨年度は入所児童が9名、退所児童が12名でした。12名の退所児童のうち7名が家庭復帰、2名が里親委託、3名がグループホームを利用するということになりました。中学3年生の入所児童はおらず高校受験はありませんでした。

内原和敬寮は男女混合縦割りグループで生活しているため、年齢は発達に応じた性教育を個別に行うと同時に、子どもたち本人と自立に向けた目標設定と振り返りを継続して行ってきました。

個別に話し合う時間は性教育と共に、子どもたち一人ひとりとじっくり向き合い、お互いを理解し合える有意義な時間であったと思えます。

職員においては、5年未満の職員が約半数ほど占める中、処遇技術・職員の資質向上は課題の一つであり、グループ長と職員が定期的に話し合いを持ち、職務目標を立て振り返りをするを継続してきました。時間に追われる中での実施で負担感も否めない状況であったと思われませんが、意図しなければとれない時間は職員間の意思疎通、共通理解を図るために機能していたのではないかと考えています。

また、11月からは県から委託された、児童養護施設退所者等アフターケア事業が始まっています。今後も継続して受託できるよう、活動内容を検討しながら実績を重ねていきたいと思えます。

行政との連携においては、水戸市ショートステイ利用が延べ日数236日、延べ人数64人という利用状況でした。ここで暮らす子どもたちの生活の安定も図りながら、私たちの持つ資源や専門性を地域に還元できる場として、今後も積極的に受け入れていきたいと思えます。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

支援の基本は、子どもの目線に立ち、子どもの意思を尊重して自立を促すこととし、家庭的な支援の実現を目指しています。具体的には、子どもの生活基盤と生活を支援する職員のグループを3つに分け、更に6つのユニットに分けて兄弟関係を重視した少人数の縦割りグループによる支援を行います。また、生活上の約束事を子どもと職員が一緒に話し合ったりするなど、より密接な関係づくりを心がけて、子どもたちの安定した生活につなげています。

一方、学習面では学習ボランティアを活用し、小中学生の基礎学力の向上、高校受験に向けての学習支援を行います。希望する中学生は地域の塾へも通っています。その他、地域子ども会やスポーツ少年団への参加をするなど、地域の中での運営・支援を心がけています。

ロ) 基本的目標

○ 法人理念・綱領「合掌深敬の心」を实践し、子どもが将来社会的自立できるよう援助・支援する。

1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 将来社会的自立ができる。

3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

○ 「子どもの人権を守る」という権利擁護の意識を常に持ちながら、対人援助サービスの基本であるS(笑顔)・G(挨拶)・N(名前)・T(感謝)を实践し、子どもが豊かな感性を涵養できるよう援助・支援する。

1. S (Smile) 笑顔

常に笑顔で接する。(和顔愛語)

2. G (Greeting) 挨拶

常に明るくあいさつをする。(あなたに関心があります)

3. N (Name) 名前

必ず子どもの名前を呼ぶ。(あなたのことを知っています)

4. T (Thanks) 感謝

子どもに「ありがとう」と言える場面を作る。(あなたを必要としています)

ハ) 処 遇 目 標

○ 児童処遇の向上

- (1) 安心して落ち着いた生活が送れるよう支援する。
- (2) 規則正しい生活リズムを作れるよう支援する。
- (3) 個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする。
- (4) 基礎学力の向上、高校進学等への進路の支援をする。
- (5) 自立支援計画に基づいた支援を行う。
- (6) 早期の家庭復帰をめざし、家庭との関係を密にするため、児童相談所と連携し定期的な連絡、面会、帰省等を行う。
- (7) 自治会活動の推進。

ニ) 学 習

(1) 目 的

・学習意欲を高める。基礎学力を養成する。就職・進学への支援。

(2) 内 容

- ・落ち着いて学習する習慣(準備、意欲、集中力)を養う。
- ・基礎学力を養成し、学習効果を高める。
- ・子ども一人ひとりの学力、適正に応じた、計画的な就職・進学への支援の实践。(個別面談、学習相談、進路相談)
- ・学習塾の活用(中学生の希望者を対象とする)
- ・学習ボランティアの活用

ホ) 環 境 (安全・保健・環境)

(1) 目 的

- ・子どもが安全に落ち着いて生活できる環境を作る。

(2) 内 容

- ・清潔感を養う (手洗い・歯磨きの習慣化。居室の整理整頓、清潔な服装、入浴の徹底等)
- ・定期保菌検査の実施
- ・毎日の清掃の徹底
- ・非常時 (火災、地震) 対策、訓練の実施
- ・交通安全の大切さを養う (自転車の乗り方の指導、通学路の確認等)
- ・草花の栽培

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

1. 職 員 会 議

- (1) 全体職員・給食会議 …… 月 1 回
- (2) 食育会議 …………… 月 1 回
- (3) ケース・職員会議 …… 月 1 回
- (4) グループ長会議 …… 月 1 回
- (5) 連絡会議 …………… 毎日午前・午後

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環 境 衛 生

- ア. 室内外の消毒 …………… 月 1 回
- イ. 便所消毒 …………… 毎 日
- ウ. 寝具消毒 …………… 随 時

(2) 身 体 衛 生

- ア. 健康診断 …………… 学校保健法に準じて実施
(本園嘱託医により) … 6月19日 (未就園児)、2月8日
- イ. 身体測定 …………… 月 1 回
- ウ. 散髪 …………… 随 時
- エ. つめ切り …………… 週 1 回
- オ. 下着交換 …………… 毎 日
- カ. 入浴 …………… 毎 日
- キ. 児童保菌検査 …………… 年 2 回
- ク. 職員保菌検査 …………… 月 1 回

(3) 安 全 管 理

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施 (月 1 回)
- イ. 火災報知器の検査 (水戸ホーチキ株) …………… 平成29年7月4日, 平成30年1月11日

(4) 児 童 の 安 全

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施 (月 1 回)
- イ. 登下校時の送迎 (小学生)
- ウ. 交通安全指導
- エ. 環境整備 (毎月末の土曜日)

5) 児童処遇の計画

◎学習支援について

1. 平日 (日曜日はなし)

小学生: 帰園後

中高生: 自主学習 (個人のレベルに合わせて)

中学生の希望者においては塾を利用する。

2. 場 所 …… 居室・ダイニング

3. 学校の準備、後片付けの徹底。

◎生活支援について

子どもたち一人ひとりの個性を大切に、生活の中に家庭的な雰囲気が感じられ、安心できる場所を与えられるよう、個別に月間生活目標を作成し、支援を行う。また、地域社会の一員として自立し、自信を持って生活ができるよう、長期計画的な視点で自立支援計画を作成する。

1. 児童の小遣いについて（毎月1日支給）
 - ・小遣い帳に記入し、金銭管理をする。
 - ・貯金の励行（通帳の作成）
 - ・用途は自主性を尊重し、自由に使えるよう配慮する。
2. 誕生日について
 - ・誕生日プレゼント
当日に渡す。
 - ・誕生会
各グループ毎に誕生者のいる月に行う。夕食に誕生者の希望するメニューを準備し祝う。
3. お年玉について
 - ・お年玉 対象：未帰省児
4. 子ども会議の育成
 - ・児童の自主性や主体性を養うことを目的に、グループ毎に組織
 - ・職員・児童が一緒になっての年間行事等の協議・検討。
 - ・意見箱の設置
5. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:00	起床・洗面 朝食		16:00	帰園(小学生) 学習	
7:00		起床	18:00	夕食	夕食
8:00	登校(小学校7:15) 登園(幼稚園7:40) 登校(中学校7:50)	朝食	19:00	テレビ視聴 入浴	テレビ視聴 入浴
12:00	昼食 帰園(幼稚園)	昼食	20:00	就寝(幼児)	就寝(幼児)
14:00			21:00	就寝(小学生) 自主学習	就寝(小学生) 自主学習
15:00	おやつ	おやつ	22:00	就寝(中・高生)	就寝(中・高生)

6) 平成29年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身 体 測 定	7	4	2	10	3	8	14	8	15	4	1	3
保 菌 検 査 (児 童)						11				9		
保 菌 検 査 (職 員)	10	8	12	10	14	11	10	13	11	9	13	13
安 全 管 理 点 検	26	24	28	19	23	27	25	22	20	24	28	22
非 常 時 避 難 訓 練	29	27	24	24	21	18	28	26	16	27	24	4/3

7) 平成29年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	6	進級進学を祝う会	7	1	大地レク (ハワイアンズ)
	8	茨児協球技大会		6. 12. 20	誕生会 (大地, 太陽, 青空)
	9. 22. 23	誕生会 (青空、大地)		26	茨児協球技大会
5	7. 13	青空外食	8	23. 24	大地外食
	14	感謝の会 (母の日祝い)		30	おやつ作り
	17. 20. 28	誕生会 (大地、太陽)		1~3	小学生キャンプ (澗沼)
	21	大地レク (海浜公園)		8~10	中高生キャンプ (澗沼)
6	26	幼児レク (アクアワールド)	14	プール (澗沼)	
	10. 25	太陽外食	20	夏祭り	
	17	おやつ作り	21	スマイルタイム	
9	18	感謝の会 (父の日祝い)	1	22. 24. 26	誕生会 (太陽、大地)
	17. 18	青空外食		28~29	大遠足 (大子~内原)
	18. 24	誕生会 (太陽)		2	初詣 (笠間稲荷神社)
10	23	ディズニースー	2	20. 21	青空外食
	9. 10. 12	誕生会 (青空、大地)		26	誕生会 (太陽)
	14. 29	太陽外食		27	青空レク (ハワイアンズ)
	22	太陽レク (ハワイアンズ)		3	豆まき
11	28	おやつ作り	3	12	おやつ作り
	29	地域交流事業 (映画鑑賞会)		13. 18	太陽外食
	5	にこにこまつり		18. 23	誕生会 (太陽、大地)
	9. 28. 29	誕生会 (青空、大地)		24~25	スキー (中高生)
12	18. 25	大地外食	3	3	ひなまつり
	26	おやつ作り		8. 15	誕生会 (青空、太陽)
	9	青空レク (ハワイアンズ)		11	おやつ作り
12	25	クリスマス会	3	11	旅立ちを祝う会
	28	もちつき		21	大地外食
				24	大地レク (アクアワールド)

8) 平成29年度資料

1. 職員の研修

	園 長	事 務	指 導 員	保 育 士	セラピスト	看 護 師	調 理 員 等	計
県・社 協		3	5	5	8		1	22
団 体	3	2	27	20			2	54
法人・施設	12	4	104	112	20		20	272
計	15	9	136	137	28		23	348

2. 児童構成 (H30. 3. 31現在)

区分	未 就 学 児						小 学 生						中 学 生			高 校 生			他	計	
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3			
男			1	2			2		2		2	2	1	2		2					16
女				1	2		1			2	3	1	1	1		2	3				17
計			1	3	2		3		2	2	5	3	2	3		4	3				33

3. 各月初日在籍及び入退園児童

[]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	36 [2]	38 [2]	38	37	38	38 [1]	38 [1]	36	38	37 [1]	36 [1]	36	446
入 所 〈〉は初日入	1	〈1〉	〈2〉	1				2				1	9
退 所		2	1				2		1	1	1	4	12
月末在籍	37 [2]	36	37	38	38 [1]	38 [1]	36	38	37 [1]	36 [1]	36	33 [4]	440

4. 入園理由別表

入 院 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡	1	1	2
2. " 行方不明		1	1
3. " 離婚			
4. " 不和			
5. " 拘禁	1		1
6. " 入院			
7. " 就労	3	1	4
8. " 精神疾患等	3	3	6
9. " 放任・怠惰	7	6	13
10. " 虐待・酷使	5	7	12
11. 棄児			
12. 養育拒否			
13. 破産等の経済的理由			
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他	2	4	6
16. 不詳			
合 計	22	23	45

5. 退園理由別表

退 園 理 由	男	女	計
1. 自立 (就職)	1	2	3
2. 進学 (大学・専門学校)			
3. 措置変更	1	1	2
4. 家庭引取り	4	3	7
合 計	6	6	12

6. 在 園 期 間 (H30.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
7	13	5	7	1	33

7. 一時保護入所状況

人 数 1名
延べ日数 11日

8. ショートステイ受入状況

水戸市より
延べ人数 64名
延べ日数 236日

トワイライトステイ受け入れ状況

水戸市より
延べ人数 0人
延べ日数 0日

9. 栄養投与状況

◎嗜好調査 …………… 毎月、誕生月の児童に対して実施
年1回記述アンケートにより実施

1. 食 費 1日当り 617 円
2. 熱量 2,266 Kcal (基準 2,034 Kcal)
3. たん白質 78.5 g (基準 66.4g~102.2g)
(学校給食の平均値含む)

入園児童の出身地別の推移（内原和敬寮）

児相	年度	平成17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	合計	
中	北茨城市				1	1	1	1	1	1	1	1				6	
	高萩市															-	
	日立市	1	1	1	2	2	4	3	2	3	3	3	3			28	
	ひたちなか市	2	2	2	1	2	1	1	1	1	2	4	3			22	
	常陸太田市			1								2				3	
	常陸大宮市															-	
	笠間市	2	2	1	1	1	1	2	2	1	1	1				14	
	那珂市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	4			29	
	小美玉市	1				1	1	1	1	1	1	1	4			12	
	神栖市			1	1	1	1	1								9	
児	水戸市	1	4	4	4	10	8	5	2	2	5	5	7	7		64	
	鹿嶋市	1	1	1	1	2	2	3	3	3	1	1	2			23	
	潮来市															-	
	銚田市				1	3	3	3	2	3	3	3				21	
	行方市					2	2	2	2	1						9	
	茨城町	1	1	1												4	
	城里町															-	
	大洗町	3		1	1	2	2	1	1	1	1	1	2			15	
	大子町	3	3	3	3											12	
	東海村									1	1	1	1	1		5	
小計	14	16	17	19	25	28	25	19	21	23	21	22	26	-	-	276	
土	土浦市	8	7	7	7	7	3	5	6	6	2	4	7	4		73	
	石岡市	1	1	3	3	2	1									11	
	龍ヶ崎市			2	1	1										4	
	取手市	3	3	2	2	3	2	2	2	2	2	5	5	7	5	43	
	牛久市	1	2	2	2	2	1				1	1				12	
	つくば市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	3	2	2		16	
	つくばみらい市			1	1			3	1	2	2					10	
	かすみがうら市	1	1	1	1	1				1	1	2	1			9	
	稲敷市										1	1	1			3	
	守谷市	1	1													2	
相	阿見町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					9	
	河内町															-	
	美浦村								1	1	1	1	2	2		8	
	利根町															-	
	檜原市	4	4													8	
	小計	20	20	18	18	18	9	12	11	13	16	17	20	14	-	-	208
	所	常総市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					10
		筑西市	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	2	2	2		19
		古河市	5	6	2	2	2	2	2	3	3	2	1	1			32
		結城市															-
下妻市		2	1	1	1					2	1	2	1	1		12	
坂東市		3	1	1	1	2	2	1	1	1	1					13	
桜川市											1	1	1	1		4	
八千代町																-	
境町			2													2	
五霞町		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		11	
小計	13	13	8	7	7	7	7	7	9	7	8	7	5	5	-	103	
合計	47	49	45	44	50	44	44	39	41	47	45	47	45	45	-	587	

児相	年度	平成16	15	14	合計
中	北茨城市				-
	高萩市				-
	日立市	2	1	3	3
	ひたちなか市	2	2	4	4
	常陸太田市				-
	笠間市				-
	多賀郡				-
	久慈郡	1	3	4	4
	東茨城郡	2	4	6	6
	西茨城郡				-
児	那珂郡	2	2	4	4
	鹿嶋郡	1		1	1
	行方郡				-
	水戸市	1	1	1	1
	鹿嶋市	4		4	4
	埼玉県				-
	潮来市	2	2	2	2
					-
					-
	小計	14	15	29	29
土	土浦市	8	6	14	14
	石岡市				-
	龍ヶ崎市				-
	取手市	1	1	2	2
	牛久市	2	2	4	4
	つくば市				-
	稲敷郡	1	1	2	2
	新治郡	1		1	1
	筑波郡				-
	北相馬郡				-
相	守谷市	1	1	2	2
	横浜市	4	4	4	4
					-
					-
					-
					-
					-
					-
					-
	小計	14	15	29	29
所	水海道市	1	1	2	2
	下館市	2	2	2	2
	古河市	2	2	2	2
	結城市				-
	下妻市	3	3	6	6
	岩井市	8	10	18	18
	真壁郡	2	2	2	2
	結城郡				-
	猿島郡	1	8	9	9
	小計	13	28	41	41
合計	28	58	99	99	

※平成17年度より市町村合併等整理のため別表

入園理由別総計表（内原和敬寮）

入園理由	平成15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	合計
父または母の死			1	1	1					1	4
" 行方不明	4	9	7	8	2	2	2	2	2	2	40
" 離婚・就労					2	1	1				4
" 傷病・入院	2	10	8	6	7	6	7	4	3	2	55
" 精神疾患	4	2	3	4	2	4	8	12	9	8	56
" 受刑	5	15	9	8	7	7	5	1	1	1	59
" 被虐待・被冷遇	12	17	17	19	19	18	21	20	21	19	183
その他の	14	5	2	3	5	6	6	5	4	1	51
小計	41	58	47	49	45	44	50	44	40	34	452

入園理由	平成25	26	27	28	29	30														合計
父または母の死	1	1	1	2	2															7
" 行方不明	2	2	2	1	1															8
" 離婚																				-
" 不和																				-
" 拘禁	3	2		1	1															7
" 入院	2	2	2																	6
" 就労	1	2	1	3	4															11
" 精神障害	8	7	7	7	6															35
" 放任怠惰	9	11	9	11	13															53
" 虐待	12	13	11	13	12															61
棄児																				-
養育拒否	2	2	2	2																8
破産等経済的理由																				-
児童の監護困難		1																		1
その他の	1	4	10	7	6															28
不詳																				-
小計	41	47	45	47	45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	225

※平成25年度より集計項目変更

8. 児童養護施設 つくば香風寮

1) 平成30年度運営計画

平成29年度は、開設以来初となる他施設への措置変更をはじめ、落ち着かない状況からスタートしました。しかし秋には徐々に落ち着きはじめ、普段の穏やかな日々を取り戻しました。

高校3年生は全員が早々に就職内定を得てこの春から新社会人となります。受験生は全員が高校進学を決め、真新しい制服に袖を通します。

一方で、第三者評価の受審により施設の新たな課題も確認できました。さらに、国は「新しい社会的養育ビジョン」で、新たなあり方を示し、各都道府県に対し家庭的養護推進計画の見直しを求めています。新時代の施設機能を確立していくためにも、専門性の向上は必至です。

これらを踏まえて、以下のとおり平成30年度の運営を計画いたします。

- 1 施設提供サービスの向上
 - ・ユニットケアにおける安定した家庭的養育の維持
 - ・アセスメントの強化による子どもと家族の理解
 - ・ライフストーリーワークの計画的実践
 - ・施設の強みを活かしたを活かした専門的地域貢献
 - ・里親支援活動のさらなる推進
- 2 人材育成
 - ・法人内外の研修の体系化と計画的な参加
 - ・人事考課制度の継続実践
 - ・実習生の積極的受け入れと実習プログラムの体系化に向けた検討
- 3 組織強化
 - ・職員のチームワーク強化
 - ・施設内虐待に関する理解と予防への取り組み
 - ・第三者評価における自己評価実施
- 4 財政基盤強化
 - ・計画的予算執行と予算執行状況の正確な把握
 - ・予算執行の標準的なあり方と節約意識の徹底
 - ・グループウェア導入の模索
- 5 食育と環境対策推進
 - ・調理体験の強化
 - ・季節感ある豊かな食体験
 - ・菜園作りと生ゴミリサイクル資源の活用
 - ・『食と環境を守るつくば香風寮の「3つの“ない”宣言」』の周知及び啓発と具体的実践

2) 運営の概況

昨年度は入所が7名、退所が12名ありました。退所した12名のうちの3名は高校を無事卒業し、就職を決めて巣立っていきました。また高校受験をした3名も志望校に合格しております。入所7名のうち3名は、さくらの森乳児院からの措置変更で入所してきた子どもたちです。子どもの発達にとって重要な「養育の一貫性」を保つ意味で、同センター内にあるさくらの森乳児院との連携は非常に意義のある取り組みだと考えております。

児童相談所との連携体制も、今まで同様良好に維持されております。課題を抱える児童や家庭に困難を抱えるケースも多く、実際昨年度はなかなか施設内も落ち着かない状況がありましたが、関係機関との協力・連携のおかげで落ち着きを取り戻すことができました。

高い入所率のため、市町村ショートステイの受け入れについては人数は限られたものの、継続的に受け入れることができました。

職員におきましては、3年以下の経験の職員が半数以上を占める中、一人一人が自分の役割を精一杯果たし、チームワークで一年を乗り切ることができ、辞める職員もいない年度末を迎えることができました。

こうした状況の中、平成30年度つくば香風寮は、施設長が変わり新体制のもとスタートすることとなりました。昨年度示された“新しい社会的養育ビジョン”を踏まえ、施設の専門性を活かして、地域貢献を模索していきます。引き続き落ち着いた毎日の暮らしを支えながら、穏やかな来春を迎えられるよう、職員一同努力して参ります。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

子ども達の生活支援において「受容・共感」「支持」「教示」を援助の基本とする。安心と安全の維持に最大限努力し、その子ども一人ひとりの健全な自己実現の助けとなる自立援助を目指す。また、子ども達の意思や選択が反映されたより家庭的な生活支援の実現を目指す。さらに、子ども達の生活支援を地域の暮らしの中で実践し、それらを通して権利擁護意識の啓発、地域児童福祉への専門性の還元を視野に入れながら、地域と一体となった施設運営を目指す。

具体的には、子どもの生活基盤を4つのユニットに分けた少人数の縦割りで支援し、生活を支援する職員のグループを2つとした支援を行う。また、生活上のきまりや約束事を子どもと職員が一緒に話し合ったりするなど、より密接な関係づくりを心がける。さらに地域子ども会やスポーツ少年団への参加など地域の中で運営・支援していく。

ロ) 基本的目標

法人理念・綱領を実践し、子どもが将来、社会的自立ができるよう援助指導する。

1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)
 - (1) 優しさ思いやりの心を育てる。
 - (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
 - (3) 他と協調する中で社会性を育てる。
2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)
 - (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
 - (2) 基本的な生活習慣を身に付ける。
 - (3) 将来社会的自立ができる。
3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)
 - (1) 目標に向かって努力する。
 - (2) 趣味やスポーツ活動に参加し、豊かな人間性を養う。
 - (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

ハ) 処遇目標

1. 児童支援の向上

- (1) 日常生活支援の徹底 (社会的、知的及び情緒的自立ができる子どもの育成)
- (2) 個性尊重 (その子の個性を尊重し、固有の良い面を伸ばす。)
- (3) 基本的な生活習慣の獲得 (基本的な生活習慣を獲得しその維持と自立を目指す。)
- (4) 落ち着いた生活維持 (寮内生活の基本ルールの遵守、自分を大切にし他人の権利を侵害しない。)
- (5) 清潔な環境づくり (整理整頓や清掃、物を大切に扱う習慣を身に付けることができるよう支援する。)
- (6) 努力する心育成 (スポーツ指導や情操教育を通して努力する心、集中力、忍耐力、持続力を養う。)
- (7) 子ども自身の参画 (子ども自身が寮内生活を創っていく心を育てる。)
- (8) 潤いのある生活 (安全と衛生面に留意した、安心して潤いのある生活環境を整える。)

ニ) 学 習

(1) 目 的

- ・学習意欲を高める。基礎学力を養成する。その子の特性や固有の力に応じた進学適正、就業適正を網羅した知的自立支援を行う。

(2) 内 容

- ・落ち着いて学習する習慣 (準備、意欲、集中力) を養う。
- ・基礎学力を養成し学習効果を高める。高校受験の特別支援。
- ・計画的な進路相談を実践する (面談、学習支援、進路相談)
- ・心理士の助言による進学適性、就業適性を踏まえて、学習支援と児童の発達状況に応じた支援を展開する。

ホ) 環 境 (安全・保健・環境)

(1) 目 的

- ・子どもが安全に安心して明るく生活できる環境を作る。

(2) 内 容

- ・手洗い、消毒の習慣化、清潔感を養う (服装、身体)
- ・季節性感染症対策の徹底

- ・健康診断、定期保菌検査の実施
- ・環境整備（施設、補修、整備、整理整頓、毎日の清掃）
- ・非常時（火災、地震）対策、訓練の実施
- ・交通安全の徹底（自転車点検、補修、通学路の確認）
- ・環境美化活動（子ども自身が安全面に配慮する・寮内外の環境美化、地域への奉仕活動）

へ) 情 操

(1) 目 的

- ・園芸や作物づくりなど土に触れる体験を通して、豊かな情緒を育む。

(2) 内 容

- ・敷地内への樹木、草花の植栽。
- ・農作物の栽培（じゃがいも、夏野菜など）

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

1. 職 員 会 議

- | | | |
|-----------------|-------|----------------------|
| (1) 職員会議 | | 月 1 回 |
| (2) グループケース会議 | | 月 1 回 |
| (3) 運営会議 | | 月 1 回 |
| (4) 連絡会議 | | 毎日 8:45及び13:15 |
| (5) 里親支援会議 | | 月 1 回 |
| (6) 調理員会議 | | 月 1 回 |
| (7) 施設内研修 | | 月 1 回 |
| (8) 家庭支援会議 | | 隔月 1 回：内原地区担当者との合同会議 |
| (9) リスクマネージャー会議 | | 隔月 1 回 |

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環 境 衛 生

- | | | |
|-----------|-------|-------|
| ア. 室内外の消毒 | | 月 1 回 |
| イ. 寝具日光消毒 | | 好天日随時 |
| ウ. 浴場消毒 | | 毎 日 |
| エ. トイレ消毒 | | 週 1 回 |
| オ. 食器消毒 | | 毎 日 |

(2) 身 体 衛 生

- | | | |
|-----------|-------|--|
| ア. 健康診断 | | 学校保健法に準じて実施
(嘱託医による・・・6月・12月の嘱託医来訪健診の他、随時医院にて実施。全児年間2回) |
| イ. 身体測定 | | 月 1 回 |
| ウ. 散髪 | | 随 時 |
| エ. つめ切り | | 週 1 回 |
| オ. 下着交換 | | 毎 日 |
| カ. 入浴 | | 毎 日 |
| キ. 児童保菌検査 | | 月 1 回 |
| ク. 職員保菌検査 | | 月 1 回 |

(3) 安 全 管 理

建物設備等点検…業者委託（総合建物サービス株式会社）

- | | | |
|----------------------|-----|-----|
| ア. 空調機保守点検（年2回） | 5月 | 11月 |
| イ. 換気設備保守点検（年2回） | 5月 | 11月 |
| ウ. 受水槽清掃・水質検査（年1回） | 6月 | |
| エ. グリストラップ清掃（年2回） | 6月 | 12月 |
| オ. 消防設備点検（機器点検・総合点検） | 5月 | 11月 |
| カ. 巡回設備点検（年2回） | 5月 | 11月 |
| キ. ダムウェーター点検（年6回） | 奇数月 | |

(4) 児 童 の 安 全

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| ア. 避難訓練・・・ | 月 1 回 |
| イ. 登下校時の送迎 | |
| ウ. 環境整備・・・ | 毎日（朝の連絡会議終了後）、月 1 回の環境美化活動 |
| エ. ヒヤリハットレポートによる未然事故の予防検討 | 毎月職員会議内にて |

5) 児童の支援計画

◎学習支援について

1. 学習時間
平日：帰寮後 土曜日：個々の適正、課題、達成目標に応じて
2. 内 容
 - ・基礎学力養成のためドリル学習（小1～中3）
 - ・意欲のある中学生は通塾により学力向上を目指す。
 - ・筑波大学学生ボランティアによる個別指導の活用
 - ・中学生以上は原則として学習塾利用
 - ・進路相談：面接 中3年生 随時（グループ長）
中1・2年生 随時（フロア担当者）
 - ・進学適正、就業適正に関する助言（心理士）
3. 場所について
 - ・各ユニットにて実施（居室・食堂）
4. 学校の準備、片付けの徹底

◎生活支援について

1. 生活指導訓練費（小遣い）
 - ・小遣い帳を記入し金銭管理を教える。
 - ・貯金の励行。
 - ・有効な小遣いの使い方指導。
2. 誕生日
 - ・誕生会は各ユニットで実施。希望の夕食を提供し、それぞれに家庭的な雰囲気の中で実施するよう心掛ける。
3. お年玉
 - ・全児童に対して支給する。

6) 週間予定及び日課

1. 週間指導目標

日	衛生面確認（頭髪、爪、耳垢等） ※随時
月	登校児の確認（ハンカチ、ティッシュ、胸章、防犯ブザー等） ※毎日
火	入浴マナーの確認 ※随時
水	環境整備（寝具日光消毒、室内外清掃、消毒等） ※随時
木	安全確認 ※随時
金	上履き、靴洗い
土	基礎学力養成 ※毎日

2. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:30	起床・洗面		15:00	おやつ	おやつ
7:00	朝食		18:00	夕食	夕食
7:30		起床・洗面	19:00	入浴	入浴
7:45	登校(小中学生)	朝食	20:00	幼児就寝	幼児就寝
8:00			22:00	消灯・就寝	消灯・就寝
8:15	登園(幼稚園)				
12:00	昼食	昼食			

7) 職務分掌

1. 生活支援
子ども会議 家庭通信 貯金・小遣い管理 ドッジ・ソフトボール 料理作り
2. 適正支援
基礎学力養成 知的自立支援（リーダー、心理士）
3. 環境（安全、保健、環境）整備
避難訓練 連絡通報担当 初期消火担当 避難誘導担当 応急救護担当 書類搬出担当
保健担当 安全点検 自転車点検 公用車管理 環境美化活動
4. 会 議
職員会議 ケース会議 運営会議 施設内研修 会議録管理

5. 物品及び予算管理

小口現金 教育費 教養娯楽 被服寝具 日用品 教育教材 保健衛生 事務用品

6. 係

個人情報管理者 処遇システム管理 研修委員 情報公開委員 親睦会
 学校関係 子ども会 学習塾 スポーツ少年団 県南西8施設研修
 〈茨児協関係〉調査研究委員会 児童交流委員会
 〈行事関係〉個別レク 夏休み係 冬休み係

8) 平成29年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
保菌検査(児童・職員)	19	22	19	18	21	19	16	20	18	22	19	19
安全管理点検	27	25	22	13	24	28	26	24	21	25	22	23
非常時避難訓練	27	13	11	8	28	23	14	11	9	13	18	10

9) 平成29年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	8	茨児協ドッジボール大会 誕生会	9	2	個別レク(サマーランド) 誕生会 キャンプ(小・幼女児)
	23, 26, 30			14, 29 16~18	
5	14	母の日 幼児レク(乳児院合同) 誕生会	10	3, 29	誕生会 秋レク(乳児院合同) 個別レク(ディズニーランド)
	13, 20 2, 7, 23, 31			14, 28 24	
6	6	幼児レク(乳児院合同) 誕生会 父の日 個別レク(ディズニーランド)	11	12	誕生会 七五三祝い
	10			25	
	18		12	3	個別レク(ディズニーランド) 誕生会 クリスマス会 もちつき(乳児院合同)
24	22, 24 24				
7	1~7	七夕 八坂神社祭礼 キャンプ(中高女児) 茨児協球技大会(ソフトボール) 誕生会	1	2, 3	初詣(板橋不動尊) 誕生会 個別レク(ららぽーと)
	18~20			6, 11 28	
	23		2	3	節分 個別レク(温泉) 誕生会
26~27	11 15, 21				
8	2~4	キャンプ(小学生男児) 個別レク(お台場、野球観戦) 誕生会 キャンプ(中高男児) 夕涼み会(乳児院合同)	3	2, 4, 5, 27, 30	誕生会 ひなまつり 個別レク(映画、温泉)
	17, 22			3	
	18		9, 26~27		

10) 平成29年度資料

1. 職員の研修

	施設長	事務	指導員	保育士	心理士	調理員等	計
県・社協		1	8	7	3		19
団体	4		32	27	7	2	72
法人・施設	9	10	95	111	12	1	238
計	13	11	135	145	22	3	329

2. 児童構成(H30.3.31現在)

区分 年齢・学年	未就学児						小学生						中学生						高校生			他	計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3					
男			2		1		1	1		2	2				2		1					12	
女			1	2	1		2	1	1	1	1						2					12	
計	0	0	3	2	2	0	0	3	2	1	3	3	0	0	2	0	3	0	0			24	

3. 各月初日在籍及び入退園児童 []内は停止

区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	29	29	28	28	27	26	28	27	28	28	29	29	336
入 所	1		1			2		1		1		1	7
退 所	1	1	1	1	1		1					6	12
月末在籍	29	28	28	27	26	28	27	28	28	29	29	24	331

4. 入寮理由別表

入 所 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡			0
2. // 行方不明		1	1
3. // 離婚		1	1
4. // 不和	1	1	2
5. // 拘禁	2	1	3
6. // 入院		1	1
7. // 就労			0
8. // 精神疾患等	2	1	3
9. // 放任・怠惰	5	2	7
10. // 虐待・酷使	5	9	14
11. 棄児	1		1
12. 養育拒否	1		1
13. 破産等の経済的理由			0
14. 児童の問題による監護困難			0
15. その他	2		2
合 計	19	17	36

5. 退寮理由別表

退 園 理 由	男	女	計
1. 自立（就職）	1	2	3
2. 進学（大学・専門学校）			
3. 措置変更	2		2
4. 里親委託	1		1
5. 家庭引取り	3	3	6
合 計	7	5	12

6. ショートステイ受入状況

つくば市 3名 延べ 25日

7. 栄養投与状況

◎嗜好調査 …………… 毎月、誕生月の児童に対して実施(お誕生日メニュー)
平成29年9月在籍児童に嗜好調査アンケート実施し施設内の食育研修で
調査結果を報告。
(アンケートについて年少児童は職員の介助による。)

- 1. 食 費 1日当り 776 円 (原材料費)
- 2. 熱 量 2,122 Kcal (基 準 1,847 Kcal)
- 3. たん白質 73.4 g (基 準 46.3~90.1 g)

入園児童の出身地別の推移（つくば香風寮）

見相	年 度	平成	24	25	26	27	28	29	30	合 計
		23								
北茨城市										-
高萩市							1			1
日立市										-
ひたちなか市					1	1	1			3
常陸太田市										-
常陸大宮市										-
笠間市										-
那珂市										-
小美玉市			1							1
神栖市										-
水戸市			3	3	4	2	1	1	4	18
鹿嶋市			1	1	1	2	2	2	2	11
潮来市										-
銚田市			3	1						4
行方市										-
茨城町										-
城里町					1	1				2
大洗町										-
大子町										-
東海村										-
小 計			7	6	5	5	4	8	-	40
土浦市			6	6	6	4	3	4	5	34
石岡市										-
龍ヶ崎							1	6		7
取手市			3	6	6	9	5	5	2	36
牛久市					1	3	3			7
つくば市			2	2	1	1		3		9
つくばみらい市			1	1	1	1	1	1		7
かすみがうら市										-
稲敷市					1	2	2	2		7
守谷市										-
阿見町										-
河内町										-
美浦村										-
利根町										-
小 計			12	15	14	17	14	16	19	107
常総市			2	3	2	1	1	1	1	11
筑西市			4	5	6	3		1	3	22
古河市			2	2	2	1	1	1		9
結城市			1		1	3	3	3		10
下妻市			1					1		2
坂東市								1		1
桜川市					4	3	3			10
八千代町				2	2	2	2			6
境町					1	1	1			3
五霞町										-
小 計			8	10	12	12	11	12	9	74
計			27	31	31	34	30	32	36	221

入院理由別総計表（つくば香風寮）

入院理由	平成23	24	合計
父または母の死亡	1	1	2
” 行方不明			-
” 離婚・就労	7	7	14
” 傷病・入院		1	1
” 精神疾患	2	2	4
” 受刑	5	3	8
” 被虐待・被冷遇	12	17	29
その他・未成年等			-
計	27	31	58

入院理由	平成25	26	27	28	29	30	合計
父又は母の死亡							0
” 行方不明					1		1
” 離婚	4	3	3	3	1		14
” 不和	1			1	2		4
” 拘禁	3	5	4	3	3		18
” 入院			1	1	1		3
” 就労							0
” 精神疾患等	7	6	4	2	3		22
” 放任・怠惰	3	6	4	6	7		26
” 虐待・酷使	5	11	12	13	14		55
棄児			1	1	1		3
養育拒否		1		1	1		3
破産等の経済的理由	1			1			2
児童の問題による監護困難	1						1
その他	1	2	1		2		6
計	26	34	30	32	36		158

※平成25年度より集計項目変更

9. 乳児院 同仁会乳児院

1) 平成30年度運営計画

昨年、国からは「新しい社会的養育ビジョン」が示され、乳児院では、小規模ユニットケア体制の整備と、高機能化への準備が必要となりました。今後10年間の第二期中長期計画の初年度に当り、社会からの要請に応じられるような、また、大きな変化にも対応できるような、柔軟性のある施設づくりを進めていかなければなりません。

養育面におきましては、2年前の乳児死亡事故を忘れることなく「安全第一の養育」を基本とすると共に、お預かりしているお子様たちへの丁寧なかかわりを実践し安心と安定を提供してまいります。以上のことを踏まえ、次の事項を運営の計画といたします。

- 1 福祉サービスの向上
 - ・子どもの権利擁護に基づいた養育の実践（日常のきめ細かい丁寧なかかわり）
 - ・子どもの安全を最優先とした養育の充実
 - 「安全の日」（4月27日）の学習会及び、ヒヤリハットから事故防止を図る
 - ・家庭支援専門相談員を中心とした家庭支援の充実
 - ・里親支援専門相談員を中心とした地域里親支援の充実
 - ・食育の推進（食育計画に基づく実践）
- 2 組織体制の強化
 - ・職員間のチームワーク（情報共有と報告・連絡・相談）の充実
 - ・第三者評価事業における自己評価の実施
 - ・三者会議（個別対応職員・家庭支援専門相談員・里親支援専門相談員）の充実
 - ・ユニットケアに向けたワーキングチームの結成と充実
- 3 人材育成
 - ・法人研修や外部研修への積極的な参加
 - ・年間計画に基づく施設内学習会の実施
 - ・新採職員教育の充実（新人・中堅・運営委員の組み合わせで行う）
 - ・さくらの森乳児院との交流研修（目的「ユニットケアを学ぶ」年間3回実施）
 - ・職員の個別年間目標の設定と定期的な評価
 - ・人事考課の継続実施
 - ・実習生の積極的な受け入れ
- 4 財政基盤の強化
 - ・計画的な予算の執行
 - ・節約、リサイクルなど職員のエコに対する意識付け及び日常の実践

2) 運営の概況

一昨年の乳児死亡事故の教訓から子ども達の生活を「安全第一」として養育してまいりましたが、昨年の9月に沐浴槽内で両足底と甲のやけどを負わせる事故を起こしてしまいました。

そのお子さんには大変な苦痛とストレスをあたえてしまい、保護者の方には、ご心配と施設に対する不信感も抱かせてしまいました。本当に申し訳ありませんでした。こどもの対応に焦って沐浴時のマニュアル（湯温調節等）が守れなかったことが大きな原因でした。

このように二年続けての事故を重く受け止め、気を引き締め再度安全管理の徹底に努めてまいります。

昨年度の入所は4名、退所は8名で在籍率は79.6%でした。今年度も暫定定員18名です。退所8名の内、5名は里親委託、3名は児童養護施設への措置変更になっています。

今後乳児院の里親委託率は更に高まることが予想されます。また、一時保護委託、ショートステイの利用が見込まれ、乳児院が求められる総合支援機能の強化に向け、関係機関と連携しながら進めていきたいと思っております。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

子ども達の生活が安全で安心なものになるよう次のことに努力してまいります。

1. 「愛着関係の形成」を重視した個別対応や小グループでの養育を行います。
2. 子ども達がよりよい生活を送ることができるよう、環境の整備を行います。
3. 家庭支援専門相談員を中心に、子ども・家庭・地域等の総合的な調整を図り、里親委託を含めた早期家庭復帰支援を行います。
4. 心理療法担当職員による専門的な関わりや、家族の心理的不安の軽減に努めます。

5. 里親支援専門相談員を中心として、地域の里親支援を行います。
6. 職員の研修機会を多くし、子ども達の処遇向上に努めます。
7. 子どもの成長に合わせた食育の計画及び実践を行います。

ロ) 基本的目標

法人理念 「合掌深敬」 感謝と共生の心

法人理念・綱領を実践し、乳幼児が養育者と共に、時と所を共有し、共感し、応答性のある環境の中で、生理的・心理的・社会的に豊かな人間関係を培い、社会の一員として参画できる基礎作りを目指します。

ハ) 養育目標

1. 基本的生活習慣の確立 …… 個々の発達段階をふまえて一貫した養育を行う。
 - 0 才 児 …… ミルクの自律栄養、離乳食（食べる意欲の基礎づくり）、寝返り、お座りの練習、這い這い、つかまり立ち、つたい歩き。
 - 1 才 児 …… 食事の練習（スプーン・フォーク・コップ飲み等、食べる意欲を大切に育てる）、つたい歩きから歩行の完成、歯みがきの練習、排泄への意識づけ。
 - 2 才 児 …… 食事の自立（食の体験を広げる）、言語の獲得（単語より二語文へ、また会話ができる）、排泄の自立に向けての練習、簡単な着脱の練習、歯みがきの練習。
2. 基礎体力の増進 …………… 身体の鍛練をする。
ベビーマッサージや乳児体操の実施と薄着の習慣付けをする。
3. 情緒の安定
落ちついた環境でおだやかな働きかけを行い、基本的欲求を満たす。
社会生活への適応性の涵養に心がける。
4. 生活支援
基本的生活習慣を身につけると共に、子どもの持っている素質を充分にのばす。

4) 運 営

1. 職務分掌

- | | | | |
|-------------|----------------|-----------|------------|
| 1. 被服 | 2. 日用品 | 3. 保健衛生 | 4. 教養娯楽 |
| 5. 寝具 | 6. 環境製作（手作り玩具） | 7. 器具・什器 | |
| 8. 環境美化 | 9. 環境整備 | 10. 院車管理 | 11. 防火管理 |
| 12. ボランティア | 13. 事務用品管理 | 14. 実習生指導 | 15. ミルク等管理 |
| 16. 諸記録用紙管理 | | | |

2. 職員会議

1. 職員会議（管理・運営全般・・・月1回）
2. 運営会議（管理・運営全般・・・月1回）
3. 養育会議（ケース検討、保育内容、乳幼児の健康管理・・・月1回）
4. 献立会議（献立、離乳食の検討、調理業務内容の検討・・・月1回）
5. グループ会議（各グループのケース検討、保育内容等・・・月1回）
6. 連絡会議（朝・夕の業務引継・・・毎日）
7. 看護会議（看護師間の連絡調整・・・年4回）
8. 家庭支援会議（法人内担当者の合同・・・月1回）
9. 三者会議（家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、個別対応職員・・・月1回）
10. 職場内研修（学習会・・・月1回）

3. 保健衛生及び安全管理

1. 定期検診の実施

- 月例健診 …… 月1回（嘱託医 内田さく先生）
 検 便 …… 年2回（愛正会 田尻ヶ丘病院）
 乳幼児検診 …… 随 時
 入所時検診 …… 〃

2. 身体計測の実施 …… 月1回（身長、体重、頭囲、胸囲）

3. 身体衛生の実施 （入浴、爪切り、耳掃除、着衣清潔、手洗い、歯磨、整髪）

4. 環境衛生の管理 （便所清掃消毒、寝具日光消毒、敷布カバー交換、カーテン洗濯、玩具消毒、室温湿度調節、換気、防虫）

5. 感染予防（感染源との隔離、消毒）
6. 鍛 練（薄着の励行、乳児体操、ベビーマッサージ、外気浴、体育遊び等）
7. 安全な環境の確保と十分な目配り
8. 玩具等の保安全管理点検
9. 事故防止と安全（窒息、転倒、転落、かみつぎ、ヒヤリ・ハットの記録と検証）
10. 院内外危険箇所等の確認及び保全点検 … 月 1 回
11. 非常時（火災・地震）対策・訓練の実施 … 月 1 回
12. 非常時、(株)総合警備保障に通報契約
13. 建物設備等点検 … 業者委託
 - ① 電気設備検査（伊藤電気管理事務所） …… 月 1 回
 - ② 自動火災報知器の検査（作業検査） …… 年 1 回
 - ③ 非常通報装置の点検 …… 年 1 回
 - ④ ガス湯沸器清掃点検 …… 年 2 回
 - ⑤ スプリンクラーの点検 …… 年 1 回
 - ⑥ エレベーターの点検 …… 月 1 回

5) 養育の展開

①担 当 制

担当は入所から退所まで原則として変えない。

担当者は担当児との愛着関係を結び、安定した生活を送れるようにする

②指導計画・自立支援計画

子どもの成長、発達を支援するため、担当者は2ヶ月に1回ずつ計画を作成し、評価・反省を行う。

③健康管理

嘱託医、市保健センターなどの指導を受け、健康管理を行う。

④生 活

日中はなるべく小グループにし、個別的な対応を多く持つなど工夫する。

養育手順マニュアルに沿った養育をする。

⑤日中の保育の充実

年間保育目標（別表）月案、週案に基づき、日中の保育を行う。

⑥年間保育行事計画に基づく行事（別表）

⑦定期的行事

- ・肥前山へのお参り…入所後の健やかな成長を祈願する。1か月未満児はお宮参りを兼ねる。
- ・お食い初め……生後3～4ヶ月の間
伝承行事。一生丈夫で、また、食べ物に困らないようにという願いを込めて行う。
- ・誕 生 会……誕生日を迎えたその日にみんなでお祝いをする。また、満1歳の誕生児には一升餅を背負わせお祝いをする。
- ・スキンシップデー…… 該当月
 - 《1歳》
担当者として1対1でスキンシップを図る。
 - 《1歳6か月》
社会体験の一つとして担当者と外出し、公園で遊んだり散歩をしたりしてスキンシップを図る。
 - 《2歳・2歳6か月》 ※3歳超過児は半年ごと
家庭復帰に向けた社会体験の一つとして、担当者と外出しバスや電車の体験・レストランでの食事・図書館やお店の見学・おもちゃの買い物などを体験させる。
- ・クッキングデー……月1回（さくら組）
家庭的な雰囲気の中で簡単なおやつや、食事を作り、手作りの楽しさやおいしさを味わう。また、野菜や果物の原物を見たり、触れたりすることで食べる意欲を高める。栄養士による企画は、季節ごとに年4回実施。
- ・買い物体験……年8回（さくら組）
家庭復帰に向けた社会経験の一つとして、さくら組の子ども達を対象に自分でお金を払って物を買う体験をさせる。併せて、その体験を通し満足感を味わうとともに、物を大切にすることを養う。
- ・ハッピーデー……5月 9月
時間に制約されず十分に遊び、軽い食事をする。
- ・外食体験……年2回
レストランでの外食体験を楽しむ。

- ・臨海学園との交流
学園の幼児とは日常的に遊びの交流を行う。また、兄弟のいる子どもに対しては積極的に交流の場を設ける。
- ・キフトへの参加
同仁会地域子育て支援事業に参加し、地域の親子と交流する。
- ・同仁会子どもセンター『にこにこまつり』
保護者・地域の方々・関係機関を招待し、感謝を表す。
- ・励ます会
乳児院から巣立っていく子どもの新しい生活をみんなで励ます。

⑧日 課

時間	たんぽぽ組	さくら組	時間	たんぽぽ組	さくら組
6:00	起床 検温・着替え	起床 検温・着替え	14:00	起床 検温	起床
7:30	授乳 自由遊び	朝食 自由遊び	14:30	授乳・離乳食	間食
9:15	職員朝礼	職員朝礼	15:00	入浴	あそび
9:30	授乳 離乳食	間食	16:00	あそび	あそび
10:00	あそび	あそび	17:00	職員終礼	職員終礼
11:30	授乳	昼食	17:30	あそび	夕食
12:00	午睡		18:30	授乳	入浴
12:30		午睡	19:00	就寝	
			20:00		就寝
			23:00	授乳	

6) 平成29年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
身体測定	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
月例健診	25	23	27	25	29	26	31	21	19	23	20	13	
児童・職員の保菌検査	10~12	8~10	12~14	10~12	7~9	11~13	10~12	13~15	11~13	9~11	13~15	12~14	
安全管理点検	19	6	1	4	1	26	31	22	11	20	22	2	27
非常時避難訓練	26	29	4	24	22	24	27	27	28	11	25	11	

7) 平成29年度行事予定

月	日	行 事	月	日	事
4	3、9	お食い初め	9	4	栄養士のクッキングデー
	17	クッキングデー		6、13、25	スキンシップデー
	18、26	かみね公園		7	ハッピーデー
	21、24	スキンシップデー		16	誕生会
5	3	クッキングデー	10	22	励ます会
	5	子どもの日		28	かみね公園
	12	栄養士とのクッキングデー		29	クッキングデー
	30	お食い初め		19	クッキングデー
6	8、12、27	励ます会	11	22	励ます会
	11	クッキングデー		25	スキンシップデー
	19、21、28	スキンシップデー		25	かみね公園
	19、28	アクアワールド大洗		31	お楽しみ保育
7	24、25	誕生会	12	7	誕生会
	7	七夕のつどい		11	七五三
	19	クッキングデー		15	クッキングデー
	26	花火大会		19	クッキングデー
8	29、30	高萩まつり	12	24	スキンシップデー
	8、21	スキンシップデー		11	クッキングデー
	17	クッキングデー		11、18、20、22	スキンシップデー
	23	花火大会		24	誕生会
				25	クリスマス会
				27	もちつき大会

1	4、5 9、15 10 22	ハッピーデー 初詣・外食 スキンシップデー クッキングデー	3	3 17、21、29 20、27 22	ひなまつり 励ます会 スキンシップデー クッキングデー
2	3 8 12、28 13、28 26	節分 クッキングデー スキンシップデー ハッピーデー 誕生会		24 28	お食い初め お楽しみ会

8) 平成29年度資料

1. 職員の研修

	院長	事務	看護師	保育士	指導員	FSW	里親支	栄養士	心理士	調理員	計
全乳・関プロ関係			3	8	2	2					15
県社協・東社協・茨児協		1	3	23	3	4		3		3	40
法人・施設	10	1	17	116	20	12	15	14		36	241
計	10	2	23	147	25	18	15	17		39	296

2. 児童構成 (H30.3.31現在)

性別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
男		2	2	1			5
女	1	5			1		7
計	1	5	2	3			12

3. 各月初日在籍及び入退所児童

[]は停止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	16	16	14	14	14	15	14	13	13	14	14	15	172
入所 うち()は初日入所	1				1				1		1		4
退所 うち()は初日退所		3 (1)				1	1					3	8
月末在籍	17	14	14	14	15	14	13	13	14	14	15	12	169

4. 入院理由別表

入院理由	男	女	計
1. 父又は母の死亡			
2. " 行方不明			
3. " 離婚	1		1
4. " 不和			
5. " 拘禁			
6. " 入院			
7. " 就労			
8. " 精神疾患等		2	2
9. " 放任・怠惰			
10. " 虐待・酷使	1	1	2
11. 棄児			
12. 養育拒否	1		1
13. 破産等の経済的理由			
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他(育児能力 若年出産等)	4	10	14
16. 不詳			
合計	7	13	20

5. 退院理由別表

退 院 理 由	男	女	計
1. 親 元 解 除			
2. 里 親 委 託	2	3	5
3. 措 置 変 更		3	3
合 計	2	6	8

6. 在院期間 (H30.3.31現在)

1年未満	2年未満	2年以上	3年以上	計
6	5	0	1	12

7. 一時保護入所状況

人 数 4名
延べ日数 256日

8. ショートステイ受入状況

延べ人数 11名
延べ日数 43日

9. 育児体験教室 (スマイルタイム)

実施回数 2回
延べ人数 6名

10. 栄養摂取状況

1. 食 費 1日当たり 650円
2. エネルギー 1,255Kcal (基準 900~1,300Kcal)
3. たん白質 43.8g (基準 29.3~47.5g)
4. 嗜好調査 食事についてのアンケート調査 (年2回実施)

入院理由別総計表（同仁会乳児院）

入院理由	昭和		42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	合計
	41	40																					
乗母の死		4	1	1			1		1	3	1	5	2	2	5	1	1						18
父母の離別		1	1									2	1	2	2	2	1		2				26
父母の就労		2	6	2	3	1	4	5	4	2	8	10	7	9	3	3	4	16	5	7	4		105
未婚の母		4	1	1			5	3	1														14
婚姻外出産									1	1	2	1	2	2	3	4	2	5	5	8	6	4	46
その他の		1	7	9	10	4	2				1	1	1	1	1	2	1			4	4	2	17
小計	-	13	15	13	13	11	6	10	9	6	14	14	23	16	22	13	8	10	23	17	17	10	269
虐待																1	1	2					5
結核		1		2	2	2	1					1											9
精神病		6	5	5	9	7	1	2					1	2	5	3	10	3	10	6	10	6	91
その他の疾病		3	5	3	3	2	5						1			2							24
母精神疾患								3	2	2	1	1	1	1	1		2						13
父アルコール中毒								8	9	8	2	3	6	4	4	5	2			3	1	3	58
母の家族出								1	1		2	4											2
母の行方不明								1	2	1	6				2	12	8			6	3	5	46
母の交通禍								1	1				6				1						9
その他の																			4	12	11		27
小計	-	10	10	10	14	11	7	13	18	16	9	12	16	13	23	35	36	27	5	10	19	26	294
合計	-	23	25	23	27	22	13	23	27	22	23	35	32	35	36	36	35	15	33	36	43	35	563

入院理由	昭和		42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	合計
	41	40																					
父または母の死亡		1	1				2	4	3	2	1	2	3	1	2	3	1	1	2	1	2		33
父または母の死		4	1	5	3	1	2	6	6	10	12	14	13	9	11	5	7	2	6	9	5	8	144
離婚		4	2	1		4	1	4	4	3	2	1	2	5	5	9	3	19	3	18	16	13	176
離婚・就労		13	14	7	3	5	1	3	2	8	6	8	4	4	8	11	4	6	4	10	12	8	146
傷病・入院		1	3	1			2	1	4	11	6	7	6	5	7	3	5	9	19	18	9	7	138
精神疾患		2	2	1			1	2	3	4	1	3	5	5	6	4	6	4	8	3	3	2	81
受刑																							1
虐待・被虐待		1	2				2	3	3	3	3	5	7	4	7	12	11	9	15	9	8	9	139
被虐待・被冷遇		2	3				2	4	4	1	1	1	2	2	3	4	6	6	4	1	2	3	55
棄児・迷子		6	9	3	1	7	1	2	8	11	8	8	4	2	24	17	13	12	5	13	7	4	202
未成年等		34	35	15	12	17	8	10	36	38	40	47	46	45	60	64	68	53	57	64	76	69	1,114
小計	-	62	63	55	52	47	30	45	60	53	57	64	68	64	64	68	53	57	64	76	69	63	1,114

※平成1年～平成5年迄は新規入院児童の理由別数である

入院理由	昭和		42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	合計
	41	40																					
父又は母の死亡		26	27	28	29	30																	0
父又は母の死																							0
離婚		1	3	2	1																		7
不和		2	1	1																			2
拘禁		2	1	1																			4
入院		1	3																				4
就労		6	2	7	1																		16
精神疾患等		6	5	5	6	2																	24
放任・怠惰		1																					1
虐待・酷使		2	4		2	2																	10
棄児																							0
養育拒否		3	7	3	2	1																	16
養育等の経済的理由		4		1																			5
破産等の理由																							0
児童の問題による監護困難			3	10	13																		26
その他の																							0
不詳		21	27	23	25	19																	115
小計	-	21	27	23	25	19																	115

※平成25年度より集計項目変更

10. 乳児院 さくらの森乳児院

1) 平成30年度運営計画

今年度は、社会的養育の大きな転換期に当たる年になります。子ども達一人ひとりと大切に向き合う生活は変わりませんが、保護者支援・地域支援の中で果たす役割は大きくなっていきます。

昨年受審した第三者評価では、施設の運営について多くの課題が見えてきました。今年度は全職員でこつこつとそれらの課題に取り組んでいきたいと考えております。

昨年度は年間を通して入所児童が減少しましたが、反面一時保護、ショートステイでの預かりは多く、子ども達を取り巻く養育環境の厳しさから地域との連携の重要性を実感しました。また乳児院からの里親委託は更に多くなっていくことと思われまますので、施設の専門性を活かして地域福祉に貢献できる乳児院の在り方を見据えた一年になるよう努めます。

そのため、次の事項を運営計画として事業の推進を図ります。

- 1 福祉サービスの質の向上
 - ・アセスメントシートと自立支援計画の効果的な連動
 - ・小規模グループケア養育の充実
 - ・里親支援専門相談員を中心とした地域里親支援の実施
 - ・食育の推進（野菜などの栽培、収穫、手作りおやつ）
- 2 人材の育成
 - ・法人研修や外部研修への積極的な参加
 - ・年間計画に基づく学習会の実施
 - ・県内乳児院との交流研修の充実
 - ・県内外施設見学
 - ・つくば香風寮との合同研修の模索
 - ・人事考課制度の継続実施
- 3 組織体制の確立
 - ・自己評価の実施
 - ・スーパーバイズ体制の活性化による養育支援の質の向上
 - ・職員間の協力体制の強化（包括的養育体制）
 - ・ボランティアの積極的な受け入れ（里親応援講座受講者を主な対象とする）
- 4 関係機関等との連携
 - ・児童相談所との連携強化（保護者支援、里親支援など）
 - ・市町村との連携（ショートステイ受け入れの際の情報共有と支援の協働）
 - ・つくば香風寮との交流、連携（合同行事の実施、措置変更児童の継続的支援など）
 - ・養成校の学生の積極的な受け入れ
- 5 財政基盤の強化
 - ・計画的な予算の執行
 - ・職員の節約意識の徹底（経費節減の意識づけ）

2) 運営の概況

29年度は、お陰様で子ども達は大きな怪我や病気もなく過ごすことができましたが、年度途中で数人の職員が体調を崩すという厳しい状況に陥りました。それでも、皆明るく声を掛け合って乗り切ることができました。「さくらの森乳児院」として出発して7年という年月の力を強く感じた出来事でした。また、年間を通して児童の措置入所が少ない一年でしたが、一時保護でお預かりしたお子さんは13人とこれまでで最も多く、預かりの延べ日数は402日に渡り役割の重さを感じました。

乳児院には様々な団体や個人の方からのご寄付が寄せられます。20人の子ども達では使い切れない寄付のお申し出があった時お断りするのではなく、そのご厚意を私たちが窓口になって、近隣の市の保健センターを通じて地域で活用させていただきたいとお話しをして、ささやかですが支え合いの輪をつないでいます。

イ) 基本方針

乳児院における養育の基本は、乳幼児が養育者と時と場所を共有して、共感し、応答性のある環境の中で、生理的・心理的・社会的に要求が満たされることである。さらに、在院期間だけの養育過程ではなく「生涯」にわたる人間形成の基礎を築き、子どもが生きる力を培い、生きがいのある人生を切り開いていく土台としての役割を担うものである。

具体的には、子どもたちの生活が安全で安心なものになるよう次のことに努力する。

1. 「愛着関係の形成」を重視した個別的対応や、小規模グループでの養育を行う。
2. 子どもたちがよりよい生活を送ることができるよう、人的な環境の整備を行う。
3. 子ども、家庭、地域等の総合的な調整を図り、里親委託を含めた早期家庭復帰支援を行う。
4. 心理療法担当職員が発達検査をしてその子に応じた発達支援を行うと共に、保護者対応のための助言を行う。
5. 里親支援専門相談員を中心として地域の里親支援を行う。
6. 積極的に研修に参加して、職員の養育技術向上に努める。
7. 家庭や、地域社会との連携を密にして、豊かな人間関係の基礎を培う。
8. 子どもの成長に合わせた食育の計画及び実践を行う。

ロ) 基本目標

○「子どもの人権を守る」という権利擁護の意識を常に持ちながら、対人援助サービスの基本であるS・G・N・Tを実践し、子どもが豊かな感性を涵養できるよう援助・支援する。

- 1 S (Smile) 笑顔
常に笑顔で接する。(和顔愛語)
- 2 G (Greeting) 挨拶
常に明るくあいさつをする。(あなたに関心があります)
- 3 N (Name) 名前
必ず子どもの名前を呼ぶ。(あなたのことを知っています)
- 4 T (Thanks) 感謝
「ありがとう」の気持ちをたくさん伝える。(あなたを必要としています)

ハ) 養育目標

1. 「愛着関係」を形成する。
担当養育者を中心に、一貫性を持った養育を行う。
0歳・・・気持ちに寄り添ってさまざまな要求を読み取り、あるがままを受けとめ、基本的な信頼関係を育てる。
1歳・・・「やりたい」という気持ちの芽生えを大事にして、できた満足感を味あわせるとともに、新しい体験(初めて会う人や場所など)への不安を受けとめて、安心して行動できるように支える。
2歳・・・「自分で」という気持ちを大事にして、今まで培ってきた愛着関係を基盤に、まわりの物や、未知の物に自分から働きかけていけるようにゆるやかに自立を促す。
2. 基本的な生活習慣のゆるやかな確立
個々の発達段階を踏まえた養育を行う。
0歳・・・ミルクの自律栄養、離乳食(食べる意欲の基礎づくり)、寝返り、お座りの練習、這い這い、つかまり立ち、つたい歩き。
1歳・・・食事の練習(スプーン・フォーク・コップ飲み等、食べる意欲を大切に育てる)、つたい歩きから歩行の完成、歯みがきの練習、排泄への興味
2歳・・・食事の自立(食の体験を広げる)、言語の獲得(単語から二語文へ、また会話ができる)、排泄の意識づけ、簡単な着脱の練習、歯みがきの練習。

4) 運 営

1. 職務分掌

- | | | | |
|-----------|--------------|-------------|----------|
| 1. 消耗品 | 2. 器具・什器 | 3. 修繕 | 4. 給食 |
| 5. 保健衛生 | 6. 被服 | 7. 教養娯楽 | 8. 日用品 |
| 9. 保育材料 | 10. 公用車管理 | 11. 防火管理 | 12. 環境美化 |
| 13. 実習生指導 | 14. ボランティア担当 | 15. 諸記録用紙管理 | |

2. 職員会議

1. 職員会議(管理・運営全般・・・月1回)
2. 運営会議(管理・運営全般・・・月1回)
3. 養育会議(ケース検討、養育内容、乳幼児の健康管理・・・月1回)
4. 献立会議(献立、離乳食の検討、調理業務内容の検討・・・月1回)
5. グループ会議(各グループのケース検討、養育内容等・・・月1回)
6. ケース会議(入所後1ヶ月経過時、半年経過時及び必要な時にアセスメントを行う)
7. 連絡会議(朝・夕の業務引継・・・毎日)
8. リーダー会議(グループ間の連絡調整・・・随時)

9. 看護会議（看護師間の連絡調整・・・月1回 その他必要な時）
10. 調理室会議・・・月1回
11. 職場内研修（学習会・・・月1回）
12. 家庭支援会議（法人内担当者の合同会議・・・月1回）

3. 保健衛生及び安全管理

1. 定期検診の実施
 - 月例健診・・・月1回（嘱託医 池野美恵子先生）
 - 保菌検査・・・年2回（江東微生物研究所） ※調理・給食関係は月1回
 - 乳幼児検診・・・随時
 - 入所時検診・・・随時
2. 身体計測の実施・・・月1回（身長、体重、頭囲、胸囲）
3. 身体衛生の実施（入浴、爪切り、耳掃除、着衣清潔、手洗い、歯磨き、整髪）
4. 環境衛生の管理（便所清掃消毒、寝具日光消毒、敷布カバー交換、カーテン洗濯、玩具消毒、室温湿度調節、換気、防虫）
5. 感染予防（感染源との隔離、消毒）
6. 鍛錬（薄着の励行、ベビーマッサージ、日光浴、外気浴、体育あそび等）
7. 安全な環境の確保と充分な目配り
8. 玩具等の保安全管理点検
9. 事故防止と安全（窒息、転倒、転落、かみつき）
10. 施設内外の危険箇所等の確認及び保全点検・・・月2回
11. 非常時（火災・地震）対策、訓練の実施・・・月1回
12. 建物設備等点検・・・業者委託（総合建物サービス株式会社）
 - ① 空調機保守点検（年2回）
 - ② 換気設備保守点検（年2回）
 - ③ 受水槽清掃・水質検査（年1回）
 - ④ グリストラップ清掃（年2回）
 - ⑤ 消防設備点検（機器点検・総合点検）
 - ⑥ 巡回設備点検（年2回）

5) 養育の展開

1. 担当養育制
 - ・養育者が受けもつ子どもを決めて、入所から退所まで原則として変えない。
 - ・養育者は受けもつ子どもとの愛着関係を結び、安定した生活を送れるようにする。
2. 自立支援計画
 - ・子どもの成長、発達を支援するため、担当養育者は2ヶ月毎に自立支援計画を作成し、評価・反省を行う。
3. 健康管理
 - ・嘱託医、市保健センターなどの指導を受け、健康管理を行う。
4. 生活
 - ・小規模グループケアを行い、個別的な対応を多く持つ。
 - ・養育マニュアルを基本とし、個々の発達に応じた養育をする。
5. 日中の養育の充実
 - ・年間養育目標、月案に基づいて、豊かにあそびを展開する。
（あそびを通じて運動能力、知的発達、手指の操作性、他者との関係能力などを高めていく）
6. 行事
 - ① 季節、伝承の行事
 - ・お宮参り …… 生後1ヶ月頃
氏神様に無事に生まれた報告をし、健やかな成長を願う。
 - ・氏神様へのお参り …… 生後2ヵ月以上で入所した児
氏神様に乳児院へ入所したことを報告し、健やかな成長を願う。
 - ・お食い初め …… 生後3～4ヶ月
一生食べることに困らないようにという願いを込めて行う。
 - ・一升餅 …… 1歳の誕生日に
1歳までに無事成長したことを祝い、これからも健やかに成長することを願って、餅（一升の米）を背負わせる。

- ・こどもの日（5月5日）
- ・七夕（7月7日）
- ・花火（7月）
- ・ぶどう狩り（9月）
- ・ハロウィンパーティー（10月31日頃）
- ・七五三（11月15日）
- ・クリスマス（12月25日）
- ・節分（2月3日）
- ・ひなまつり（3月3日）
- ・おたのしみ会（3月最終木曜日）

② その他の行事

- ・誕生会 …… 誕生日を迎えたその日にグループでお祝いする。
状況によっては家族だけでお祝いする。
- ・動物園遠足（春） 水族館遠足（秋）
- ・スキンシップデー
社会体験の一つとして、担当養育者と外出し、公園で遊んだり、外でお弁当を食べたり、公共交通機関の利用や外食、お店見学、買い物などを体験する。また、担当養育者とお泊まり体験をして家庭的な雰囲気を楽しむ。
- ・つくば香風寮との交流
児童養護施設の幼児と日常的に遊びの交流を行う。また、兄弟のいる子どもに対しては、積極的に交流の場を設ける。
- ・お別れ会
乳児院を巣立っていく子どもの新しい生活をみんなで励ます。

7. 日課

時間	乳 児	幼 児	時間	乳 児	幼 児
5:00			13:00	めざめ	
6:00	めざめ	めざめ	14:00	あそび 離乳食	めざめ おやつ あそび
7:00	検温、授乳 あそび	朝食	15:00	あそび	
8:00		あそび	16:00	あそび 入浴	
9:00			17:00		夕食 入浴
10:00	離乳食		18:00		
11:00			19:00	就寝準備 就寝	就寝準備 就寝
12:00	午睡	昼食 午睡	20:00		

6) 平成29年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身体測定	24	29	26	24	28	25	30	27	25	29	26	26
月例健診	7	12	2	7	4	1	6	10	1	5	9	2
保菌検査(職員)	19	22	19	18	21	19	16	20	18	22	19	19
保菌検査(児童)						19					21	
安全管理点検	21	5	1 15	6 21	2 17	7	6 20	1 16	5 19	4	2	1
非常時避難訓練	27	13	11	8	28	9	28	11	9	13	18・22	10

3月：児童の感染症発症により上記日程で実施予定でしたが未実施

7) 平成28年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	3, 12, 14, 18 19, 20 22 27	スキンシップデー 神峰動物園遠足 誕生会 お別れ会	5	14	誕生会
				29	お別れ会
			6	1	お別れ会
				11, 24	誕生会
5	5 8, 24, 25 10, 17, 30 13, 20	こどもの日の集い スキンシップデー 神峰動物園遠足 香風寮と交流レク	7	15	スキンシップデー
				7	七夕
			7	9, 14	誕生会
				11, 19	スキンシップデー

8	1 3, 16 10 28	誕生会 お食い初め スキンシップデー 夕涼み会	12	13, 19 24 28	スキンシップデー クリスマス会 餅つき(香風寮交流) 誕生会
9	1, 12 14, 21 15, 25, 26 27	お別れ会 スキンシップデー 誕生会 ぶどう狩り	1	6 13 16	初詣 お食い初め スキンシップデー 誕生会
10	3 14, 28 18 29	スキンシップデー 香風寮との交流遠足 アクアワールド遠足 ハロウィン お食い初め	2	3 15 16	節分 お食い初め スキンシップデー
			3	3 4, 8, 15, 28 9 22 29, 30	ひな祭り スキンシップデー 誕生会 お楽しみ会 お別れ会
11	7, 10, 14, 16 , 18, 22 15	スキンシップデー 七五三			

8) 平成29年度資料

1. 職員の研修

	施設長	事務	看護師	保育士	指導員	栄養士	心理	調理員	計
団体	4	3	4	30	6	2	1	0	50
県・社協	1	0	3	8	2	0	5	2	21
法人・施設	15	13	49	176	65	11	11	3	345
計	20	16	56	214	73	13	17	5	416

2. 児童構成 (H30. 3. 31現在)

性別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	計
男	1	3	0	1	0	5
女	5	1	2	0	0	8
計	6	4	2	1	0	13

3. 各月初日在籍及び入退所児童

[]は停止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	15	15	13	14	16	14	13	11	12	13	15	15	166
入所 うち()は初日入所	1	1	1	2			1	1	2	2	1		12
退所 うち()は初日退所		3 (1)	1 (1)			3 (2)	2	1 (1)	1		1	2	14
月末在籍	16	14	14	16	16	13	12	12	13	15	15	13	169

4. 入院理由別表

入院理由	男	女	計
1. 父又は母の死亡	0	0	0
2. // 行方不明	1	0	1
3. // 離婚	0	0	0
4. // 不和	0	0	0
5. // 拘禁	2	1	3
6. // 入院	0	0	0
7. // 就労	0	0	0
8. // 精神疾患等	0	5	5
9. // 放任・怠惰	0	0	0
10. // 虐待・酷使	0	6	6
11. 棄児	0	0	0
12. 養育拒否	0	0	0
13. 破産等の経済的理由	0	1	1
14. 児童の問題による監護困難	0	0	0

15. その他	5	6	11
16. 不詳	0	0	0
合 計	8	19	27

5. 退院理由別表

退 院 理 由	男	女	計
1. 親 元 解 除	2	5	7
2. 里 親 委 託	0	1	1
3. 措 置 変 更	2	4	6
合 計	4	10	14

6. 在院期間 (H29.3.31現在)

1年未満	2年未満	2年以上	3年以上	計
7	3	2	1	13

7. 一時保護入所状況

人 数 14名
延べ日数 402日

8. ショートステイ受入状況

つくば市 1名
つくばみらい市 1名
かすみがうら市 2名
稲敷市 1名
計 6名 (延べ日数24日)

9. 栄養投与状況

1. 食 費 1日当たり 600円
2. 熱 量 1217Kcal (基準 997Kcal)
3. たん白質 42.1g (基準 24.9g~49.8g)

入園児童の出身地別の推移（さくらの森乳児院）

児相	年 度	23	24	25	26	27	28	29	30	合 計		
		8	15	12	15	14	19	15	-			
中 央 児 童 相 談 所	北茨城市										-	
	高萩市										-	
	日立市										-	
	ひたちなか市										-	
	常陸太田市										-	
	常陸大宮市										-	
	笠間市										-	
	那珂市										-	
	小美玉市		2	1	1						4	
	神栖市		1	3	2	1					8	
	水戸市	1	1	1							4	
	鹿嶋市										-	
	潮来市										-	
銚田市					1	1				2		
行方市					1					1		
茨城町										-		
城里町		1	1							3		
大洗町										-		
大子町										-		
東海村										-		
小 計		1	4	4	7	3	2	1	-	-	22	
士 浦 児 童 相 談 所	土浦市	4	3	1	2	2	3				15	
	石岡市		1	2	1		1				6	
	龍ヶ崎市	1	1	3	3	4	3				15	
	取手市	1	3	2	4	4	2				16	
	牛久市	1	4	1	2	1	1				10	
	つくば市		3	2	3	3	4	6			21	
	つくばみらい市						1				1	
	かすみがうら市						1	1			2	
	稲敷市	1	1					1			3	
	守谷市		1	1	1			1			4	
	阿見町		1	1	1			1			4	
	河内町										-	
	美浦村										-	
利根町										-		
いわき市	1									1		
小 計	8	15	12	15	14	19	15	-	-	-	98	
筑 西 児 童 相 談 所	常総市						1	1			2	
	筑西市	1	1	2	3	4	3	6			20	
	古河市	1	3	2	1	3	2	2			14	
	結城市	1	2	1							4	
	下妻市										-	
	坂東市	1	1	1				2			5	
	桜川市	1	1								3	
	八千代町	1	1								2	
	鹿町		2	1	1						4	
	五霞町										-	
	小 計	4	11	8	7	7	6	11	-	-	-	54
	計	13	30	24	29	24	27	27	-	-	-	174

入院理由別総計表（さくらの森乳児院）

入院理由	平成23	24	合計
父または母の死			-
” 行方不明	1	2	3
” 離婚・就労			-
” 傷病・入院	2	4	6
” 精神疾患	3	6	9
” 受刑	3	3	6
” 被虐待・被冷遇	4	6	10
” 棄児・迷子		1	1
その他・未成年等	4	8	12
計	17	30	47

入院理由	平成25	26	27	28	29	30	合計
父又は母の死	1						1
” 行方不明	1			1	1		3
” 離婚							0
” 不和	1	1	1	1			4
” 拘禁	1	2	2	3			11
” 入院	3	3	2	1			9
” 就労							0
” 精神疾患等	5	6	6	8	5		30
” 放任・怠惰	2	1	1	1			5
” 虐待・酷使	2	2	1	2	6		13
棄児	1	1	1				3
養育拒否	5	6	3	1			15
破産等の経済的理由				7	1		8
児童の問題による監護困難	2						2
その他の		7	7	2	11		27
不詳							0
計	24	29	24	27	27		131

※平成25年度より集計項目変更

1 1. 児童心理治療施設 内原深敬寮

1) 平成30年度運営計画

平成30年度は、内原深敬寮の新たな中・長期運営計画（前期行動計画）の初年度となるが、計画が達成できるよう努めたい。特に児童福祉法の改正によって、施設種別が「児童心理治療施設」となったことで、「治療施設」として果たすべき役割を明確に実行して、子どもたちへの更なる支援の向上に努めたい。

また、平成30年度には教育棟(分教室)の改築整備が予定されているので、子どもたちの安全を図る対応を進めていきたい。

なお、現在進めている様々な支援プログラムやワーキングチームで検討している業務の標準化を中期運営計画に沿って実現を図り、施設運営の向上に取り組んでいきたい。

- 1 福祉サービスの向上
 - ・家庭支援機能の強化のため家庭支援専門相談員の二人体制の実施
 - ・退所児童や保護者へのアフターケアプログラムの充実
 - ・高校在籍児童に対する個別支援プログラムの実施
 - ・地域に対する公益事業の推進に向けた調査検討の実施
 - ・教育棟(分教室)の改築整備の実施
- 2 組織体制の強化
 - ・第三者評価の自己評価の実施
 - ・IT化の推進のためネットワーク環境の整備の推進
- 3 人材の育成
 - ・人事考課の結果をふまえた研修の実施
 - ・法人研修への積極的参加
 - ・職員の外部研修の計画的受講によるスキルアップ
 - ・人材確保のため、積極的な施設PRの実施
- 4 財政基盤の強化
 - ・法人計画に基づく計画的な施設積立実施等、健全な予算執行の推進
 - ・印刷製本・水道光熱費の前年度1%の節約
 - ・職員及び子どもたちへの節約意識の啓蒙

2) 運営の概況

平成29年度の4月時の入所児童数は、31名でスタートしましたが、特に男子は昨年度より早く6月には20名となり、男子の入所においては1月まで児童相談所で調整を行っていただきました。また女子児童も10月には19名在籍となり、例年よりも在籍児童が多い状況でした。

また入所児童の多くがADHDやASDといった発達障害の診断を受けて半数が医療受診を、受けている状況です。

今後は、前年度同様に支援向上のための研修を実施して、子どもたちにとって安心・安全な施設となるように努めてまいります。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

当施設は別称、児童心理療育施設と呼ばれるように、福祉・医療・教育が協力・連携した総合環境療法のなかで、情緒的不適応をおこした子ども達に対して、総合・多面的に援助を行い、心の成長と自立を促して、21世紀の担い手として一人ひとりが、心身ともに健やかに成長していく支援を行って行きます。

① 法人綱領、基本理念を尊重し、具体化した実践。

子どもの権利擁護を中心に位置付け、施設の特徴をできるだけ活かした支援を実践する。そして、それは「人権を守る」ことであり、一人ひとりの個々の問題に焦点を合わせ、的確な見立てと、最善の治療方針を模索して、治療者との人間関係を通じて情緒の改善を図っていくプロセスとなります。私たちは、子ども達に対して、常に一人の人間として尊重して対応して、心身とも健やかな成長を育める環境を造ってまいります。

② 安心して生活できる場、再育的関わり。

施設が安心できる場所となり、子ども達が本来体験し発達の文脈にそくして成長する機会を保障できる生活環境を整備してまいります。

③ 福祉・医療・教育・の3部門の連携・協力

子ども達の持つ課題に対して、3部門が協力（チームアプローチ）して多角的な視点と総合的な関わりによって、最善の支援を行ってまいります。

ロ) 基本的目標

法人理念・綱領を実践し、児童が将来社会的自立できるよう援助・指導する。

1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)
 - (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
 - (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
 - (3) 他と協調する中で社会性を育てる。
2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)
 - (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
 - (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
 - (3) 将来社会的自立ができる。
3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)
 - (1) 目標に向かって努力する。
 - (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
 - (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

○ 内原深敬寮での実践において、権利擁護を中心に位置づけ、子どもとの人間関係を大切に
て、「生きる力」を大きく培える支援を実践します。

【あなたのことを知っています】

かならず名前を呼ぶことで、子どもであっても個人として尊重します。

【あなたに関心があります】

挨拶は人間関係を築く最初の基本であり、常に明るく挨拶を心掛けます。

【あなたを必要とします】

ありがとうという言葉は、一人の人間お互いに尊重できる言葉であり、常にその環境を造
っていきます。

ハ) 支援目標

1. 児童支援の向上
 - (1) 児童の安定 (安心して落ち着いた生活が送れる)
 - (2) 日常生活の援助指導 (規則正しい生活リズムを作る)
 - (3) 個性の尊重 (個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする)
 - (4) 学習指導の強化 (基礎学力の向上と進路指導)
 - (5) 自立支援 (児童自立支援計画に基づいた援助)
 - (6) 家庭との連携 (家庭通信・帰省・面会・行事への参加)

ニ) 学習指導

- (1) 目 的
・子どもが安全に落ち着いて生活できる環境を作る。
- (2) 内 容
・自ら学習計画を作成し、自主的な学習につなげる。

ホ) 環 境 (安全・保健・環境)

- (1) 目 的
・子どもが安全に落ち着いて生活できる環境を作る。(毎月安全委員会開催)
- (2) 内 容
・手洗い・消毒の習慣化
・清潔感を養う(服装、身体) 衛生検査の実施(身体、頭髪、爪、耳垢等)
・入浴指導の徹底
・定期検便の実施
・年齢による段階的な洗濯の習慣化
・環境整備(施錠、補修、整備、整理整頓)
・安全点検日(職員が安全面の定期点検をする)
・非常時(火災、地震)対策、訓練の実施
・交通安全の徹底(自転車、点検、補修)

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

1. 職 員 会 議
 - (1) 職員会議 …………… 月 1 回
 - (2) 給食会議 …………… 月 1 回
 - (3) ケース会議 …………… 月 1 回
 - (4) インテーク会議 …………… 月 2 回

- (5) 担当者会議 …………… 月 1 回
- (6) 連絡会議 …………… 毎日午前・午後
- (7) 分教室連絡会議 …………… 月 1 回

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環境衛生

- ア. 室内外の消毒（オスバン） …………… 月 1 回
- イ. 便所消毒 …………… 週 1 回
- ウ. 寝具消毒（日光消毒） …………… 毎 日
- エ. 浴場消毒（オスバン） …………… 週 1 回
- オ. 食器消毒（熱 風） …………… 毎 日
- カ. 残留塩素調査 …………… 毎 日

(2) 身体衛生

- ア. 健康診断 …………… 学校保健法に準じて実施
(本園嘱託医により) … 2月8日
- イ. 身体測定 …………… 月 1 回
- ウ. 散髪 …………… 3ヶ月に2回
- エ. つめ切り …………… 週 1 回
- オ. 下着交換 …………… 毎 日
- カ. 入浴 …………… 毎 日
- キ. 児童保菌検査 …………… 年 2 回
- ク. 職員保菌検査 …………… 月 1 回

(3) 安全管理

- ア. 電気設備の検査（日本テクノ） …………… 月 1 回
- イ. 火災報知器の検査（水戸ホーチキ株） …………… 7月4日 1月11日

(4) 児童の安全

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施（月 1 回）
- イ. 交通安全指導（自転車通学・通塾時）
- ウ. 環境整備（毎月第2水曜、第4水曜）

5) 児童の支援計画

◎学習指導について

1. 基礎学力養成のためのドリル学習
2. 平日の学習について … 帰園後に実施するのが通常であるが、児童の状況によって変更もある。
3. 場 所 …… 食堂・居室・学習室
4. 意欲、目標を持ち自分から学習する習慣
5. 学校の準備、後片付けの徹底

◎心理療法について

1. 個人心理療法実施 … 週1回（45分）
2. グループワーク … 年間
3. 家族療法事業による個別心理療法の実施

◎生活支援について

毎日の基本的な生活習慣を身につけるほか、集団生活の中での適応力を育てることで温かい人間関係が持てるよう援助する。

1. 児童の小遣いについて（毎月1日支給）
 - ・管理を児童の年齢や状況に応じて経験させ、その指導を行う。
2. 誕生日について
 - ・誕生日プレゼントを用意し、ケーキを囲んで皆で祝う。

- ・誕生会は児童の誕生日の夕食時に行う。
- ・夕食のメニューは誕生者の希望するもの。

3. お年玉について

4. 子ども会議の育成

- ・職員・児童が一緒になっての年間行事等の協議・検討。
- ・意見箱の設置

5. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
7:00	起床・清掃・洗面	起床・清掃・洗面	16:00	宿題 グループ活動 自由時間	グループ活動
7:20	朝食		18:00	夕食	夕食
8:20	登校 (セラピー)	朝食	19:00	入浴	入浴
9:00	昼食	清掃 自由遊び	20:00	テレビ視聴	テレビ視聴
11:00	帰園	昼食	21:00	就寝 (小学校低学年)	就寝 (小学校低学年)
12:00	昼食		21:30	就寝 (小学校高学年)	就寝 (小学校高学年)
13:30	登校 (セラピー)	自由遊び	22:00	就寝 (中学生)	就寝 (中学生)
14:00	帰園				
15:00	おやつ	おやつ			

6) 平成29年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身 体 測 定	29	31	28	31	31	30	20	3	27	31	25	20
保 菌 検 査 (児 童)						6					6	
保 菌 検 査 (職 員)	6	10	8	6	8	7	5	2	7	9	6	6
安 全 管 理 点 検	12	10	14	12	24	13	11	9	14	10	8	8
非 常 時 避 難 訓 練	29	27	24	24	21	18	28	26	16	27	24	4/3

7) 平成29年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事		
4	7	分教室始業式	10	2	女子レク(外食・体育館レク)		
	8	高等学校等入学式		10	男子誕生会		
	10	分教室中学校入学式		29	女子誕生会		
5	3~5	女子春の遠足(水戸市周辺)	11	22	男子誕生会		
		森林公園七ッ洞公園 くれふしの里古墳公園 女子誕生会		26	女子誕生会		
6	28	女子誕生会	12	23	女子誕生会		
	25	女子映画鑑賞会		25	クリスマス会		
	25	女子誕生会		26	大掃除		
7	28	男子誕生会	1	31	大晦日		
	15	女子おやつ作り		2	男子初詣(水戸市有賀神社)		
	22	男子誕生会		3	女子初詣(水戸東照宮)		
	25	茨児協ソフトボウル大会壮行会		17	男子誕生会		
	26~27	茨児協ソフトボール大会		2	3	節分豆まき	
30	女子誕生会	12	男子誕生会				
8	7~8	女子キャンプ(大子町)	3	25	女子誕生会		
	9~10	男子キャンプ(城里町)		10	男子卒業を祝う会 (東京ジョイポリス)		
	16~17	男子キャンプ(城里町)			11	女子卒業を祝う会 (東京ディズニーランド)	
	19~20	内原商工会夏祭り				13	中学校卒業式
	27	女子誕生会					20
31	男子誕生会						
9	30	分教室スポーツフェスティバル					

8) 平成29年度資料

1. 職員の研修

	園長	事務	指導員	保育士	栄養士	調理員等	看護師	セラピスト	計
県・社協	0	0	2	3	0	0	0	6	11
団体	6	0	6	7	1	0	1	12	33
法人・施設	5	2	88	47	5	3	9	59	218
計	11	2	94	57	6	5	10	77	262

2. 児童構成 (H30.3.31現在)

区分	未就学児						小学生						中学生			高校生			計
年齢・学年	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	
男							1	1	1	2	2	1	2	3	1				14
女								1	2	1	4		2	3	3				16
計							1	2	3	3	6	1	4	6	4				30

3. 各月初日在籍及び入退園児童 (入所)

[]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	31	35	34	37	37	37	36	37	38	38	39	39	439
										[1]	[2]	[2]	
入所	4		3				1		1	1			10
									初日				
退所		1				1						9	11
月末在籍	35	34	37	37	37	36	37	37	38	39	39	30	436
									[1]	[2]	[2]	[2]	

4. 各月初日在籍及び入退園児童 (通所)

[]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	5	5	6	6	6	6	6	5	4	4	4	4	57
入所			1						1			2	4
			初日										
退所							1	1	1			1	4
月末在籍	5	5	6	6	6	6	5	4	4	4	5	5	55

5. 男女別問題行動別在籍児童数

別紙1参照

6. 退園理由別表 (入所)

退園理由	男	女	計
1. 自立 (就職)			
2. 進学 (専門学校)			
3. 措置変更	2	2	4
4. 家庭引取り	5	2	7
合計	7	4	11

7. 在園期間 (H30.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
9	15	6			30

8. 栄養投与状況

◎嗜好調査 …………… 毎月、誕生月の児童に対して実施、年1回記述アンケートにより実施

1. 食費 1日当り 762円 (原材料費)
2. 熱量 小学生 2,258 Kcal (基準 2,026 Kcal)
中学生 2,634 Kcal (基準 2,417 Kcal)
3. たん白質 小学生 76.5 g (基準 45.9 g)
中・高学生 89.3 g (基準 57.5 g)

入園児童の出身地別の推移（内原深敬寮）

見相	年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	合計
見相	北茨城市														
	高萩市			1	2	1	1	1	1	2	2	2	1		15
中	日立市	2	2	1	1	3	3	3	4	4	3	2	2		5
	ひたちなか市	2	1	1	2	2	4	3	3	1	1				31
央	常陸太田市	1	1	1	1	2	2	1	1	3	2	1			22
	常陸大宮市		3	1	1										5
	笠間市	3	4	3	2	2	1	3	2	1	1				23
児	小栗玉市	1			1				1	2	2				9
	那珂市	1	1	1	2	2	2	1	1	2	2				15
童	神栖市	4	3	3	1	2	2	3	1	2	3	3			29
	水戸市	4	6	4	5	3	7	5	8	7	4	3	3		64
	鹿嶋市	1	2	1	1	2	1	1	1	2					13
相	潮来市	2	1	1	2	1	1	1	1	1					13
	銚田市			2	2				1	1	1				7
	行方市								1	3	2				2
談	茨城町	1	2	2	1										6
	大洗町	1	1	3	2	1			1	2	2	2			15
所	大子町														-
	東海村	1	2						1	1					5
小計		20	21	24	25	21	24	23	23	24	28	28	23	19	-
土	土浦市	3	2	4	3	1	2	1	2	4	7	7	5	8	-
	石岡市														-
浦	龍ヶ崎市	2				1	1				1	2	2		7
	取手市			1			2	2	2	1	1	1	2		14
児	牛久市	1	1	1	1			1	1	3	1	4	2		16
	つくば市	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1			12
童	つくばみらい市	1	1												3
	かすみがうら市														2
相	稲敷市	4	4	4	3	2	2	2	3	1	1	1	2		31
	守谷市														-
談	阿見町	4	4	4	3	2	2	2	3	1	1	1	2		31
	河内町														-
所	美浦村	2	2	2	2	1									9
	利根町														-
小計		10	8	13	13	8	8	7	8	12	15	13	16	19	-
下	水海道市	1	1	1						1	2				6
館	古河市	3	4	3	3			2	1		1				20
児	結城市	2	2	1	1					1	2	2			6
童	下妻市														7
相	坂東市	1	1	1	2	1		1	1	1	1				7
談	八千代町							1				1			2
所	五霞町	7	8	6	9	7	3	1	1	3	4	3	3		58
小計		37	37	43	47	36	35	31	32	39	46	45	42	41	-
合計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	511

見相	年度	16	合計
	北茨城市	-	-
	高萩市	1	1
中	日立市	1	1
	ひたちなか市	1	1
央	常陸太田市	-	-
	常陸大宮市	1	1
児	笠間市	-	-
	小栗玉市	1	1
童	那珂市	1	1
	神栖市	1	1
	水戸市	3	3
相	鹿嶋市	3	3
	潮来市	2	2
談	銚田市	1	1
所	行方市	1	1
	茨城町	1	1
	大洗町	1	1
	大子町	-	-
	東海村	1	1
小計		3	11
土	土浦市	1	3
	石岡市	3	4
浦	龍ヶ崎市	-	-
	取手市	1	2
児	牛久市	1	1
	つくば市	1	1
童	つくばみらい市	-	-
	かすみがうら市	2	3
相	稲敷市	-	-
	守谷市	-	-
談	阿見町	-	-
所	美浦村	-	-
	利根町	-	-
小計		4	9
下	水海道市	-	-
館	古河市	1	1
児	結城市	1	2
童	下妻市	-	-
相	坂東市	1	2
談	八千代町	-	-
所	五霞町	1	1
	小計	2	5
合計		9	25

※平成17年度より中町村合併等整理のため別表

男女別問題行動別在籍児童数（1名3カウントまで）

領域	愁訴や問題の内容	男			女			計		
		入所	通所	小計	入所	通所	小計	入所	通所	小計
総 数		63	9	72	60	12	72	123	21	144
I 対人関係の問題	1. 内気、小心、孤立、いじめられなど				3		3	3		3
	2. 癩癩、衝突、いじめなど	1		1	7	2	9	8	2	10
	3. 場面緘黙や寡黙、極端な羞恥など	1	1	2				1	1	2
	4. 対人恐怖、醜形恐怖、自己臭恐怖など									
	5. 過剰反応、気の遣いすぎなど									
	0. その他				1		1	1		1
II 社会生活の問題	1. 盗み、暴力行為、放火など	1		1	4	1	5	5	1	6
	2. 喫煙、シンナー、薬物乱用等の嗜好	1		1				1		1
	3. 性をめぐる問題および行動化				1		1	1		1
	4. 自傷行為、希死念慮～自殺企図				1		1	1		1
	5. 事故、災害、犯罪被害									
	0. その他									
III 学校生活の問題	1. 学校恐怖ないし登校拒否	2	2	4	3		3	5	2	7
	2. 学校抜けおよびその傾向									
	3. 級友や教師とのもめ事	2		2	2	2	4	4	2	6
	4. 情緒不安定や落ち着きの無さ、協調の無さ	7		7	7		7	14		14
	5. 校内での暴力、破壊行為									
	0. その他									
IV 家庭生活の問題	1. 家族関係の欠乏や過剰、不和	12	3	15	4		4	16	3	19
	2. 家庭崩壊やその傾向									
	3. 被虐待やそのヒストリー	8		8	14	3	17	22	3	25
	4. 家族の事故や喪失	1		1	2	1	3	3	1	4
	5. 居場所のなさ、徘徊、放浪、家出など				2		2	2		2
	6. 激しい反抗や暴力	3	1	4	1	1	2	4	2	6
	7. 家庭内での嘘や盗みなど	3		3	4		4	7		7
	0. その他				1		1	1		1
V 習癖上の問題	1. 頻尿・遺尿・遺糞など排泄上の問題	5		5		1	1	5	1	6
	2. チックや汚言症	1	1	2				1	1	2
	3. 吃音、早口症、書癪									
	4. 抜毛症、爪噛み、身体いじり									
	5. 洗手強迫、強迫行為、儀式行動など	1		1				1		1
	0. その他									
VI 心身・身体症状	1. 拒食、過食、肥満、異食などの食行動異常	2		2	1		1	3		3
	2. 腹痛、下痢、嘔吐など消化器症状									
	3. 不眠、夢中遊行などの睡眠障害									
	4. 頭痛、他諸種の疼痛									
	5. 失神、過呼吸、視力低下、失立失歩など									
	6. 喘息・湿疹などのアレルギー症状									
	7. 低身長や第二次性徴などの身体的発達の遅れ									
	0. その他				1		1	1		1
VII 精神症状	1. 抑鬱気分、不快感など	1		1				1		1
	2. 怒りっぽさ、興奮、パニック	2		2	1	1	2	3	1	4
	3. 感情易変性									
	4. 不安、緊張、過敏、怯え									
	5. 恐怖症、強迫観念									
	6. 妄想様念慮、異常体験									
	7. アパシー、無為、引きこもり									
	0. その他									
VIII 発達上の問題	1. 注意転動性、過反応性、多動性	5		5				5		5
	2. 特定学習能力の障害									
	3. 微細協調運動の不器用									
	4. 自閉症近縁の自己中心性や関われなさ	2	1	3				2	1	3
	5. 構音障害、言語発達の遅れ									
	0. その他	2		2				2		2

平成30年度当初予算書

単位：千円

	合計	本部拠点	臨海学園 拠点	同仁会乳児院 拠点	同仁東保育園 拠点	ゆうゆう クラブ	ゆうゆう 地域センター 支援センター	児童家庭 支援センター 拠点	同仁会 子どもホーム 拠点	内原和敬寮 拠点	内原深敬寮 拠点	つくば香風寮 拠点	さくらの森 乳児院 拠点
事業活動収入	1,502,691	2,055	165,809	156,476	119,013	11,292	8,269	20,482	134,103	218,419	258,807	185,956	222,010
施設設備等収入	50,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000	0	0
その他活動収入	182,156	23,180	85	2,998	490	2,000	0	2,000	0	65	151,315	0	23
収入合計	1,734,847	25,235	165,894	159,474	119,503	13,292	8,269	22,482	134,103	218,484	460,122	185,956	222,033
事業活動支出	1,450,706	29,325	158,898	162,077	125,750	16,042	11,030	30,286	135,216	202,069	235,397	168,747	175,869
人件費支出	1,155,467	21,911	120,855	136,494	103,080	11,735	9,394	27,690	108,041	157,858	176,710	131,846	149,853
事業費支出	169,877	0	25,546	12,622	12,489	2,202	585	20	17,032	27,545	35,377	22,933	13,526
事務費支出	110,872	7,414	11,112	12,431	8,731	2,065	1,051	2,576	9,057	14,262	20,518	10,805	10,850
支払金利息支出	4,401	0	185	130	0	0	0	0	0	1,158	1,101	1,453	374
その他支出	10,089	0	1,200	400	1,450	40	0	0	1,086	1,246	1,691	1,710	1,266
施設設備等支出	310,892	0	4,693	2,058	200	0	0	0	0	14,400	275,435	10,804	3,302
その他活動支出	174,698	3,271	1,190	1,197	1,562	71	76	210	20,981	39,876	1,624	33,615	71,025
支出合計	1,936,296	32,596	164,781	165,332	127,512	16,113	11,106	30,496	156,197	256,345	512,456	213,166	250,196
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
差引残高	△ 201,449	△ 7,361	1,113	△ 5,858	△ 8,009	△ 2,821	△ 2,837	△ 8,014	△ 22,094	△ 37,861	△ 52,334	△ 27,210	△ 28,163
前期末支払資金残高	300,359	11,215	32,209	38,375	17,152	2,997	5,674	8,100	26,047	40,105	52,737	30,077	35,671
当期支払資金残高	98,910	3,854	33,322	32,517	9,143	176	2,837	86	3,953	2,244	403	2,867	7,508

財 産 目 録

平成30年3月31日現在

社会福祉法人 同 仁 会

I 資産の部		2,966,600,571円
1 流動資産		493,746,128円
ア	現金	1,431,379円
イ	預金	375,503,516円
ウ	有価証券	0円
エ	事業未収金	72,436,244円
オ	未収金	697,430円
カ	未収補助金	21,536,880円
キ	立替金	159,550円
ク	前払金	16,404,430円
ケ	前払費用	5,576,699円
ケ	1年以内回収予定拠点区分間長期貸付金	0円
2 固定資産		2,472,854,443円
(1) 基本財産		1,932,073,417円
ア 土地		
	同仁会子どもセンター敷地	高萩市肥前町1丁目80番地の2 1筆 3,112.97㎡ 9,330,000円
	同仁東保育園敷地	高萩市高浜町2丁目28番地の1 1筆 711.87㎡ 13,118,000円
	ゆうゆう館敷地	高萩市有明町1丁目144番地 1筆 506.36㎡ 30,602,500円
	内原同仁会子どもセンター敷地	水戸市小林町1186番84、85 1筆 11,329.26㎡ 45,995,610円
	〃	水戸市鯉淵町2508番53 1筆 2,796.00㎡ 10,743,390円
	つくば同仁会子どもセンター敷地	つくば市高崎802番1 1筆 6,153.00㎡ 37,182,418円
イ 建物		
	同仁会子どもセンター本館	高萩市肥前町1丁目80番地の2及び81番地の2 1棟 3,160.15㎡ 389,980,785円
	同仁東保育園舎	高萩市高浜町2丁目34番地、35番地 1棟 957.16㎡ 95,093,635円
	ゆうゆう館本館	高萩市有明町1丁目144番地 1棟 399.74㎡ 27,367,498円
	同仁会子どもホーム本館	高萩市秋山712番地の1、711番地の1 1棟 514.61㎡ 44,705,505円
	慈雨仁会子どもホームユニット棟	〃 1棟 97.70㎡ 12,012,094円
	内原深敬寮園舎	水戸市小林町1186番84、85、鯉淵町2508番53 1棟 1,751.91㎡ 429,253,820円
	内原和敬寮本館	〃 1棟 1,205.10㎡ 306,258,562円
	内原和敬寮小規模ユニット棟	〃 1棟 345.43㎡ 79,923,373円
	内原同仁会子どもセンター管理棟	〃 1棟 302.67㎡ 60,859,984円
	つくば香風寮園舎	つくば市高崎802番1 1棟 1,074.92㎡ 216,948,551円
	さくらの森乳児院	〃 1棟 457.95㎡ 75,033,277円
	つくば同仁会子どもセンター管理棟	〃 1棟 323.30㎡ 47,664,415円
(2) その他の固定資産		540,781,026円
ア 土地		
	同仁会子どもセンター敷地	高萩市肥前町1丁目82番の1、2 2筆 336.96㎡ 26,822,016円
	同仁東保育園敷地	高萩市高浜町2丁目29番地の1、3 2筆 327.00㎡ 13,809,000円
	福祉施設建設予定地	石岡市行里川13422-3、12、13438-6 3筆 3,893.93㎡ 37,690,000円
	〃	つくば市高崎802番3、4 2筆 2,948.00㎡ 17,817,582円
	〃	高萩市有明町1丁目46番 1筆 267.73㎡ 6,289,000円
イ 建物		
	同仁東保育園倉庫	高萩市高浜町2丁目34番地、35番地 1棟 22.47㎡ 599,100円
	内原深敬寮学校棟	水戸市小林町1186番84、85、鯉淵町2508番53 1棟 534.00㎡ 24,585,877円
	福祉施設利用予定建物	高萩市有明町1丁目46番 1棟 113.56㎡ 661,042円
ウ	構築物	112,629,431円
エ	機械及び装置	7,174,014円
オ	車輛運搬具	1,257,549円
カ	器具及び備品	18,856,495円
キ	ソフトウェア	0円
ク	拠点区分間長期貸付金	0円
ケ	退職給付引当資産	72,447,920円
コ	措置施設繰越特定積立資産	159,140,000円
サ	保育所施設・設備整備積立資産	9,800,000円
シ	損害賠償積立預金	31,112,000円
ス	ブーク進学支援積立資産	90,000円
II 負債の部		793,551,954円
1 流動負債		
ア	未払金	98,624,701円
イ	1年以内返済予定設備資金借入金	47,891,000円
ウ	1年以内返済予定拠点区分間長期借入金	0円
エ	預り金	180,000円
オ	職員預り金	9,753,833円
カ	前受金	31,500円
2 固定負債		
ア	設備資金借入金	564,623,000円
イ	長期運営資金借入金	0円
ウ	拠点区分間長期借入金	0円
エ	退職給与引当金	72,447,920円
III 差引正味財産		2,173,048,617円

資 金 収 入 支 計 算 書

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

単位：円

	合 計	法 人 本 部	臨 海 学 園	同 仁 会 乳 児 院	同 仁 東 保 育 園	ゆ う ゆ う ク ラ ブ	地 域 子 育 て 支 援 セ ン タ ー	児 童 家 庭 支 援 セ ン タ ー	同 仁 会 子 ども ホ ー ム	内 原 和 敬 寮	内 原 深 敬 寮	つ く ば 香 風 寮	さ く ら の 森 乳 児 院
事業活動収入 (1)	1,525,441,351	1,758,859	165,452,545	158,826,935	134,275,190	10,688,630	8,718,000	21,193,800	138,316,392	205,725,282	263,916,475	193,622,616	222,946,627
事業活動支出 (2)	1,415,444,799	28,565,785	168,144,181	167,358,712	133,342,818	13,862,490	10,970,327	31,448,570	128,526,416	175,986,925	224,954,422	163,259,448	169,024,705
事業活動収支差額 (3) = (1) - (2)	109,996,552	△ 26,806,926	△ 2,691,636	△ 8,531,777	932,372	△ 3,173,860	△ 2,252,327	△ 10,254,770	9,789,976	29,738,357	38,962,053	30,363,168	53,921,922
施設整備等による収入 (4)	9,418,000	6,957,000	0	0	0	0	0	0	1,012,000	0	0	628,000	821,000
施設整備等による支出 (5)	74,056,306	7,321,824	5,203,156	2,273,400	13,549,200	0	0	702,000	1,350,000	14,712,310	13,057,608	11,790,188	4,096,620
施設整備等による収支差額 (6) = (4) - (5)	△ 64,638,306	△ 364,824	△ 5,203,156	△ 2,273,400	△ 13,549,200	0	0	△ 702,000	△ 338,000	△ 14,712,310	△ 13,057,608	△ 11,162,188	△ 3,275,620
その他活動による収入 (7)	102,858,300	30,200,000	11,603,850	15,107,420	27,043,690	3,027,140	3,000,000	12,000,000	59,640	150,290	143,060	122,810	400,400
その他活動による支出 (8)	132,486,040	3,270,560	1,108,440	1,207,000	1,544,640	78,120	74,520	225,240	3,367,200	16,147,080	14,412,120	31,018,600	60,032,520
その他活動による収支差額 (9) = (7) - (8)	△ 30,641	26,929,440	10,495,410	13,900,420	25,499,050	2,949,020	2,925,480	11,774,760	△ 3,307,560	△ 15,996,790	△ 14,269,060	△ 30,895,790	△ 59,632,120
当期資金収支差額合計 (10) = (3) + (6) + (9)	15,730,506	△ 242,310	2,600,618	3,095,243	12,882,222	△ 224,840	673,153	817,990	6,144,416	△ 970,743	11,635,385	△ 11,694,810	△ 8,985,818
前期末支払資金残高 (11)	356,746,388	11,650,703	32,406,561	39,055,144	48,203,595	3,605,258	8,131,110	8,203,925	23,612,987	43,198,131	44,279,908	45,653,971	48,745,095
当期末支払資金残高 (12) = (10) + (11)	372,476,894	11,408,393	35,007,179	42,150,387	61,085,817	3,380,418	8,804,263	9,021,915	29,757,403	42,227,388	55,915,293	33,959,161	39,759,277

事業活動収支計算書

自平成29年4月1日
至平成30年3月31日

単位：円

	合計	法人本部	臨海学園	同仁会乳児院	同仁東保育園	ゆうゆうクラブ	柳城子育て支援センター	児童家庭支援センター	同仁会子どもホーム	内原和歌寮	内原深敬寮	つくば香風寮	さくらの森乳児院
サービス活動収益(1)	1,512,761,480	1,713,448	163,106,246	158,027,635	132,591,376	10,655,150	8,718,000	21,193,800	137,104,563	204,281,601	262,243,066	191,601,332	221,525,263
サービス活動費用(2)	1,447,418,312	28,791,246	168,304,840	169,663,001	136,770,142	14,567,644	11,054,983	31,788,166	129,539,537	188,072,037	229,718,157	166,760,795	172,387,764
事業活動増減差額(3)=(1)-(2)	65,343,168	△27,077,798	△5,198,594	△11,635,366	△4,178,766	△3,912,494	△2,336,983	△10,594,366	7,565,026	16,209,564	32,524,909	24,840,537	49,137,499
サービス活動外収益(4)	15,013,251	45,411	2,907,489	994,160	1,766,204	95,500	0	0	1,345,509	1,717,791	1,969,189	2,193,554	1,978,444
サービス活動外費用(5)	14,314,481	0	1,289,464	472,456	1,366,690	32,000	0	0	1,129,780	2,387,496	2,749,085	3,351,295	1,536,215
事業活動外増減差額(6)=(4)-(5)	698,770	45,411	1,618,025	521,704	399,514	63,500	0	0	215,729	△669,705	△779,896	△1,157,741	442,229
経常増減差額(7)=(3)+(6)	66,041,938	△27,032,387	△3,580,569	△11,113,662	△3,779,252	△3,848,994	△2,336,983	△10,594,366	7,780,755	15,539,859	31,745,013	23,682,796	49,579,728
特別収益(8)	109,598,000	37,137,000	10,000,000	15,000,000	27,000,000	3,000,000	3,000,000	12,000,000	1,012,000	0	0	628,000	821,000
特別費用(9)	107,167,354	6,957,000	360,000	240,001	720,000	0	0	0	300,000	10,480,000	8,510,353	25,360,000	54,240,000
特別増減差額(10)=(8)-(9)	2,430,646	30,180,000	9,640,000	14,759,999	26,280,000	3,000,000	3,000,000	12,000,000	712,000	△10,480,000	△8,510,353	△24,732,000	△53,419,000
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	68,472,584	3,147,613	6,059,431	3,646,337	22,500,748	△848,994	663,017	1,405,634	8,492,755	5,059,859	23,234,660	△1,049,204	△3,839,272
前期繰越活動収支差額(12)	863,078,889	59,829,268	85,865,334	73,327,864	161,607,543	54,708,266	8,175,759	8,306,831	53,893,918	78,491,425	113,911,237	76,269,551	88,691,893
当期繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	931,551,473	62,976,881	91,924,765	76,974,201	184,108,291	53,859,272	8,838,776	9,712,465	62,386,673	83,551,284	137,145,897	75,220,347	84,852,621
基本金取崩額(14)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	20,000	20,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の積立金積立額(16)	24,830,000	3,230,000	0	0	0	0	0	0	2,400,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000
次期繰越活動収支差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	906,741,473	59,766,881	91,924,765	76,974,201	184,108,291	53,859,272	8,838,776	9,712,465	59,986,673	78,751,284	132,345,897	70,420,347	80,052,621

貸借対照表

平成30年3月31日現在

単位：千円

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	493,746	442,302	51,444	流動負債	156,481	133,447	23,034
現金	1,431	1,537	-106	事業未払金	98,625	84,192	14,433
預金	375,504	351,554	23,950	1年以内返済予定設備資金借入金	47,891	47,891	0
有価証券	0	0	0	1年以内返済予定拠点区分間長期借入金	0	0	0
事業未収金	72,436	58,028	14,408	預り金	180	177	3
未収金	697	716	-19	職員預り金	9,754	1,159	8,595
未収補助金	21,537	19,171	2,366	前受金	32	29	3
立替金	160	128	32	その他の流動負債	0	0	0
前払金	16,404	4,005	12,399	固定負債	637,071	682,348	-45,277
前払費用	5,577	7,163	-1,586	設備資金借入金	564,623	612,514	-47,891
その他の流動資産	0	0	0	退職給付引当金	72,448	69,834	2,613
固定資産	2,472,854	2,503,984	-31,130	その他の固定負債	0	0	0
基本財産	1,932,073	1,985,463	-53,390	負債の部合計	793,552	815,795	-22,243
土地	146,972	146,972	0	純 資 産 の 部			
建物	1,785,101	1,838,491	-53,390	基本金	42,802	35,845	6,957
その他の固定資産	540,781	518,521	22,260	基本金	42,802	35,845	6,957
土地	102,428	96,139	6,289	国庫補助金等特別積立金	1,023,363	1,056,235	-32,872
建物	25,846	25,943	-97	その他の積立金	200,142	175,332	24,810
構築物	112,629	125,929	-13,299	措置施設繰越特定積立金	159,140	137,540	21,600
機械及び装置	7,174	4,875	2,299	保育所施設・設備整備積立金	9,800	9,800	0
車両運搬具	1,258	1,955	-697	損害賠償積立金	31,112	27,932	3,180
器具及び備品	18,856	18,515	342	ブーケ進学支援積立金	90	60	30
ソフトウェア	0	0	0	次期繰越活動増減差額	906,741	863,079	43,663
退職給付引当資産	72,448	69,834	2,613	次期繰越活動増減差額	906,741	863,079	43,663
措置施設繰越特定積立資産	159,140	137,540	21,600	(うち当期活動増減差額)	68,473	167,312	-98,840
保育所施設・設備整備積立資産	9,800	9,800	0	純資産の部合計	2,173,049	2,130,491	42,557
損害賠償積立資産	31,112	27,932	3,180	負債及び純資産の部合計	2,966,601	2,946,287	20,314
ブーケ進学支援積立資産	90	60	30				
資産の部合計	2,966,601	2,946,287	20,314				

千円未満は四捨五入で表示しております。そのため、合計金額及び増減の金額が合わない場合があります。

平成30年度事業概要

平成30年6月16日発行（700部）

発行者 社会福祉法人 同仁会
理事長 遠藤光洋
〒318-0011 茨城県高萩市肥前町1-80
TEL 0293-23-3245 FAX 0293-22-4260
ホームページ <http://www.doujinkai.or.jp/>
